

市長マニフェストの進捗状況（令和5年10月現在）

○：実施・推進中
□：一部実施・推進中
△：検討、協議中

資料2

マニフェストの項目		取組状況
I	新型コロナから市民のいのち、暮らし、しごとを守る。	
	1 徹底した感染防止対策と、経済対策とを両立させる。	
	1 新型コロナから市民のいのちを守ります。	○
	2 新型コロナから医療・介護・障害福祉従事者等を守ります。	○
	3 新型コロナから地域経済を守ります。	○
	4 コロナ後の地域経済ビジョンを策定します。	○
	5 市長給与を50%カットします。	○
II	鹿児島に稼げる仕事をつくる。	
	2 コロナ後に対応できる、新しい産業・仕事をつくる。	
	6 中小企業振興を推進します。	○
	7 中小企業振興基本条例を制定します。	○
	8 積極的な起業支援	○
	9 戦略的な企業誘致に取り組みます。	○
	10 生産性を上げて、賃金を増やします。	○
	11 出身者は鹿児島市の宝！連携強化を進めます。	○
	12 スマート農業を強力に推進します。	○
	13 「稼げる農業」実現へ、農地の有効活用を進めます。	○
	14 「稼げる林業」づくりに取り組みます。	○
	15 「稼げる水産業」づくりに取り組みます。	○
	16 鳥獣被害対策を進めます。	○

マニフェストの項目	取組状況
3 世界から観光客を集める・国際都市KAGOSHIMAをつくる。	
17 クルーズ船の経済効果を高めます。	○
18 市民総ぐるみで国体・全国障害者スポーツ大会を盛り上げます。	○
19 障害のある人も、ない人も、安心して周遊できる「ユニバーサルツーリズム」先進県をつくります。	○
20 ネットを活用した、多言語対応の観光誘客	○
21 鹿児島市在住経験外国人のネットワークを構築します。	○
22 インバウンド対応の人材育成	○
23 国際会議・各種大会の誘致を進めます。	○
24 イスラム教徒向け「ハラール」など、各地域に合った誘客を推進します。	○
25 体験型観光を進めます。	○
26 伝統的工芸品振興	○
27 鹿児島市を舞台としたコンテンツの制作振興	○
28 観光資源となる「稼げる」スタジアム整備	○
29 プロスポーツ等のホームゲームの盛り上がりをつくります。	○
30 スポーツ合宿の誘致	○
31 市電延伸の検討を進めます。	○
32 磯新駅の整備	○
33 水上交通の整備を検討します。	○
34 リバーサイドの整備	○
35 eSportsの振興	○
4 ICTを活用しもっと住みよい鹿児島をつくる。	
36 ICT関連産業振興に取り組みます。	○
37 新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。(DXの推進)	○
38 行政手続のデジタル化を進めます。	○
39 テレワークを行う企業の誘致に取り組みます。	○

マニフェストの項目	取組状況
Ⅲ 全ての人に、希望とチャンス。安心して生活できる鹿児島をつくる。	
5 安心できる子育て環境をつくる。	
40 待機児童ゼロを実現します。	○
41 保育士の確保策を講じます。	○
42 地域子育て支援センターの充実強化	○
43 病児保育体制の整備	○
44 児童相談所の早期整備と機能充実	○
45 こども医療費の負担軽減	○
46 子どもを産み・育てる親に寄り添う取り組みを進めます。	○
47 「貧困の連鎖」を防ぐために取り組みます。	○
48 発達障害の療育支援を行います。	○
49 スクールロイヤールの導入を図ります。	○
50 通学路の安全確保	○
6 稼げる力。「たくましい鹿児島の子」をつくる。	
51 キャリア教育の充実を図ります。	○
52 IT関連教育を推進します。	○
53 教育に、IT・インターネットを積極的に活用します。	○
54 青少年の海外派遣、留学支援を広く行います。	○
55 「外国人の友達を作ろう！」	○
56 市立高校の振興と環境整備を図ります。	○
7 人生100年時代。「持続可能な」生きがいにあふれる福祉。	
57 疾病予防・介護予防の促進	○
58 健康診断受診率を向上させます。	○
59 認知症を早期発見・早期治療できる仕組みを整備します。	○
60 重度心身障害者等医療費制度の手続を簡素化します。	○
61 障害者就労施設等への発注	○
62 手話言語条例の制定	○
63 バリアフリー化の推進	○
64 高齢者の生きがい就労	○

マニフェストの項目	取組状況
IV 人口減少時代に生き残る鹿児島をつくる。	
8 「持続可能」なまちづくり。「持続可能」なくみづくり。	
65 「持続可能性」を重視しSDGsの取り組みを進めます。	○
66 環境と調和した再生可能エネルギーの開発・活用を進めます。	○
67 避難所等における再生可能エネルギーの活用	○
68 リサイクルの促進	○
69 公共交通機関の利便性向上	○
70 在来線の利用促進を図ります。	○
71 空き家の有効活用を進めます。	○
72 既存集落の過疎化対策に取り組めます。	○
73 計画的なインフラ補修	○
9 現在そして将来の課題に今から対応できる鹿児島をつくる。	
74 動物殺処分ゼロを目指します。	○
75 同性パートナーシップ	○
76 合併地域の均衡ある発展に向けた取り組み	○
77 様々な状況に合わせた、避難所の質の確保	○
78 学校のトイレ洋式化	○
79 新たな総合体育館に関する連携・協力	□
80 地籍調査を強かに推進します。	○
81 団地再生を推進します。	○
82 洪水ハザードマップの整備	○
83 公文書管理条例を制定します。	○
84 男女共同参画を推進します。	○
85 防災会議の機能をより高め、市民の生命と財産を守ります。	○
86 土地区画整理事業の推進	○
87 多文化共生社会の構築	○
88 投票率向上に取り組めます	□

マニフェストの項目	取組状況
10 新しい時代。民間のチカラを活かし、“これから”の鹿児島市政をつくる。	
89 データに基づく政策立案（EBPM）を推進します	○
90 事業の見直しを進めます	○
91 政策評価を充実させます。	○
92 公契約の適正化を進めます。	○
93 民間との公平な競争環境	○
94 ふるさと納税を集める取り組みを進めます。	○
95 ネーミングライツ等の積極的活用	○
96 市政の情報公開を進めます。	○
97 市民の声を聞く機会を増やします。	○
98 鹿児島市内全域で、市政報告会を開催します。	○
99 官民連携プラットフォーム	○
100 民間人材の積極的登用	○
合計（100項目）	○（98項目） □（2項目） △（0項目）

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
I 新型コロナから市民のいのち、暮らし、しごとを守る。			
1 徹底した感染防止対策と、経済対策とを両立させる。			
<p>新型コロナから市民のいのちを守ります。</p> <p>1 PCR検査体制の拡充、診療体制・病床の確保など、新型コロナから市民のいのちを守り安心できる仕組みをつくります。</p>	<p>(3年度～)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策や対面規制の見直しとして、相談等業務のオンライン化を実施 保健支援課：3年7月～、市民相談センター、消費生活センター：3年8月～ 国民健康保険課：3年9月末～、すこやか子育て交流館(りぼんかん)：3年12月～ 結婚相談所：4年8月～</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策として、窓口音声認識システムを3年8月に長寿支援課・障害福祉課に設置</p>	(再) 行政デジタル化推進事業	○
	<p>○県電子申請システム及びマイナポータル(ぴったりサービス)を活用した行政手続のオンライン化を推進</p> <p>(4年度)</p> <p>○市民の利便性向上並びに新型コロナウイルス感染症対策として窓口の混雑を緩和できるよう、オンライン申請からクレジットカード支払のキャッシュレス決済までを一連の流れで完結させる仕組みを導入(導入時期：4年10月～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象手続：住民票の写し、戸籍全部事項証明、所得額証明書など26種類(手続にはマイナンバーカードが必要) <p>○マイナポータル(ぴったりサービス)でオンライン申請できる手続を開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象手続：転出届、転入・転居届の来庁予定連絡(開始時期：5年2月～) 不在者投票用紙の請求(開始時期：5年3月～) <p>(5年度)</p> <p>○マイナポータル(ぴったりサービス)でオンライン申請できる手続を拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て、介護、障がい者支援関連の30手続(開始時期：5年4月～) 	(再) 窓口手続オンライン化推進事業	
	<p>(4年度～)</p> <p>○コロナの長期化により様々な困難や不安を抱える女性に対し、寄り添ったきめ細かな支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談業務(電話・来所相談、訪問支援) ・居場所の提供(市内3か所で1か所あたり月2回) ・生理用品の配布(公共施設25か所、相談及び集いの場利用時) <p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援員の養成・育成・研修の実施を追加 	女性のつながりサポート事業	
	<p>(3年度～)</p> <p>○インターネットを通じた電子書籍の検索・貸出等が可能な電子図書館サービスを実施(運用開始：4年2月～)</p>	(再) 電子図書館サービス事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>新型コロナから市民のいのちを守ります。</p> <p>1 PCR検査体制の拡充、診療体制・病床の確保など、新型コロナから市民のいのちを守り安心できる仕組みをつくります。</p>	<p>○職員間の感染拡大による市民サービスの著しい低下を招かないよう、窓口対応等に必要な職員用の消毒液を購入 (3年度) 1,360 L、(4年度) 3,300 L、(5年度) 3,300 L (予定)</p>	安全衛生管理事務経費	○
	<p>(3年度～) ○市電・市バスや桜島フェリーにおける新型コロナウイルス感染症対策に要する経費について、交通事業会計及び船舶事業会計に対し繰出し</p>	企業会計への繰出金(交通局、船舶局)(新型コロナウイルス感染症対策関連)	
	<p>○経済的困窮など生活上の困りごとや不安を抱える市民に対し、相談支援を実施 ○住居を喪失する離職者及びやむを得ない休業者に対して住居確保給付金を支給 (新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた特例措置として、支給期間終了者に対し、解雇以外の離職や休業に伴う収入減少等の場合でも再支給が可能(3ヶ月に限る)。特例期間:4年12月31日まで)</p>	生活困窮者自立支援事業	
	<p>○初期救急医療施設として、毎夜間における急病患者に対し医療を提供 ○新型コロナ対策として専用の診察室による診療を実施</p>	夜間急病センター管理運営事業	
	<p>○新型コロナウイルスワクチン接種の実施</p>	新型コロナウイルスワクチン接種事業	
	<p>(3年度～) ○鹿児島市感染症対策医療機関連絡協議会の設置・開催、感染症対応実務研修会の開催 (5年度) ○鹿児島市感染症予防計画の策定、感染管理講演会の開催</p>	感染症に強いまちづくり推進事業	
	<p>○新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、児童クラブ及び地域子育て支援拠点施設等に衛生用品の配付等を実施</p>	地域子ども・子育て支援施設コロナ対策事業	
<p>○感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供していくため、職員が感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要な費用や、マスク等の衛生用品や備品購入等に必要な費用を補助 (5年度～) ○新型コロナウイルスの感染者や感染者と接触があった者(感染者と同居している場合に限る。)が発生した場合に、職員が感染症対策の徹底を図りながら、事業を継続的に実施していくために必要な費用について補助</p>	保育所等感染拡大防止対策支援事業		

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>新型コロナから市民のいのちを守ります。</p> <p>1 PCR検査体制の拡充、診療体制・病床の確保など、新型コロナから市民のいのちを守り安心できる仕組みをつくりまします。</p>	<p>(4年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の対策として、感染した妊産婦等へ電話や訪問等による相談や分娩前のPCR検査の費用助成など、不安を抱える妊産婦への支援を実施</p> <p>(5年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の対策として、分娩前のPCR検査の費用助成を実施(令和5年9月30日の検査まで対象)</p>	妊産婦寄り添い支援事業	○
	<p>(3年度)</p> <p>○妊娠・出産・子育て期の記録管理や予防接種などのデジタル管理、地域子育ての情報の受信などができる母子健康手帳アプリ「まぐまっこアプリ」を導入(運用開始:3年9月1日～)</p>	(再)母子健康手帳アプリ運用事業	
	<p>○新生児・妊産婦へ訪問による保健指導を実施</p> <p>○産後の母親に必要な情報を掲載したパンフレットを作成し、産後入院中の母親に配付</p> <p>(3年度)</p> <p>○衛生用品等の購入で感染症対策を図りながら、新生児・妊産婦への訪問による保健指導等を実施</p>	(再)新生児・妊産婦訪問指導事業	
	<p>○新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に、母子生活支援施設へ衛生用品を配付</p>	(再)婦人相談員設置事業	
	<p>(3年度～)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大により活動自粛等を行っている子ども食堂の活動を支援し、子育て家庭の負担軽減及び地域経済の活性化を図るため、市内の子ども食堂を通じて、子どもや家庭に対し提携飲食店で使えるチケットを配布する取組に対し助成</p>	地域の飲食店子ども食堂プロジェクト事業	
	<p>○新型コロナウイルス感染症対策として、就学時健康診断の際にディスプレイ鏡を使用</p>	学校保健事業	
	<p>(3年度～)</p> <p>○各種感染症の発生・拡大に際し、救急隊員の感染防止対策を万全にするために感染防止用資器材を整備</p> <p>○平常時の救急隊員及び救助隊員等の各種感染症に対する感染防止対策として、継続的に感染防止用資器材を整備</p>	救急隊員等感染防止対策事業	
	<p>○新型コロナウイルス感染症患者を受入れる即応病床として、鹿児島県病床確保計画に基づき、病床を確保</p> <p>(4年度)最大42床 (5年度)最大20床</p>	新型コロナウイルス感染症患者等の入院病床の確保	
	<p>(3年度)</p> <p>○鹿児島市立病院再整備計画を策定(感染症対策部門の整備方針:今後の新興・再興感染症に的確に対応できるように感染症病床を独立化)</p> <p>(4年度)</p> <p>○基本設計に着手</p> <p>(5年度)</p> <p>○基本設計完了</p> <p>○実施設計に着手</p>	市立病院再整備推進事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>新型コロナから市民のいのちを守ります。</p> <p>1 PCR検査体制の拡充、診療体制・病床の確保など、新型コロナから市民のいのちを守り安心できる仕組みをつくりまします。</p>	<p>(3～4年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮している世帯で、収入・資産・求職活動要件などを満たす世帯に対し、単身世帯：6万円、2人世帯：8万円、3人以上世帯：10万円を3ヶ月支給（一度に限り再支給あり） 支給決定：963世帯（3年度）、638世帯（4年度）</p>	<p>新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業</p>	○
	<p>(3～4年度)</p> <p>○3年度又は4年度の住民税非課税世帯や、新型コロナウイルス感染症の影響を受け家計が急変した世帯に対して、1世帯当たり10万円を支給 支給決定：89,848世帯（3～4年度）</p>	<p>住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業</p>	
	<p>(3～5年度)</p> <p>○新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催（5類感染症移行に伴い、5年5月8日で対策本部を廃止）</p>	<p>新型インフルエンザ等対策行動計画推進事業</p>	
	<p>○新型コロナの患者等に対する疫学調査、接触者等への健康診断勧告、入院勧告、就業制限等を実施（5類感染症移行に伴い、5年5月8日以降は受診相談センターの運営、高齢者施設等への疫学調査等を継続して実施）</p> <p>(3～5年度)</p> <p>○県が実施している無料PCR検査の取組みについて、市民への情報提供を実施（5類感染症移行に伴い5年5月7日で終了） ○自宅療養となる感染者のうち、必要な方に対し、食料等の支援やパルスオキシメーターの貸出（5類感染症移行に伴い5年5月7日で終了）</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防医療事業</p>	
	<p>(3年度)</p> <p>○事業所における感染症対策の取組促進のため、感染予防の実践を喚起する啓発用ポスターを作成・配布</p>	<p>感染症予防啓発事業</p>	
	<p>(3年度)</p> <p>○PCR検査を始め、リスクの高い感染症の検査を行うためのバイオハザードルームを安全かつ継続的に使用するため、点検整備を実施</p>	<p>施設整備事業（保健・急病センター）</p>	
	<p>(3～4年度)</p> <p>○保育所等において、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供していくため、職員が感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要な経費（かかり増し経費）や、マスク等の衛生用品や備品購入等に必要な経費を支援</p>	<p>保育所等感染予防対策充実補助金</p>	
	<p>(2～3年度)</p> <p>○国の特別定額給付金の基準日の翌日以降、3年4月1日までに生まれた子どもの育児を支援するため、市独自の育児応援金を支給 支給人数：4,248人</p>	<p>育児応援金支給事業</p>	
	<p>(4～5年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、食費等の物価高騰等に直面する子育て世帯を支援するとともに、子どもの健やかな成長を応援するため、特別給付金を支給 支給実績：児童一人当たり1万円 103,659人 10億3,659万円</p>	<p>子育て世帯応援特別給付金支給事業</p>	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p><u>新型コロナから市民のいのちを守ります。</u></p> <p>1 PCR検査体制の拡充、診療体制・病床の確保など、新型コロナから市民のいのちを守り安心できる仕組みをつくります。</p>	<p>(3～4年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得者の子育て世帯に対し、特別給付金を支給することにより、その実情を踏まえた生活の支援を実施 支給児童：10,072人(3年度)、9,731人(4年度)</p>	<p>子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)支給事業</p>	○
	<p>(3～5年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得者の子育て世帯に対し、特別給付金を支給することにより、その実情を踏まえた生活の支援を実施 支給児童：7,216人(3年度)、7,340人(4年度)、26人(5年度)</p>	<p>子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外分)支給事業</p>	
	<p>(3～4年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援する観点から、臨時特別の給付金を支給 支給児童：95,443人(3年度)、560人(4年度)</p>	<p>子育て世帯への臨時特別給付事業</p>	
	<p>(4年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、教室内の換気や消毒、保護者への連絡など学級担任等の補助を実施する「スクール・サポート・スタッフ」を、4月1日から25学級の小・中学校3校に各1人配置(26学級以上の小・中学校24校には、県の予算で教員業務支援員として同様に配置)</p>	<p>スクール・サポート・スタッフ配置事業</p>	
<p><u>新型コロナから医療・介護・障害福祉従事者等を守ります。</u></p> <p>2 新型コロナから医療や介護、障害福祉サービス等の従事者を守るため、必要な取り組みを行います。</p>	<p>○各校区の児童クラブ運営委員会等に委託料を支出し、市設置児童クラブを運営(3年度～)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く児童クラブ職員の報酬単価(時間給)を3%程度引き上げ</p>	<p>(再)放課後児童健全育成事業</p>	○
	<p>○厚生労働省より配布された衛生用品を事業所等へ一斉配布(4年度で終了)、または新型コロナウイルス感染症が発生した事業所等へ個別配布(随時)</p> <p>○事業所等へ感染防止対策の周知</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策</p>	
	<p>○利用者または職員に感染者が発生した事業所等がサービスを継続して提供できるよう、通常のサービス提供時では想定されないかかり増し経費に対し支援</p> <p>○新型コロナウイルス感染症が発生した事業所等へ衛生用品を配付</p> <p>○感染症管理認定看護師等による、事業所等の感染防止対策のための医学的な相談・支援などの事業を実施</p>	<p>障害福祉サービス事業所等感染症対策支援事業</p>	
	<p>○医療従事者等に対する新型コロナウイルスワクチンの優先接種の実施</p> <p>(3年度～)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く職員の報酬を3%程度引き上げた児童クラブを運営する民間事業者に対し、必要な費用を補助</p>	<p>新型コロナウイルスワクチン接種事業</p> <p>(再)放課後児童支援員等処遇改善補助金</p>	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>新型コロナから医療・介護・障害福祉従事者等を守ります。</p> <p>2 新型コロナから医療や介護、障害福祉サービス等の従事者を守るため、必要な取り組みを行います。</p>	<p>(3年度～)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く母子生活支援施設の職員の処遇改善を行う施設に対して、当該賃金改善を行うために、費用の補助を実施</p> <p>(5年度)</p> <p>○児童福祉扶助費(母子・助産)へ統合(事業内容は継続)</p> <p>○介護サービス事業所等が介護サービスを継続して提供できるよう、通常の介護サービスの提供時では想定されない、かかり増し経費の一部を補助(2年度のみ。3年度以降は、県へ移管)</p> <p>交付件数:16件(交付額:11,091,000円)</p> <p>(3～4年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く保育士・幼稚園教諭等の収入を3%程度引き上げるための補助事業を4年9月まで実施(10月以降は処遇改善加算Ⅲとして毎月の委託費等に同程度の金額を組み込む)</p>	<p>母子生活支援施設職員処遇改善補助金</p> <p>介護サービス事業所等サービス継続支援補助金</p> <p>(再)保育士等処遇改善補助金</p>	○
<p>新型コロナから地域経済を守ります。</p> <p>3 新型コロナで特に大きな影響を受けている業種に対し、実効的な需要喚起策を行うとともに、安心して利用できるために必要な取り組みを行います。</p>	<p>(4年度～)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰の影響が長期化する中、商店街の活性化を図るとともに、地域における消費の喚起・下支えを行うため、プレミアム付商品券の発行などを行う商店街等に対し助成</p> <p>助成団体数:9団体(4年度)、10団体(5年度(8月末現在))</p> <p>※参加商店街・通り会数:41団体(4年度)、40団体(5年度(8月末現在))</p> <p>○EC(電子商取引)サイトの運営方法や先進事例を普及するため、市内の中小企業者向けにセミナーを開催</p> <p>○市内の中小企業者等の商品販売やサービス、店舗のPRを図るため、ECサイトの立ち上げ等に対し助成</p> <p>助成件数:50件(3年度)、104件(4年度)、18件(5年度(8月末現在))</p> <p>(3年度～)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、地方への移住の関心が高まる中、本市への移住を促進するため、オンライン移住相談やセミナー、IJU倶楽部会員特典サービス制度、移住奨励金の交付を実施</p> <p>(3年度～)</p> <p>○コロナ禍における本市の観光情報発信に助成</p> <p>(3年度)</p> <p>○先進事例調査や観光事業者を対象とするセミナーの開催、本市の宿泊施設や飲食施設等の現状把握を実施し、本市取組の方向性を整理</p> <p>(4年度)</p> <p>○ユニバーサルツーリズムの推進に向け、受入体制の整備に対する助成などを実施</p> <p>宿泊施設バリアフリー化支援補助金 申請8件(補助額:23,888,000円)</p> <p>(5年度)</p> <p>○ユニバーサルツーリズムの推進に向け、受入体制の整備に対する助成などを実施</p> <p>飲食施設バリアフリー化支援補助金 申請5件(補助額:4,060,000円)(8月末現在)</p>	<p>プレミアム付商品券等発行支援事業</p> <p>ECサイト導入等支援事業</p> <p>かごしま移住支援・プロモーション事業</p> <p>DMO推進補助金</p> <p>(再)ユニバーサルツーリズム推進事業</p>	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>新型コロナから地域経済を守ります。</p> <p>3 新型コロナで特に大きな影響を受けている業種に対し、実効的な需要喚起策を行うとともに、安心して利用できるために必要な取り組みを行います。</p>	<p>(4年度)</p> <p>○本市における高付加価値なガイド付きツアーを企画・実施する、稼ぐインタープリター(自然、文化など本市の深い魅力を分かりやすく伝えるガイド)を創出(研修の実施) OTA(オンライントラベルエージェント)掲載:8ツアー</p> <p>(5年度)</p> <p>○本市における高付加価値なガイド付きツアーを企画・実施する、稼ぐインタープリター(自然、文化など本市の深い魅力を分かりやすく伝えるガイド)を創出(アドベンチャー・トラベルの要素を含む研修の実施、旅行商品造成担当者の招請、専門家によるブラッシュアップ)</p>	(再) 稼ぐインタープリター創出事業	
	<p>(4年度)</p> <p>○ムスリムやベジタリアン等の外国人観光客の誘客につなげるため、民間事業者等におけるフードダイバーシティ(食の多様性)の取組を支援(セミナー、新メニューづくり支援等)</p> <p>ベジタリアンやハラール新メニュー販売店舗: +8店舗/2事業者</p> <p>(5年度)</p> <p>○ムスリムやベジタリアン等の外国人観光客の誘客につなげるため、民間事業者等におけるフードダイバーシティ(食の多様性)の取組を支援(勉強会、誘客力のある新メニューの支援等)</p>	(再) インバウンド向けフードダイバーシティ(食の多様性)推進事業	
	<p>(4年度~)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響の長期化及び物価高騰等により厳しい経営環境にある貸切バス事業者に対し補助金を交付し、感染拡大防止の徹底及び貸切バスの運行維持を図る</p> <p>対象車両数229台 補助額: 11,450,000円(4年度)</p> <p>対象車両数183台 補助額: 9,150,000円(5年度(8月末現在))</p>	貸切バス事業維持支援補助金	○
	<p>(4年度)</p> <p>○コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、首都圏(渋谷区)において感染症対策を講じた上で本市の「食」の魅力を体感できるイベント「ネオポテサラ酒場 by マグマシティ鹿児島市」を開催(期間:10月10日~11月9日)</p> <p>(5年度)</p> <p>○コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、首都圏(渋谷区)において本市の「食」の魅力を体感できるイベント「かごし魔酒場」を開催(期間:10月20日~11月19日(予定))</p>	首都圏における“食の都かごしま”プロモーション事業	
	<p>(4年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響の長期化及び物価高騰等により、深刻な打撃を受けている公共交通機関である民間路線バス及びタクシー事業者に対し、感染拡大防止の徹底及び路線バス等の運行維持を図るため、補助金を交付</p> <p>交付実績 路線バス: 446台22,300,000円、タクシー: 1,781台26,715,000円</p> <p>(5年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響及び物価高騰等により、深刻な打撃を受けている公共交通機関である民間路線バス及びタクシー事業者に対し、路線バス等の運行維持を図るため、補助金を交付</p> <p>交付実績 路線バス: 408台20,400,000円、タクシー: 1,468台22,020,000円(8月末現在)</p>	路線バス等運行維持支援補助事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>新型コロナから地域経済を守ります。</p> <p>3 新型コロナで特に大きな影響を受けている業種に対し、実効的な需要喚起策を行うとともに、安心して利用できるために必要な取り組みを行います。</p>	<p>○中小企業者の円滑な資金調達を促進するため、信用保証料の補助等を実施 信用保証料補助（コロナ関連資金分）：22,604,305円（87件）（3年度） 3,809,187円（14件）（4年度） 0円（0件）（5年度（8月末現在））</p> <p>（3年度） ○県資金（無担保・3年間無利子）以前のコロナ関連資金を利用した中小企業者に対して、1年間の利子補助を実施 利子補給額：2,519,728円（85件）</p>	<p>（再）中小企業資金融資事業</p>	○
	<p>（4年度） ○市内事業所の雇用状況や市民の就労意識の変化、コロナ禍による影響などを調査</p>	<p>（再）勤労者労働基本調査事業</p>	
	<p>（3年度） ○市内の宿泊施設及び貸切バス事業者等の新型コロナウイルス感染症の衛生対策強化に係る取組を支援 54件（補助額：10,847,000円） ○コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、オンライン観光の取組を支援 オンライン観光支援補助金 4件（補助額：844,000円）</p> <p>（4年度） ○宿泊施設等における衛生対策、コロナ収束後の観光需要回復を見据えた魅力づくりや受入体制の充実に向けた取組などを支援 ・衛生対策分：22件（補助額：4,161,000円） ・公募分：20件（補助額：13,343,000円）</p> <p>（5年度） ○インバウンド誘客につながる観光イベントの創出や観光メニューの造成等に対し助成申請5件（補助額：1,433,000円）（8月末現在）</p>	<p>アフターコロナ・リカバリーサポート補助金</p>	
	<p>（2年9月～4年12月） ○コロナ禍における修学旅行誘致策として観光施設等の利用料無料化を実施 （3年度～） ○コロナ禍における修学旅行誘致策として誘致補助金を交付（5年度より一部制度を拡充） 3年度 86件（補助額：4,351,500円） 4年度 54件（補助額：2,914,000円） 5年度 19件（補助額：972,000円）（8月末現在）</p>	<p>修学旅行誘致事業</p>	
	<p>（4年度） ○新型コロナウイルス感染症の影響により減少した公共交通利用者の回復を図るため、事業者の行う広報活動等に対し補助金を交付 交付実績：5件 4,012,728円 ○公共交通機関の利用促進を図るため、新たに広報ポスターを作成</p>	<p>公共交通利用喚起支援事業</p>	
	<p>（3～4年度） ○感染拡大を防止しながら地域経済の回復を図るため、関係団体等の意見を伺い、施策に反映させるための会議を開催（3年7月・12月、4年7月・12月）</p>	<p>コロナ対策関係者会議経費</p>	
	<p>（3～4年度） ○県による飲食店への営業時間短縮要請等に伴い、売上が減少し家賃の負担が重くなっている中小企業者等の事業継続を下支えするため、支援金を給付 給付件数：4,199件（3年度）、2,279件（4年度）</p>	<p>家賃支援金事業</p>	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>新型コロナから地域経済を守ります。</p> <p>3 新型コロナで特に大きな影響を受けている業種に対し、実効的な需要喚起策を行うとともに、安心して利用できるために必要な取り組みを行います。</p>	<p>(4年度)</p> <p>○コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受けた中小企業者等の販路拡大の取組を支援するため、SNSを活用した広報宣伝に対し助成(申請受付開始:10月11日~)</p> <p>助成件数:52件</p>	Webマーケティング推進事業	○
	<p>(3~4年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている飲食店の支援、地域における消費の喚起・下支えを行うため、キャッシュレス決済による市内飲食店の利用に対し業種を問わず利用できるプレミアムポイントを付与</p> <p>参加店舗:744店舗(3年度)、1,042店舗(4年度)</p>	プレミアムポイント事業	
	<p>(4年度)</p> <p>○コロナ禍において原油価格や物価の高騰を受けた生活者の支援や地域経済の活性化を図るため、市内全世帯を対象に、市内店舗における買い物等での消費に対して商品券等を還元</p> <p>還元実績:227,769件(683,307千円)</p>	レシートを活用したプレミアム還元事業	
	<p>(3~4年度)</p> <p>○県による飲食店への営業時間短縮要請に応じた事業者に対し、県と連携して協力金を支給</p> <p>支給店舗数:延べ15,647件(3年度負担分) 延べ9,802件(4年度負担分)</p>	新型コロナウイルス感染症対策時短要請協力金事業	
	<p>(3~4年度)</p> <p>○中小企業者等における従業員の雇用維持を図るため、国の雇用調整助成金と協調して市独自の支援金を支給</p> <p>支給件数:2,254件(3年度)、661件(4年度)</p>	雇用維持支援金事業	
	<p>(3~4年度)</p> <p>○市内宿泊施設で宿泊の割引を受けられるクーポンを市独自に発行し、新型コロナの影響を受けた宿泊需要の回復を図るキャンペーンを実施</p>	“まってるし鹿児島市”宿泊キャンペーン事業	
	<p>(3~4年度)</p> <p>○「鹿児島ユナイテッドFC」のホームゲームにおける新型コロナウイルス感染防止対策や、新しい生活様式への対応に係る費用の補助を実施</p>	(再)鹿児島ユナイテッドFC活動支援事業	
	<p>(3~4年度)</p> <p>○「鹿児島レブナイズ」のホームゲームにおける新型コロナウイルス感染防止対策や、新しい生活様式への対応に係る費用の補助を実施</p>	(再)鹿児島レブナイズ活動支援事業	
	<p>(3年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、利用者の減少などが続く民間の路線バス事業者に対し、感染拡大防止の徹底及び路線バス事業の維持を図るため、補助金を交付</p>	路線バス事業維持支援補助金	
	<p>(3年度)</p> <p>○県による飲食店への営業時間短縮要請等に伴い、特に大きな影響を受けているタクシー事業者及び自動車運転代行業者の事業継続を下支えするため、支援金を給付</p> <p>給付件数:1,662件</p>	タクシー事業者及び自動車運転代行業者支援金事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>新型コロナから地域経済を守ります。</p> <p>3 新型コロナで特に大きな影響を受けている業種に対し、実効的な需要喚起策を行うとともに、安心して利用できるために必要な取り組みを行います。</p>	<p>(3年度) ○コロナ禍における観光振興策として、体験型観光メニューの充実を促進するため、市民モニターを対象にお試しクーポンを発行</p>	かごしまワクワク体験推進事業	○
	<p>(3年度) ○既存データを基礎とする分析や専門家及び実務担当者の意見聴取、利便性や多様性に関する本市の現状把握を実施し、本市取組の方向性を整理</p>	(再) 海外観光客特性・ニーズ調査・対応事業	
	<p>(3年度) ○コロナ禍における観光振興策として、宿泊施設と体験型観光メニューや着地型ツアー等が連携した新たなビジネスを支援 申請 6件 (補助額: 3,477,000円)</p>	宿泊施設新観光ビジネス支援補助金	
<p>コロナ後の地域経済ビジョンを策定します。</p> <p>4 民間事業者や専門家の知見も活用し、コロナ後の地域経済ビジョンを策定します。</p>	<p>(2年度) ○コロナ禍における新たな視点での観光プロジェクトを各面から展開することにより、当面の観光振興を図るとともに、コロナ収束後の需要回復を見据えた観光メニューを充実 ・かごしまワクワク体験推進 (わくわく一ぼん発行: 102の体験メニューを創出) 市民モニターへのお試しクーポンの発行 ・マイクロツーリズムモニターツアー (23ツアーを実施) 新たな生活様式を踏まえながらマイクロツーリズムの観点からモニターツアーを実施 ・オンライン観光支援 (31事業者を支援) オンライン旅行等のインターネットを活用した観光の取組を実施する民間事業者を支援</p> <p>○コロナの感染・収束状況を見極めながら、ウィズコロナ・アフターコロナそれぞれにおいて重点的に取り組むべき方向性をとりまとめた地域経済ビジョンを策定 (4年6月)</p>	Withコロナ新観光プロジェクト事業	○
<p>市長給与を50%カットします。</p> <p>5 新型コロナで厳しい状況にある市民の皆様とともに歩み、新型コロナ対策の先頭に立つ姿勢を示すとともに、新型コロナ対策の財源に充てるため、自らの給与を50%カットします。</p>	<p>○3年第1回市議会定例会に、市長の給料の特例に関する条例制定案を提出。議決後、3年4月から4年3月まで市長給与 (期末手当含む) の50%減額を実施</p>	地域経済ビジョン策定に向けた取組	○
<p>II 鹿児島に稼げる仕事をつくる。</p>			
<p>2 コロナ後に対応できる、新しい産業・仕事をつくる。</p>			
<p>中小企業振興を推進します。</p> <p>6 地域の雇用の重要な受け皿である中小企業について、人材の育成・確保、資金供給の円滑化、新分野への進出支援、事業承継の支援など、総合的に振興策を行います。</p>	<p>(4年度) ○本市の中小企業者が、販路拡大を目的に、海外市場調査等を行う際に要する経費を助成 (5年度) ○本市の中小企業者が、販路拡大を目的に、海外での展示会等への出展や海外市場調査等、海外現地視察を行う際に要する経費を助成 (4年度: 2件、5年度: 1件 (8月末現在))</p>	輸出チャレンジ支援事業	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>中小企業振興を推進します。</p> <p>6 地域の雇用の重要な受け皿である中小企業について、人材の育成・確保、資金供給の円滑化、新分野への進出支援、事業承継の支援など、総合的に振興策を行います。</p>	<p>○かごしまデザインアワード（市内事業者提供の課題に対するデザインコンテスト）の開催 ※3年度は休止 ○かごしまデザインアワード関連品の展示会開催（5年度） ○かごしまデザインアワード10回記念イベントの開催（6年2月（予定）） ○クリエイターズデータベースの作成（予定）</p>	クリエイティブ産業創出支援事業	○
	<p>○首都圏でのU I Jターンイベントの開催（4年度：2回、5年度：1回・10月（予定））※3年度は休止 ○お試し移住イベントの開催（4年度：1回、5年度：1回・6年2月（予定））※3年度は休止 ○移住補助金の交付（移住したクリエイターに対する事業所改修及び設備投資にかかる費用への補助（4年度：3件、5年度：1件（8月末現在））※3年度は休止（4年度～） ○移住クリエイター交流会の開催（4年度：2回、5年度：2回・6月、6年2月（予定）） ○本市の支援を受けて移住したクリエイターに対する本市インキュベーション施設使用料の半額免除（6カ月間）（5年度） ○関西圏及び福岡市でのU I Jターンイベントの開催（5年度：9月・関西圏・福岡市各1回）</p>	クリエイティブ人材誘致事業	
	<p>○中小企業者（製造業者等）の生産性向上や人材育成、商品の販路拡大のほか、越境ECサイトの導入やSNSを活用した広告宣伝等に対し支援 助成件数：15件（3年度）、31件（4年度）、27件（5年度（8月末現在））（4年度～） ○生産性の向上（機材の導入）や事業承継に関する取組、製品開発から国内・海外での販路開拓までの一体的な支援、ふるさと納税お礼品開発等の支援について拡充（5年度） ○越境ECサイトの導入やSNSを活用した広告宣伝等の支援について拡充</p>	(再)「メイドインかごしま」支援事業	
	<p>○中小企業者の円滑な資金調達を促進するため、信用保証料の補助や、県信用保証協会に対する損失補償等を実施 信用保証料補助：99,914,350円（738件）（3年度） 89,987,650円（730件）（4年度） 41,419,920円（316件）（5年度（8月末現在）） 損失補償：23,535,248円（46件）（3年度） 12,680,378円（50件）（4年度） ※例年3月末に実績を公表。5年度の実績は、6年3月末に公表予定</p>	中小企業資金融資事業	
	<p>○東京23区に在住または通勤していた方が、鹿児島市内に移住し、中小企業等に就業、起業またはテレワークを行っている場合に、移住支援金を支給 交付件数：21件（3年度）、28件（4年度）、10件（5年度（8月末現在））（4年度～） ○子育て世帯の移住者に対して支援金を加算（5年度） ○関係人口を要件に追加</p>	移住・就業等支援事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>中小企業振興を推進します。</p> <p>6 地域の雇用の重要な受け皿である中小企業について、人材の育成・確保、資金供給の円滑化、新分野への進出支援、事業承継の支援など、総合的に振興策を行います。</p>	<p>(4年度)</p> <p>○来街者の増加や回遊性の向上などを図るため、照国表参道(国道225号)において、歩行者天国社会実験を実施 実施日:10月30日、実施場所:照国表参道(国道225号)</p> <p>(5年度)</p> <p>○実施主体である(一社)天文館みらいマネジメント及び関係機関と協議中 実施月:11月(予定)</p>	歩いて楽しめるまちづくり推進事業	○
	<p>(3年度)</p> <p>○商工業の振興を図るため、商工業振興プランの進行管理を実施 ○コロナ後を見据えた次期プランの策定、パブリックコメント実施 ○第2期プランを4年3月策定 (4年度～)</p> <p>○第2期プランの進行管理を実施、熱度マネジメント会議の開催</p>	商工業振興プラン推進事業	
	<p>(4年度～)</p> <p>○中心市街地の面的な活性化を図るため、商店街等が実施するにぎわいの創出につながるイベント等に対し助成 助成件数:2件(4年度)、2件(5年度(8月末現在))</p>	中心市街地にぎわい創出支援事業	
	<p>(4年度～)</p> <p>○マーケティングを学ぶ学生と店主の協働による小売・卸売・飲食サービス業の魅力向上に取り組むことで、繁盛店づくりと、若者の育成・地元定着を図る 参加店舗:5店舗(4年度)、6店舗(5年度(8月末現在))</p>	大学連携による繁盛店づくりコンサルティング事業	
	<p>○新たな事業展開に取り組む市内企業に対する、補助金の交付を通じた事業化支援 (3年度:2件、4年度:2件、5年度:4件/年(予定))</p> <p>○新製品・新サービスの創出に関するセミナー(4年度:4回、5年度:3回)※3年度は休止 (4年度～)</p> <p>○新製品・新サービスの創出に関するワークショップの開催(4年度:6回、5年度:6回・8月～6年1月(予定))</p> <p>○新規事業等の事業化に向けた専門家による伴走型支援の実施(4年度:2事業者、5年度:4事業者)</p>	新産業創出支援事業	
	<p>○商品開発ハンズオン支援の実施(4年度:3事業者、5年度:3事業者)</p> <p>○商是塾の開催(4年度:5回、5年度:5回・6月～6年2月(予定))</p> <p>○新商品開発入門セミナーの開催(4年度:5回、5年度:5回・9月～6年2月(予定))</p> <p>○新商品開発補助金(4年度:3件、5年度:3件(予定))</p> <p>※3年度は休止</p>	フードビジネス推進事業	
	<p>○トークセッションの開催(4年度:1回、5年度:1回・11月(予定))</p> <p>○アトツギベンチャー養成講座の開催(4年度:3回)</p> <p>○事業承継セミナーの開催(4年度:1回、5年度:1回・6年1月(予定))</p> <p>※3年度は休止</p>	ベンチャー型事業承継推進事業	
	<p>○若年者等を雇用した事業主に対し、国のトライアル雇用助成金と協調して市単独の支援金を支給 交付件数:7件(3年度)、20件(4年度)、10件(5年度(8月末現在))</p>	若年者等雇用促進助成事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p><u>中小企業振興を推進します。</u></p> <p>6 地域の雇用の重要な受け皿である中小企業について、人材の育成・確保、資金供給の円滑化、新分野への進出支援、事業承継の支援など、総合的に振興策を行います。</p>	<p>(4年度) ○市内事業所の雇用状況や市民の就労意識の変化、コロナ禍による影響などを調査</p>	勤労者労働基本調査事業	○
	<p>○学校卒業期に雇用環境が厳しい時期にあったこと等により、現在も不安定な就労状態にある就職氷河期世代の方の正規雇用化の促進を図るため、キャリアアップセミナーを実施 (3年度)9月、10月 (4年度)9月、10月 (5年度)9月、10月</p>	就職氷河期世代活躍支援事業	
	<p>○ものづくり分野の技能承継、技術力向上等を図るとともに、市内事業所の人材育成を支援するため、職業訓練センターで実施される職業訓練に要する経費を助成</p>	ものづくり職人育成支援事業補助金	
	<p>○連携中枢都市圏を形成する4市で合同企業説明会を開催 (3年1月、4年1月、5年1月、6年1月(予定))</p>	連携中枢都市圏合同企業説明会開催事業	
	<p>○障害者等を雇用した事業主に対し、国の特定求職者雇用開発助成金と協調して市単独の奨励金を支給 交付件数：374件(3年度)、204件(4年度)、93件(5年度(8月末現在))</p>	就職困難者等雇用促進助成事業	
	<p>○鹿児島・渋谷クリエイティブシンポジウム(渋谷区、鹿児島市を会場とするクリエイティブ産業振興をテーマとしたイベント)開催(4年度 渋谷会場:4年10月、鹿児島会場:5年2月)※3年度は休止 ※5年度より廃止</p>	鹿児島・渋谷クリエイティブシンポジウム開催事業	
<p><u>中小企業振興基本条例を制定します。</u></p> <p>7 地域経済における中小企業の重要性や、今後行うべき包括的な中小企業振興施策の位置付けを明確にするため、中小企業振興基本条例(仮称)を制定します。</p>	<p>○パブリックコメント実施 ○4年3月制定(4年4月施行)</p>	中小企業振興基本条例制定に向けた取組	○
<p><u>積極的な起業支援</u></p> <p>8 起業に必要なことを学ぶセミナーの拡充、手続の簡略化、制度融資の充実、大学等研究機関との連携強化ならびに紹介など、起業支援を推進します。</p>	<p>○インキュベーションマネージャー配置による相談支援 ○起業セミナーの開催 ※3年度は休止 女性対象(2年度:2回、4年度:1回、5年度:1回)、シニア対象(2年度:1回、4年度:1回、5年度:1回・6年2月(予定))、学生対象(2年度:1回、4年度:1回、5年度:2回・12月(予定)) (5年度) ○起業家による出前講座 5年度(8月末現在):8回</p>	女性・学生・シニア起業チャレンジ支援事業	○
	<p>○中小企業者の円滑な資金調達を促進するため、信用保証料の補助等を実施 信用保証料補助(創業支援資金分):7,904,985円(79件)(3年度) 7,197,404円(73件)(4年度) 3,982,563円(35件)(5年度(8月末現在))</p>	(再)中小企業資金融資事業	
	<p>○ソーホーかごしま入居者の支援 ○ソーホーかごしま入居者間の連携を促進する連絡会の実施(3年4月、4年4月、5年4月) (5年度) ○インキュベーションマネージャーによるオンライン相談体制の整備</p>	ソーホーかごしま管理運営事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>積極的な起業支援</p> <p>8 起業に必要なことを学ぶセミナーの拡充、手続の簡略化、制度融資の充実、大学等研究機関との連携強化ならびに紹介など、起業支援を推進します。</p>	○ソーシャルビジネス事業者等に対する相談支援	ソーシャルビジネス促進事業	○
	○インキュベーションマネージャー配置による相談支援 ○創業スキル養成講座（基礎編・実践編）の開催	新規創業者等育成支援事業	
	○少人数制産学マッチングイベントの実施（4年度：8回開催、5年度：8回開催（予定）） ○クラウドファンディングを活用した起業や新製品・サービス開発に対する補助金の交付（4年度：5件、5年度：6件/年（予定））	（再）新産業創出支援事業	
	○スタートアップ支援プログラムの開催（4年度：全18回、5年度：12月～6年3月（予定））	（再）クリエイティブ産業創出拠点施設企画運営事業	
	○創業期の経営安定と事業の健全な発展を支援するため、創業支援資金を利用した事業者に対する利子補給を実施 交付件数：6,375,380円（77件）（3年度）、5,710,730円（74件）（4年度）、1,528,726円（19件）（5年度（8月末現在））	新規開業支援利子補給金交付事業	
<p>戦略的な企業誘致に取り組みます。</p> <p>9 立地企業側のニーズと鹿児島市の強み・特徴を分析したうえで、民間の知見・つながりを生かした戦略的な企業誘致・留置に取り組みます。</p>	（4年度～） ○展示会への出展、プレスリリース配信サービスや新聞広告等を用いた企業立地に関するPR活動等を実施	企業立地PR事業	○
	○企業訪問活動の実施（3年1月以降の立地協定22件）（4年度） ○企業ニーズを把握・分析するためアンケート調査を実施（4年度～） ○補助金の拡充による企業立地の推進	企業立地推進事業	
	<p>生産性を上げて、賃金を増やします。</p> <p>10 サービス業を中心に、ICT等を活用した生産性向上の取り組みを支援するとともに、先進事例を市内全域に普及する取り組みを進めます。</p>	○EC（電子商取引）サイトの運営方法や先進事例を普及するため、市内の中小企業者向けにセミナーを開催 ○市内の中小企業者等の商品販売やサービス、店舗のPRを図るため、ECサイトの立ち上げ等に対し助成 助成件数：50件（3年度）、104件（4年度）、18件（5年度（8月末現在））	
○中小企業者（製造業者等）の生産性向上や人材育成、商品の販路拡大のほか、越境ECサイトの導入やSNSを活用した広告宣伝等に対し支援 助成件数：15件（3年度）、31件（4年度）、27件（5年度（8月末現在））（4年度～） ○生産性の向上（機材の導入）や事業承継に関する取組、製品開発から国内・海外での販路開拓までの一体的な支援、ふるさと納税お礼品開発等の支援について拡充（5年度） ○越境ECサイトの導入やSNSを活用した広告宣伝等の支援について拡充		「メイドインかごしま」支援事業	
（4年度～） ○中小企業者の円滑な資金調達を促進するため、信用保証料の補助を実施 信用保証料補助（ICT活用促進資金分）：0円（0件）（4年度） 0円（0件）（5年度（8月末現在））		（再）中小企業資金融資事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>生産性を上げて、賃金を増やします。</p> <p>10 サービス業を中心に、ICT等を活用した生産性向上の取り組みを支援するとともに、先進事例を市内全域に普及する取り組みを進めます。</p>	<p>(4年度～)</p> <p>○小規模事業者の生産性向上を図るため、専門家の派遣やICTツールの導入に対し助成 専門家派遣：20件(4年度)、9件(5年度(8月末現在)) ICTツール導入助成：18件(4年度)、0件(5年度(8月末現在))</p>	小規模事業者ICT導入促進支援事業	○
	<p>(4年度)</p> <p>○コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響を受けた生産性向上の取組を支援するため、先端設備等の導入を行う中小企業者に対し助成(申請受付開始：10月5日～) 助成件数：27件</p>	生産性向上設備導入支援事業	
<p>出身者は鹿児島市の宝！連携強化を進めます。</p> <p>11 市外在住の鹿児島市出身者との連携を強化し、周囲の方々に特産品や観光のPRを行って頂ける取り組みを進めます。</p>	<p>(5年度)</p> <p>○より効果的に都市イメージの向上と鹿児島ファンの拡大を図るため、鹿児島ゆかりの有識者等とのネットワーク化を図り、助言・協力を得ながら効果的なシティプロモーションを展開</p>	マグマシティ推進事業	○
	<p>(5年度)</p> <p>○鹿児島ファンの拡大を図るため、首都圏において本市特産品等の魅力を体感できるイベントを開催する 開催時期：11月7日 200名程度想定(予定)</p>	マグマの幸。鹿児島ファン拡大事業	
	<p>(4年度～)</p> <p>○本市への愛着を育てながら継続的に関わる人材の育成を図るため、本市の魅力を磨き発信するワークショップを実施 対象：市民及び本市出身者等の首都圏在住の若者 ○首都圏における鹿児島ファン拡大とネットワーク化を図るため、著名人も交えた鹿児島出身の首都圏在住者同士の交流会を開催</p>	かごしまラバースプロジェクト事業	
	<p>○首都圏在住の本県出身者が多数参加・観覧する渋谷・鹿児島おはら祭の開催に合わせ、渋谷区や県酒造組合等と連携して同区でイベントを開催し、焼酎など鹿児島ならではの食文化の体験等を通じて本市の魅力を発信</p>	シブヤでかごしまフェスティバル開催事業	
	<p>○首都圏在住の鹿児島ゆかりの方々に、鹿児島市政やまちづくりの現状、新たな観光の魅力等について市長自ら説明することで、本市のPRや都市間交流の推進を図るため、市政報告会を実施 (3年度)8月31日(初めてのオンライン配信による市政報告) (4年度)8月29日 昼・夜の部 計300名程度参加 (5年度)9月26日 一部制(夜のみ) 500名程度想定(予定)</p>	市政報告会開催事業	
	<p>○委嘱したふるさと大使が本市をPR ふるさと大使：9名(3年度)、8名(4年度)、8名(5年度(8月末現在))</p>	鹿児島市ふるさと大使設置事業	
<p>(3年度)</p> <p>○首都圏での関係人口の創出を図るため、出身者を含む首都圏在住者を対象に、市民と交流しながら本市の今を知り、魅力等を学んで本市との継続的な関わり方を考えていくセミナーをオンラインで実施</p>	かごしま”自分ごと”発見・体験講座		

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>12 <u>スマート農業を強かに推進します。</u> 「稼げる農業」実現のため、最先端のICTを活用した「スマート農業」を強かに推進します。</p>	<p>(5年度) ○海外のスマート農業技術を学ぶ、視察研修に対する支援を実施(予定)</p>	スマート農業海外研修支援事業	○
	<p>(3年度～) ○都市農業センター及び熟練農家現地圃場において、圃場環境のデータを収集・分析 (4年度～) ○協議会設立(5月) ○スマート農業に関する理解促進を図る説明会・研修会の実施 ○先進地事例調査によって、先端技術の情報収集を行い、その効果を検証するため、現地実証等を実施 (5年度) ○効果が実証された機器等については、普及を図るため、導入に係る経費に対し、支援を実施(予定)</p>	スマート農業推進事業	
	<p>○畜産クラスター事業において、畜産ICT機器の導入を支援</p>	畜産クラスター強化支援事業	
	<p>(5年度) ○軟弱野菜栽培の見える化・マニュアル化のためのデータ収集・分析・検証を共同研究</p>	都市型農業振興のための大学との連携事業	
<p>13 <u>「稼げる農業」実現へ、農地の有効活用を進めます。</u> 「稼げる農業」実現へ向け耕作放棄地化を防ぐとともに、農地の有効活用を進めます。</p>	<p>○新規就農者の経営安定を図るため、機械・施設等の導入経費に対する助成を実施 (4年度～) ○オンラインによる就農相談を実施 (5年度) ○新規就農者施設等整備事業で、家畜の導入経費に対する助成を実施</p>	新規就農者支援対策事業	○
	<p>○第3期農林水産業振興プランの策定(4年3月)、進行管理の実施 ○地域における話し合い活動を促進 ○中山間地域等直接支払交付金による支援 ○農業振興地域整備計画の一般管理の実施 (5年度) ○農業振興地域整備計画に関する基礎調査の実施</p>	農村振興対策事業	
	<p>(4年度) ○付加価値の高い商品開発に必要な加工施設を整備 ○加工機器活用のための研修会の実施 (5年度) ○付加価値の高い商品開発に必要な加工機器を追加導入 ○加工機器活用のための研修会の実施 ○生産者団体と大学等が連携した商品開発の支援</p>	6次産業新商品開発チャレンジ事業	
	<p>(5年度) ○地域計画予定区域内の農地の所有者等に対し、農地の利用意向調査を実施(5年5月～)</p>	目標地図素案作成事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>「稼げる農業」実現へ、農地の有効活用を進めます。</p> <p>13 「稼げる農業」実現へ向け耕作放棄地化を防ぐとともに、農地の有効活用を進めます。</p>	<p>(4年度) ○タブレット端末(18台)を導入 ○農地利用状況調査での利用に向けて、操作研修を実施</p> <p>(5年度) ○タブレット端末を利用し、農地利用状況調査等を実施</p>	農地情報収集等業務効率化事業	○
	<p>○多様な人材の農業参入を図るため、農業者への意向調査や情報提供等を実施</p> <p>(3年度～) ○地域の農地利用等を担う経営体を確保するため、農業経営の継承時に必要な経費に対する助成を実施</p>	農業担い手育成対策事業	
	<p>○遊休農地の調査及び活用方法について検討 ○遊休農地バンクにより、耕作放棄地に関する情報を県内外へ提供 ○よみがえれ農地事業により、遊休化した農地の再生利用を推進 ○農地の流動化や市民農園により、農地の遊休化を防止</p> <p>(4年度) ○遊休農地の再生利用(よみがえれ農地事業)や発生防止(農地流動化対策事業)のための補助条件を緩和</p>	遊休農地活用推進事業	
	<p>○地域農業の維持発展に必要な既存の農業用施設の整備に対し支援</p>	次世代農業担い手サポート事業	
	<p>○全国和牛能力共進会に向けて、優良繁殖雌牛の導入に対する助成を実施</p>	全国和牛能力共進会出品対策事業補助金	
	<p>○園芸作物の生産安定と品質向上を図るため、園芸施設等の整備を支援 ○地域特性を生かした農産物の産地育成並びに拡大定着を図るため、生産資材等の導入を支援 ○生産技術の向上と経営の安定を図るため、農産物生産者団体の自主的組織活動に対して支援</p>	農産物生産振興事業	
	<p>○生産基盤施設や生活環境施設の総合的な整備の実施</p>	土地改良事業(農業生産基盤の整備)	
	<p>(4年度) ○市内産農林水産物を活用した加工品開発に関する経費に対する助成 ○6次産業化に関する研修会の実施</p> <p>(5年度) ○市内産農林水産物を活用した加工品開発・販売促進活動に関する経費に対する助成 ○6次産業化に関する研修会の実施</p>	6次産業化推進事業	
	<p>○降灰被害の防止・軽減を図るため、防災営農施設等の整備を支援</p>	降灰地域防災営農対策事業	
	<p>○農地パトロールによる農地の利用状況調査や所有者等への意向調査等を実施し、遊休農地の解消等、農地利用の最適化を図る</p>	農地利用最適化推進事業	
<p>○農地の権利及び利用に関する調整や利用権の設定等を行うことにより、農地の有効利用及び流動化を促進</p>	農地銀行事業		

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>「稼げる林業」づくりに取り組みます。</p> <p>14 木材がより高く売れ、木材関連産業従事者の所得が増える様、高付加価値化や輸出に必要な環境整備に取り組みます。シイタケ、タケノコなどの特用林産物の生産拡大、竹の活用にも力を入れ、「稼げる林業」の実現に向け取り組みます。</p>	<p>(4年度～)</p> <p>○森林のもたらす恩恵や木の温もりなど木の良さについて意識の醸成を図り、木材の需要拡大につなげるため、木材を活用した教育資材等(机や椅子等)の整備を実施</p> <p>(5年度)</p> <p>○新生児をもつ保護者へ木製品の贈呈を実施(贈呈:6年1月～予定)</p> <p>○森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度を推進し、適切な森林管理の実施</p> <p>○木材生産の低コスト化を図るため、高性能林業機械の活用に対し助成</p> <p>○森林の持つ水源かん養や木材生産の安定供給など、多面的機能維持向上を図るため、間伐等に対し助成し、また、木材の高付加価値化を図るため、プレカット加工施設等の整備に対し助成</p> <p>○木材の輸送コストの低減を図り、輸出に必要な環境整備にも寄与するため、林道の整備や維持管理を実施</p> <p>○特用林産物生産拡大等を図るため、特用林産物(たけのこ等)や竹材を生産する、竹林の改良や管理路の整備等に助成</p>	<p>木育環境整備推進事業</p> <p>森林経営管理推進事業</p> <p>森林資源整備事業</p> <p>林道整備事業 林道管理事業</p> <p>特用林産振興事業</p>	○
<p>「稼げる水産業」づくりに取り組みます。</p> <p>15 体験型も含めた観光化の取り組みや、鹿児島島の魚の魅力を漁業者から直接伝えることのできる機会づくりなど、魚食の普及も含め、稼げる水産業づくりを進めます。</p>	<p>○国の「農林水産物・食品輸出促進対策整備交付金」を活用し、水産加工品の輸出拡大を図るため、食品製造業者等が行う輸出先のニーズに対応したHACCP等の基準に適合させるための施設・機器の整備等に要する経費を助成 3年度:0件、4年度:0件、5年度(8月末時点):1件(予定)</p> <p>○漁業経営の安定を図るため、漁協が実施する直販施設等の整備に対し助成</p> <p>○市場関係者と市で構成する「いお・かごしま魚食普及拡大推進協議会」で魚食普及に係る各種イベントを開催</p> <p>○各種商談会・セミナーへの参加、輸出促進に係る調査、国内外バイヤーの招へい</p> <p>○ブルーツーリズムをテーマにセールス、キャンペーン等を実施</p> <p>○サイクルツーリズムの取組を展開</p> <p>○多くの観光客や市民に美味のまち鹿児島を体感し、楽しんでもらうため、食などの地域資源を生かした民間主催のイベントを支援 (3年度)海と食の地域モデルin鹿児島、クリスマスマーケット (4年度)海と食の地域モデルin鹿児島</p> <p>○漁業体験イベントを実施 3年度:3回、4年度:1回、5年度:1回(予定)</p> <p>(3年度)</p> <p>○コロナ禍における観光振興策として、体験型観光メニューの充実を促進するため、市民モニターを対象にお試しクーポンを発行</p>	<p>水産加工業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業補助金</p> <p>漁業施設整備支援事業</p> <p>魚類市場活性化推進事業</p> <p>魚類市場輸出拠点構築推進事業</p> <p>広域観光連携事業(錦江湾奥会議)</p> <p>“美味のまち鹿児島”づくりイベント支援事業</p> <p>(再)グリーン・ツーリズム推進事業</p> <p>(再)かごしまワクワク体験推進事業</p>	○
<p>鳥獣被害対策を進めます。</p> <p>16 シカやイノシシなどの鳥獣被害を軽減するための取り組みを進めます。またジビエ料理普及の取り組みを支援します。</p>	<p>○鳥獣による農作物等への被害を防止するため、電気柵等の導入や有害鳥獣捕獲活動に対して支援するとともに、鳥獣を寄せ付けない集落ぐるみでの取組を推進</p> <p>(4年度～)</p> <p>○市ホームページで、県内のジビエ取扱店について情報発信</p> <p>○農林水産まつり(11月)や地域農業まつり(12月)で、ジビエ料理を提供しPRを実施</p>	<p>有害鳥獣被害対策事業</p>	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
3 世界から観光客を集める・国際都市KAGOSHIMAをつくる。			
<p>クルーズ船の経済効果を高めます。</p> <p>17 クルーズ船で鹿児島を訪れる観光客が、鹿児島の食や伝統工芸など魅力を体感し、もっと地元への経済効果を高める環境整備を行います。</p>	<p>(4年度) ○本市における高付加価値なガイド付きツアーを企画・実施する、稼ぐインタープリター(自然、文化など本市の深い魅力を分かりやすく伝えるガイド)を創出(研修の実施) OTA掲載:8ツアー</p> <p>(5年度) ○本市における高付加価値なガイド付きツアーを企画・実施する、稼ぐインタープリター(自然、文化など本市の深い魅力を分かりやすく伝えるガイド)を創出(アドベンチャー・トラベルの要素を含む研修の実施、旅行商品造成担当者の招請、専門家によるブラッシュアップ)</p> <p>(3~4年度) ○鹿児島港における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインに基づく受入体制の整備</p> <p>(4年度) ○いづろ交差点付近へ貸切バス乗降場を増設(1か所→2か所)</p> <p>(4年度~) ○大型クルーズ船の鹿児島港への誘致や受入体制の整備を促進するため、官民一体となった観光案内等を実施</p> <p>(3年度) ○地元への経済効果を高める環境整備に向け、コロナ後の寄港再開を見据えて、新たな寄港地ツアーにつながる観光素材の発掘や体験型観光メニューの磨き上げを実施</p>	<p>(再) 稼ぐインタープリター創出事業</p> <p>クルーズ船誘致・受入事業</p> <p>(再) かがしまワクワク体験推進事業</p>	<p>○</p>
<p>市民総ぐるみで国体・全国障害者スポーツ大会を盛り上げます。</p> <p>18 2023年の国体・全国障害者スポーツ大会を、市民みんなで盛り上げるため取り組みます。</p>	<p>(5年度) ○かがしま国体・かがしま大会に向け、おもてなしや本市観光情報を伝える動画を制作し、デジタルサイネージ等を活用したプロモーションを実施 ○鹿児島市観光PRキャラクター「西郷どん」を活用し、かがしま国体・かがしま大会のPRや本市魅力を発信</p> <p>(3年度) ○特別国体の本市開催運営基本理念「温もり つなぐ 特別国民体育大会」を具体化し、効果的に両大会をPRするため、3年9月にPR動画の作成のほか、ロゴマークのリニューアルを実施</p> <p>(3年度~) ○ホームページやSNSを活用し、市民等に対して両大会に関する情報を発信</p> <p>(4年度~) ○「市民みんなで一緒になった取組の推進」としてボランティア募集や小・中学校での国体PR活動を実施</p> <p>(5年度) ○市民みんなで大会を盛り上げるため、花いっぱい運動や手づくり応援のぼり旗作成のほか、炬火リレーや学校観戦を実施 ○5年9月「燃ゆる感動かがしま国体」(会期前競技)の開催 ○5年10月「燃ゆる感動かがしま国体・かがしま大会」の開催(予定)</p> <p>○経年劣化で故障した噴水設備を撤去し、新たに修景施設として花壇を整備</p>	<p>ようこそかごんまへ! かがしま国体・かがしま大会おもてなし事業</p> <p>特別国民体育大会等開催事業</p> <p>文化公園広場整備事業</p>	<p>○</p>

manifestoの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>18 <u>市民総ぐるみで国体・全国障害者スポーツ大会を盛り上げます。</u> 2023年の国体・全国障害者スポーツ大会を、市民みんなで盛り上げるため取り組みます。</p>	<p>(4年度～) ○かごしま国体・かごしま大会に向けた「高校生によるまち案内活動」を実施(新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、5年1月に開始) 申込者数:高校生47名 ○申込者に対するシティビューを利用した研修会を開催</p>	<p>(再)歩いて楽しめるまちづくり推進事業</p>	○
<p>19 <u>障害のある人も、ない人も、安心して周遊できる「ユニバーサルツーリズム」先進県をつくりま</u> <u>す。</u> 2023年の全国障害者スポーツ大会を良い契機として、障害のある人も、ない人も、安心して周遊できる「ユニバーサルツーリズム」先進地をつくりま</p>	<p>(3年度) ○先進事例調査や観光事業者を対象とするセミナーの開催、本市の宿泊施設や飲食施設等の現状把握を実施し、本市取組の方向性を整理 (4年度) ○ユニバーサルツーリズムの推進に向け、受入体制の整備に対する助成などを実施 宿泊施設バリアフリー化支援補助金 申請8件(補助額:23,888,000円) (5年度) ○ユニバーサルツーリズムの推進に向け、受入体制の整備に対する助成などを実施 飲食施設バリアフリー化支援補助金 申請5件(補助額:4,060,000円)(8月末現在)</p>	<p>ユニバーサルツーリズム推進事業</p>	○
<p>20 <u>ネットを活用した、多言語対応の観光誘客</u> 多言語対応の観光マップ、アプリ等を整備することで、より多くの国・言語の観光客が安心して周遊できる環境を整備します。</p>	<p>(5年度) ○体験型観光メニューの魅力向上や販売力向上に向けた取組を支援(セミナー、OTA掲載支援等)</p>	<p>(再)インバウンド向けコンテンツ魅力・販売力強化補助金</p>	○
	<p>(3年度) ○観光DX推進の一環として、観光CRMアプリを活用した地域マーケティングの実証実験を実施 (4年度～) ○観光CRMアプリを活用した地域マーケティングに新たに取り組む鹿児島観光コンベンション協会に対して助成を実施</p>	<p>(再)観光CRMアプリ推進補助金</p>	
	<p>(4年度) ○ムスリムやベジタリアン等の外国人観光客の誘客につなげるため、民間事業者等におけるフードダイバーシティ(食の多様性)の取組を支援(セミナー、新メニューづくり支援等) ベジタリアンやハラール新メニュー販売店舗: +8店舗/2事業者 (5年度) ○ムスリムやベジタリアン等の外国人観光客の誘客につなげるため、民間事業者等におけるフードダイバーシティ(食の多様性)の取組を支援(勉強会、誘客力のある新メニューの支援等)</p>	<p>(再)インバウンド向けフードダイバーシティ(食の多様性)推進事業</p>	
	<p>(3年度～) ○コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、コンベンション協会が進めるマーケティングリサーチの強化やWEBプラットフォームの認知度向上の取組等に助成 ・かごしま市観光ナビでの情報発信(英語、繁体語、簡体語、韓国語) ・画像を活用したデジタルプロモーション(英語、繁体語、簡体語、韓国語)(3年度) (4年度) ○WEBプラットフォームでの予約販売体制の充実等に助成</p>	<p>(再)DMO推進補助金</p>	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>ネットを活用した、多言語対応の観光誘客</p> <p>20 多言語対応の観光マップ、アプリ等を整備することで、より多くの国・言語の観光客が安心して周遊できる環境を整備します。</p>	<p>(3年度) ○コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、オンライン観光の取組を支援 オンライン観光支援補助金 4件(補助額:844,000円)</p> <p>(4年度) ○宿泊施設等における衛生対策、コロナ収束後の観光需要回復を見据えた魅力づくりや受入体制の充実に向けた取組などを支援 ・衛生対策分:22件(補助額:4,161,000円) ・公募分:20件(補助額:13,343,000円)</p> <p>(5年度) ○インバウンド誘客につながる観光イベントの創出や観光メニューの造成等に対し助成申請5件(補助額:1,433,000円)(8月末現在)</p> <p>(3年度～) ○観光パンフレット等を県内外に配布(英語、繁体語、簡体語、韓国語)</p> <p>○外国人観光客等の利便性の向上を図るため、かごしま水族館と平川動物公園の展示及び観光オブジェ「時標」の多言語解説動画等を観光客がモバイル端末で動画等を視聴できるサービスを提供</p> <p>(3年度) ○既存データを基礎とする分析や専門家及び実務担当者の意見聴取、利便性や多様性に関する本市の現状把握を実施し、本市取組の方向性を整理</p> <p>(4年度) ○コロナ収束後の観光需要回復に向けた稼働力を強化するため、観光CRMアプリを活用したイベント開催等による地域マーケティングを実施</p>	<p>(再)アフターコロナ・リカバリーサポート補助金</p> <p>海外プロモーション推進事業</p> <p>観光施設維持管理費 かごしま水族館管理運営事業 平川動物公園管理運営事業</p> <p>(再)海外観光客特性・ニーズ調査・対応事業</p> <p>(再)観光CRMアプリ利活用事業</p>	○
<p>鹿児島市在住経験外国人のネットワークを構築します。</p> <p>21 鹿児島市在住後帰国した外国人の方々と、継続したネットワークを構築します。</p>	<p>○本市に滞在した外国人(留学生、ALT等)との間に培われた友好の絆を帰国後も持続させるため、フレンドシップパートナーとして委嘱 フレンドシップパートナー:13人(3年度)、16人(4年度)、11人(5年度8月末時点)</p> <p>(4年度) ○SNSを通じて継続した交流を実施</p>	フレンドシップパートナー事業	○
<p>インバウンド対応の人材育成</p> <p>22 海外からの観光客誘客に対応できる人材育成を進めます。</p>	<p>(5年度) ○体験型観光メニューの魅力向上や販売力向上に向けた取組を支援(セミナー、OTA掲載支援等)</p> <p>(4年度) ○本市における高付加価値なガイド付きツアーを企画・実施する、稼働インタープリター(自然、文化など本市の深い魅力を分かりやすく伝えるガイド)を創出(研修の実施) OTA掲載:8ツアー</p> <p>(5年度) ○本市における高付加価値なガイド付きツアーを企画・実施する、稼働インタープリター(自然、文化など本市の深い魅力を分かりやすく伝えるガイド)を創出(アドベンチャー・トラベルの要素を含む研修の実施、旅行商品造成担当者の招請、専門家によるブラッシュアップ)</p>	<p>(再)インバウンド向けコンテンツ魅力・販売力強化補助金</p> <p>稼働インタープリター創出事業</p>	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>22 <u>インバウンド対応の人材育成</u> 海外からの観光客誘客に対応できる人材育成を進めます。</p>	<p>(4年度) ○ムスリムやベジタリアン等の外国人観光客の誘客につなげるため、民間事業者等におけるフードダイバーシティ(食の多様性)の取組を支援(セミナー、新メニューづくり支援等) ベジタリアンやハラール新メニュー販売店舗: +8店舗/2事業者</p> <p>(5年度) ○ムスリムやベジタリアン等の外国人観光客の誘客につなげるため、民間事業者等におけるフードダイバーシティ(食の多様性)の取組を支援(勉強会、誘客力のある新メニューの支援等)</p>	<p>(再) インバウンド向けフードダイバーシティ(食の多様性)推進事業</p>	○
	<p>(3年度) ○コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、外国人観光客対応人材向けの研修を実施</p> <p>(4年度) ○コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、飲食店等の競争力強化のための研修に助成</p> <p>(5年度) ○インバウンド観光客受入体制強化のための観光関連事業者向け研修を実施</p>	<p>(再) DMO推進補助金</p>	
	<p>(4年度~) ○マーケティング・マネジメント等を担う高度な観光人材の育成を実施(「かごしま観光未来塾」の開講) 4年度: 年4回実施 5年度: 年4回実施予定</p>	<p>かごしま観光未来塾設置事業</p>	
	<p>(3年度) ○コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、オンライン観光の取組を支援 オンライン観光支援補助金 4件(補助額: 844,000円)</p> <p>(4年度) ○宿泊施設等における衛生対策、コロナ収束後の観光需要回復を見据えた魅力づくりや受入体制の充実に向けた取組などを支援 ・衛生対策分: 22件(補助額: 4,161,000円) ・公募分: 20件(補助額: 13,343,000円)</p> <p>(5年度) ○インバウンド誘客につながる観光イベントの創出や観光メニューの造成等に対し助成申請5件(補助額: 1,433,000円)(8月末現在)</p>	<p>(再) アフターコロナ・リカバリーサポート補助金</p>	
<p>23 <u>国際会議・各種大会の誘致を進めます。</u> 国際会議や各種大会(全国大会など)の誘致へ向け、補助金の創設、誘致に向けた立候補の支援など、積極的な支援を行います。</p>	<p>(5年度) ○令和6年度の第14回アジア太平洋都市サミットの本市開催に向け、特設ウェブサイトの開設(予定)等運営に係る準備業務を実施</p>	<p>アジア太平洋都市サミット開催準備事業</p>	○
	<p>○「MICE誘致戦略プラン」に基づき、MICE開催の推進に取り組む鹿児島観光コンベンション協会に対して助成</p>	<p>MICE推進補助金</p>	
	<p>(5年度) ○交流拠点機能強化に向け、スポーツ・イベントを見て楽しめる機能の向上を図るリニューアルを検討</p>	<p>鹿児島アリーナリニューアル検討事業</p>	
	<p>(4年度) ○市長によるMICE誘致のトップセールスを実施</p>	<p>国内プロモーション推進事業</p>	
<p>(4年度) ○会議やイベント(スポーツ、コンサート等)の開催形式の多様化に対応するため、鹿児島アリーナの通信環境を充実</p>	<p>鹿児島アリーナ通信環境整備事業</p>		

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>24 <u>イスラム教徒向け「ハラール」など、各地域に合った誘客を推進します。</u></p> <p>イスラム市場向けの「ハラール」対応など、各国・地域の特徴・ニーズに合わせた形での誘客を推進します。</p>	<p>(5年度)</p> <p>○体験型観光メニューの魅力向上や販売力向上に向けた取組を支援（セミナー、OTA掲載支援等）</p>	<p>(再) インバウンド向けコンテンツ魅力・販売力強化補助金</p>	○
	<p>(4年度)</p> <p>○ムスリムやベジタリアン等の外国人観光客の誘客につなげるため、民間事業者等におけるフードダイバーシティ（食の多様性）の取組を支援（セミナー、新メニューづくり支援等）</p> <p>ベジタリアンやハラール新メニュー販売店舗：+8店舗/2事業者</p> <p>(5年度)</p> <p>○ムスリムやベジタリアン等の外国人観光客の誘客につなげるため、民間事業者等におけるフードダイバーシティ（食の多様性）の取組を支援（勉強会、誘客力のある新メニューの支援等）</p>	<p>インバウンド向けフードダイバーシティ（食の多様性）推進事業</p>	
	<p>(4年度)</p> <p>○台湾を対象に、インバウンド需要の回復段階に応じたプロモーションを実施</p> <p>Instagram、Facebookでの情報発信：13回、記者招聘：ラーチャーゴー(Webサイト)の記者(12月)</p> <p>○フランスでの「北前船寄港地フォーラム」において、観光PR等を実施(10月)</p> <p>(5年度)</p> <p>○香港・台湾・韓国市場における個人旅行者向けプロモーションを実施</p>	<p>海外プロモーション推進事業</p>	
	<p>(3年度～)</p> <p>○コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、コンベンション協会が進めるマーケティングリサーチの強化やWEBプラットフォームの認知度向上の取組等に助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かごしま市観光ナビでの情報発信（英語、繁体語、簡体語、韓国語） ・画像を活用したデジタルプロモーション（英語、繁体語、簡体語、韓国語）（3年度） <p>(4年度)</p> <p>○WEBプラットフォームでの予約販売体制の充実等に助成</p>	<p>(再) DMO推進補助金</p>	
	<p>(3年度)</p> <p>○既存データを基礎とする分析や専門家及び実務担当者の意見聴取、利便性や多様性に関する本市の現状把握を実施し、本市取組の方向性を整理</p>	<p>海外観光客特性・ニーズ調査・対応事業</p>	
<p>25 <u>体験型観光を進めます。</u></p> <p>農業体験や農家民泊（グリーンツーリズム）、漁業体験（ブルーツーリズム）など体験型観光、修学旅行の誘致に向けた環境整備を行います。</p>	<p>(5年度)</p> <p>○観光客の滞在時間延長や消費額拡大を図るため、インバウンド誘客につながる夜間等における観光コンテンツの創出に向けたナイトタイムエコノミーの実証実験等を実施する（5年9月～）</p>	<p>ナイトタイムエコノミー実証実験事業</p>	○
	<p>(5年度)</p> <p>○体験型観光メニューの魅力向上や販売力強化の支援に取り組む鹿児島観光コンベンション協会に対して助成</p>	<p>インバウンド向けコンテンツ魅力・販売力強化補助金</p>	
	<p>(5年度)</p> <p>○インバウンド観光の再始動を図るため、桜島と錦江湾を生かした高付加価値観光商品の造成・販売を行う</p>	<p>インバウンド観光再始動事業</p>	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>体験型観光を進めます。</p> <p>25 農業体験や農家民泊（グリーンツーリズム）、漁業体験（ブルーツーリズム）など体験型観光、修学旅行の誘致に向けた環境整備を行います。</p>	<p>（4年度） ○桜島を周回するサイクリングコースを設定し、インバウンド誘客や旅行商品の展開に向けたサイクルツーリズムの実証実験を実施</p> <p>（5年度） ○ストラスブール市との交流の一環として、日本を縦断する自転車イベントであるジャパニーズ・オデッセイの参加者と市民の交流を図るとともに、桜島地域を中心にサイクルツーリズムの推進に向けて取り組む（5年10月開催予定）</p>	SAKURAJIMAサイクルツーリズム推進事業	○
	○体験プログラム、ツアーの実施及び情報発信	桜島・錦江湾ジオパーク推進事業	
	<p>（4年度～） ○観光農業公園の魅力向上、利用促進のため、オートキャンプ場整備（供用開始：5年4月）、常設テント一部リニューアル（5年7月）</p>	観光農業公園キャンプ場整備事業	
	<p>（5年度） ○歴史と文化の道地区において夜間景観に関するワークショップの開催、まち歩きを実施（5年7月）</p>	まちなか夜間景観形成事業	
	<p>（4年度） ○新たな観光コンテンツの造成を検討するため、桜島フェリーを活用した錦江湾クルージングの実証実験として2回のイベントクルーズを運航し、実施時期やチケットの価格帯等についての調査を実施</p> <p>○実施日：令和4年10月22日（土） 参加者数：176人 令和4年10月23日（日） 参加者数：117人</p> <p>（5年度） ○船内でのイベントや飲食の提供を企画する事業者と連携し、広報やイベントの造成を行うことで誘客につなげ、新たな観光コンテンツとしてのイベントクルーズ「錦江湾ナイトクルーズ」を実施</p> <p>○実施日：令和5年8月10日（木） 参加者数：440人 令和5年8月19日（土） 参加者数：759人</p>	遊覧船運航事業	
	○市民に安全で快適な海釣りの場及び海上の憩いの場を提供 ○初心者釣り教室など釣りに関するイベントの開催	海づり公園管理事業	
	<p>（3年度） ○コロナ禍における観光振興策として、宿泊施設と体験型観光メニューや着地型ツアー等が連携した新たなビジネスを支援 申請 6件（補助額：3,477,000円）</p> <p>（4年度） ○宿泊施設等における衛生対策、コロナ収束後の観光需要回復を見据えた魅力づくりや受入体制の充実に向けた取組などを支援 ・衛生対策分：22件（補助額：4,161,000円） ・公募分：20件（補助額：13,343,000円）</p> <p>（5年度） ○インバウンド誘客につながる観光イベントの創出や観光メニューの造成等に対し助成申請5件（補助額：1,433,000円）（8月末現在）</p>	（再）アフターコロナ・リカバリーサポート補助金	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>25 体験型観光を進めます。</p> <p>農業体験や農家民泊（グリーンツーリズム）、漁業体験（ブルーツーリズム）など体験型観光、修学旅行の誘致に向けた環境整備を行います。</p>	<p>○ボランティアガイドの案内を聞きながら鹿児島島の歴史や文化を楽しむ「鹿児島ぶらりまち歩き」を実施する鹿児島観光コンベンション協会に対して助成 ぶらりまち歩き：13コース 観光地ガイド：9か所（8月末現在）</p>	鹿児島島ぶらりまち歩き推進事業	
	<p>（4年度） ○ジオパークにおける防災の取組の旅行商品化に向けて、「防災」や「インフラ」、「人の営み」を組み合わせた防災ツーリズムの実証実験を実施 （5年度） ○関係機関との協議や旅行会社へのヒアリングを実施</p>	桜島における防災ツーリズム実証実験事業	
	<p>○農作業体験学習の実施 ○漁業体験イベントの実施 3年度：3回 4年度：1回 5年度：1回（予定） ○日帰り体験ツアー実施 3年度：3回 4年度：1回 5年度：1回（予定）</p>	グリーン・ツーリズム推進事業	○
	<p>○指定管理者において、農業・調理・自然体験プログラムや環境学習プログラムを実施</p>	観光農業公園管理運営事業	
	<p>（3年度） ○コロナ禍における観光振興策として、体験型観光メニューの充実を促進するため、市民モニターを対象にお試しクーポンを発行</p>	（再）かごしまワクワク体験推進事業	
	<p>（3年度） ○本市グリーン・ツーリズム推進の指針となる第3期グリーン・ツーリズム推進計画（4年度～8年度）を策定</p>	第3期グリーン・ツーリズム推進計画策定事業	
	<p>（4年度） ○桜島ユース・ホステル跡地など3か所を候補地とし、自然体験型観光を推進し桜島地域のにぎわい創出を図ることを目的に、オートキャンプ場等整備の可能性について調査を実施</p>	桜島自然体験アクティビティ可能性調査事業	
<p>26 伝統的工芸品振興</p> <p>大島紬、薩摩焼などの伝統的工芸品について、その魅力に触れ、物語を知るための機会を増やします。また市民向けに、実際に触れる機会、そして背景にある由来などの物語を知る機会を増やし、まずは自分たちが魅力を知る取り組みを支援します。</p>	<p>○伝統的工芸品産業の産地組合が行う活路開拓に対する経費の補助などを実施 助成件数：2件(3年度)、6件(4年度) （4年度～） ○伝統的工芸品をテーマとしたイベントを民間事業者と共同開催し、イベントの運営及び参加に対して助成 4年度：1/13～2/5開催 5年度：令和6年2月9日～18日開催予定</p>	伝統的工芸品産業の活路開拓支援事業	○
<p>○伝統的工芸品産業（大島紬・竹）業者等に作業場（大島紬締機センター・大島紬のり張りセンター・竹産業振興センター）を提供</p>	伝統的工芸品産業の振興事業		

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>鹿児島市を舞台としたコンテンツの制作振興</p> <p>27 鹿児島市を舞台としたコンテンツ（映画、アニメ、マンガ、ゲームなど）をより多く作って頂くため、全面的に取り組みを行います。</p>	<p>（3年度） ○映像制作者への情報提供、撮影許可申請手続き等の支援 （4年度） ○映画撮影等誘致支援補助金、撮影許可申請手続き等による支援 ○ロケーションガイドリニューアルやJFC全国ロケ地フェアへの出展 （5年度） ○映画撮影等誘致支援補助金、撮影許可申請手続き等による支援 ○JFC全国ロケ地フェアへの出展（6年1月（予定））</p>	映画撮影等誘致支援事業	○
<p>観光資源となる「稼げる」スタジアム整備</p> <p>28 世界に「KAGOSHIMA」の名前をPRし、観光都市としての観光資源となり、複合的な施設として「稼げる」スタジアム整備へ取り組みを進めます。</p>	<p>（3年度） ○本市にふさわしい「稼げる」スタジアム像の調査分析業務の実施 ○スタジアム像について市民等との共有を図るためのシンポジウムの開催（11月） （4年度） ○スタジアムの3候補地における需要予測等調査・整備検討支援業務の実施 ○「稼げる」スタジアムの実現に向け、機運向上に繋げるためのイベントの開催（11月） （5年度） ○スタジアム候補地の整理、北ふ頭での整備可能性について検討実施 ○多機能複合型スタジアム検討協議会の設置（7月） ○若い世代の柔軟な発想をもとに各世代への機運向上に繋げるため、学生によるワークショップの実施（5年8月～10月予定）</p>	多機能複合型スタジアム整備検討事業	○
<p>プロスポーツ等のホームゲームの盛り上がりをつくりまします。</p> <p>29 市の施設を利用したホームゲーム等の際には、より盛り上がる事ができる様、施設や敷地の使用について柔軟に認めるようにします。また試合がない時でもホームとして雰囲気づくりを進めるための取り組みを柔軟に行えるようにします。</p>	<p>（4年度～） ○新たなブースターの拡大やチームを応援する機運醸成を図り、交流人口の増や地域活性化につなげるため、企業版ふるさと納税を活用して、市民の無料招待等の取組を実施（予定） ○企業版ふるさと納税を活用して、喜入地域の新たな拠点施設となる鹿児島ユナイテッドFCTレーニン施設整備を支援 ・グラウンド部分が完成、利用開始（3年10月） ○無償で用地貸付を行い、喜入地域の新たな拠点施設となる鹿児島ユナイテッドFCTレーニン施設整備を支援 ○本市を拠点とするプロサッカーボールチーム「鹿児島ユナイテッドFC」のホームゲームにおいて、「鹿児島をもっとひとつに。」プロジェクト実行委員会とともに賑わい創出イベント等を実施 ○本市を拠点とするプロバスケットボールチーム「鹿児島レブナイズ」のホームゲームにおいて、鹿児島レブナイズ地域活性化実行委員会とともに賑わい創出イベント等を実施</p>	<p>鹿児島レブナイズブースター拡大事業</p> <p>鹿児島ユナイテッドFCTレーニン施設整備等支援事業</p> <p>鹿児島ユナイテッドFCTレーニン施設用地貸付</p> <p>鹿児島ユナイテッドFC活動支援事業</p> <p>鹿児島レブナイズ活動支援事業</p>	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>30 <u>スポーツ合宿の誘致</u></p> <p>民間事業者や教育研究機関等と連携し、食生活指導や科学的トレーニング指導といった魅力もPRし、プロ、実業団チームや学生の部活などスポーツ合宿の誘致を推進します。</p>	<p>○鹿児島観光コンベンション協会が「MICE誘致戦略プラン」に基づき、MICE開催を推進しており、当協会に対して助成</p>	(再) MICE 推進補助金	
	<p>(5年度)</p> <p>○世界水泳選手権大会に出場するイギリス競泳チームの合宿を受け入れるほか、南アフリカとの交流イベントとしてラグビーワールドカップ2023フランス大会のパブリックビューイング等を行い、交流人口の増やスポーツ振興を図る</p>	国際大会等スポーツキャンプ受入事業	
	<p>○合宿等の誘致を図るため、県外にある大学の学生の団体が本市内で実施する合宿及びスポーツ大会に対し助成</p>	合宿・大会誘致推進事業	○
	<p>○関係者と協議しながら、例年キャンプを実施しているチームや新たなチームの受入れを積極的に行うほか、プロや実業団チームなどの受入時には、宿泊ホテルと連携して、地元食材を使い、バランスの取れた食事を提供するなど、充実したキャンプになるよう支援を実施</p>	スポーツキャンプ受入・誘致事業	
<p>31 <u>市電延伸の検討を進めます。</u></p> <p>市電の観光路線延伸については、県と連携を図りながら、早期に最適なルートを選定し、試算内容を市民や市議会に対し明らかにします。</p>	<p>○県との意見交換を実施（県市連絡会等）</p>	路面電車観光路線検討事業	○
<p>32 <u>磯新駅の整備</u></p> <p>なるべく交通渋滞への影響を避ける形で、磯新駅の整備に向けて検討を進めます。</p>	<p>○磯新駅設置協議会とJR九州との間で新駅設置に関する覚書を交換（3年3月）（3年度）</p> <p>○磯新駅設置協議会とJR九州との間で磯新駅の設計業務に関する基本協定を締結（3年10月）（4年度）</p> <p>○遺産影響評価に関する報告書を作成、提出（5年度）</p> <p>○磯新駅設置協議会において駅名案の検討に着手</p> <p>○磯新駅設置協議会とJR九州との間で磯新駅の建設に関する協定を締結（予定）</p> <p>○JR九州、鹿児島国道事務所など関係機関と協議を継続</p>	磯新駅設置促進事業	○
<p>33 <u>水上交通の整備を検討します。</u></p> <p>海を活かしたまちづくりや観光地としての周遊性を向上させるため、鹿児島港内・鹿児島湾内における旅客水上交通の整備・誘致を検討します。</p>	<p>(4年度)</p> <p>○本市観光客の滞在時間延長や消費額の拡大につなげるため、桜島と錦江湾を生かした新たなクルーズの方向性について調査・研究を実施（セミナーやファミツアー・商談会、サウンディング調査等）</p>	桜島と錦江湾を生かした新クルーズ調査・研究事業	○
	<p>(3年度)</p> <p>○先進地の情報収集や専門家の招請等による意見聴取を実施</p>	稼ぐ観光パワーアップ実証実験事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
34 <u>リバーサイドの整備</u> 川沿いに市民の憩いの場を整備します。	(4年度) ○維新ふるさと館周辺の甲突川左岸・右岸緑地において、民間活力の導入による新たなにぎわいの創出に向けた検討を行うため、キッチンカー実証実験等を実施 (5年度) ○維新ふるさと館周辺の甲突川河畔において、民間活力を導入し、キッチンカー等による新たなにぎわい創出を実施(9月～)	甲突川リバーサイド利活用事業	○
	(5年度) ○甲突川の桜並木は年々衰退していることから、関係部局と連携するとともに、市民や民間事業者の協力も得ながら再生を行う(5年度：実態調査)	甲突川千本桜再生プロジェクト事業	
35 <u>eSportsの振興</u> 市民にとっての楽しみの場の創出ならびに観光誘客の観点から、eSportsの振興に努めます。	(4年度) ○取組の方向性について検討 (5年度) ○新たなスポーツコンテンツとしてのeスポーツの振興や認知度向上を図るため、eスポーツイベントを開催(5年7月) ○各企業などを構成団体とした情報交換会を開催し、今後の取組の方向性などについて情報交換を行う(5年10月以降)	eスポーツ促進事業	○
4 ICTを活用しもっと住みよい鹿児島をつくる。			
<u>ICT関連産業振興に取り組めます。</u> ICT産業を鹿児島市の基幹産業に育てるべく、 36 AI、IoT、スマート農業関連技術等の技術者育成、雇用の受け皿となる企業、個人事業主の誘致、市発注のICT関連調達の地元発注など、総合的に取り組みを進めます。	(5年度) ○プログラミング体験と市内ICT人材によるセミナーの開催 ・高校生向け(5年度：2回・7月、12月(予定)) ・大学生・専門学校生向け(5年度：2回・10月、12月(予定)) ○ICT人材による出前講座の実施(5年度：3回・7月、10月、12月(予定)) ○学生・企業向けアンケートの実施	未来のICT人材育成事業	○
	(4年度～) ○展示会への出展、プレスリリース配信サービスや新聞広告等を用いた企業立地に関するPR活動等を実施	(再)企業立地PR事業	
	(3年度～) ○ICT関連セミナーの開催	クリエイティブ産業創出拠点施設企画運営事業	
	○年間3件以上の情報関連企業の立地を目指し、企業訪問活動を実施(3年1月以降の情報関連企業との立地協定：12件) (4年度～) ○新たにICT関連の資格取得費用を補助の対象に拡充	(再)企業立地推進事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>37 新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。 <u>(DXの推進)</u></p> <p>電子手続の整備による利便性向上、地域交通へのICT活用による地域の足確保、スマホを活用した保健指導など、新たなICTを積極的に政策に取り入れ、市民生活の向上のために活用します。そしてDX（デジタルトランスフォーメーション）の担当部署を創設するとともに、DXの取り組みを強力に推進します。</p>	<p>(4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鹿児島市多文化共生推進庁内連絡会を設置(4月) ○国際交流センターに外国人相談デスクを開設(7月1日) ※テレビ電話通訳システムを活用した多言語対応(16言語) ○多文化共生職員研修会を実施(8月) ○多文化共生推進指針を策定(5年3月) ○市ホームページの自動翻訳を運用(英語、中国語(簡・繁)、韓国語、ベトナム語) <p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多文化共生講演会を実施(12月予定) ○多文化共生職員研修会を実施(12月予定) ○生活情報ポータルアプリ「KagoTips」の運用 	(再) 多文化共生推進事業	○
	<p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICTで住みよいまち推進基盤の構築(開始時期:6年3月末予定) 	ICTで住みよいまち推進基盤構築事業	
	<p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年度内の協議会設置に向けた準備会を複数回開催予定(5年7月末～) 	鹿児島デジタルスマートシティ推進協議会設置	
	<p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○BPRをテーマにDX人材の育成に取り組む(DX推進グループリーダー向けの集中的な人材育成を実施するとともに、DX推進リーダーや希望者向けのBPR等の基礎研修を、管理職向けに機運醸成のための研修を実施予定) 	職員による業務デジタル化促進事業	
	<p>(4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○DXを推進するため、総務部に「デジタル戦略推進課」を設置 <p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「DX推進部」を設置し、総務部から情報システム課・デジタル戦略推進課を移管 	DX推進部等の設置	
	<p>(4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3年度に市民税課に導入したRPAの本格運用開始(4年4月～) ○RPAやAI-OCRの導入による業務効率化(5年1月～) ○保育所等入所選考支援システムの導入(5年1月～) <p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○RPAやAI-OCR導入業務を拡充予定(試験運用:6年1月～(予定)) 介護保険課、国民健康保険課 	AI等活用推進事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>37 新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。 (DXの推進)</p> <p>電子手続の整備による利便性向上、地域交通へのICT活用による地域の足確保、スマホを活用した保健指導など、新たなICTを積極的に政策に取り入れ、市民生活の向上のために活用します。そしてDX(デジタルトランスフォーメーション)の担当部署を創設するとともに、DXの取り組みを強力に推進します。</p>	<p>(3年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市長をCIOとして位置づけ ○CIO補佐官の登用：3年10月採用 ○窓口音声認識システムの導入：3年8月に長寿支援課・障害福祉課に設置済み ○キャッシュレス決済の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・証明書発行等手数料の支払い分(3年7月) 本庁資産税課、各支所税務課、本庁市民課、各支所市民課・総務市民課及び各市民サービスステーションで運用開始 ・観光施設等利用料の支払い分(4年10月) いおワールドかごしま水族館、平川動物公園、維新ふるさと館、美術館で運用開始 ・科学館他5施設等利用料の支払い分(5年12月予定) 科学館、近代文学館メルヘン館、観光農業公園、鴨池海づり公園、桜島海づり公園、マークメイザンで運用開始 ○新型コロナウイルス感染症対策や対面規制の見直しとして、相談等業務のオンライン化を実施 <ul style="list-style-type: none"> 保健支援課：3年7月～、市民相談センター、消費生活センター：3年8月～ 国民健康保険課：3年9月末～、すこやか子育て交流館(りぼんかん)：3年12月～ 結婚相談所：4年8月～ 	行政デジタル化推進事業	
	<p>(4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民の利便性のさらなる向上を図るため、市施設の予約から利用料金の支払いまでをオンライン対応できるシステムを導入(運用開始：5年4月～) <p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共施設予約システムの対象を新たに6施設追加予定(運用開始：6年4月～(予定)) 	(再)公共施設予約システム運営事業	○
	<p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員の利用する環境について、モバイルパソコンの導入や一部無線LAN環境等を整備 	市役所WAN再整備事業	
	<p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鹿児島市DX推進計画の基本方針及び施策の「施策⑩職員のICTリテラシー向上」の一環として、民間企業から派遣されているDX推進サポーターが講師となって職員向けの教育研修を実施検討する 	DX推進サポーター研修企画	
	<p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員の利用する環境について、閉域SIMの導入や利用環境等を整備し試行を行う 	テレワーク推進事業	
	<p>(4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○システム標準化移行計画の作成 <p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○システム移行へ向けて事前準備契約を行う 	情報システム標準化事業	
	<p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○税務調査において、対象者の取引先となる金融機関に対して行う預貯金照会業務の迅速化・効率化を図るためにLG-WANを介して電子的に照会業務を実施(運用開始：5年8月～) 	デジタル式預貯金照会システム導入事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>37 <u>新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。</u> <u>(DXの推進)</u></p> <p>電子手続の整備による利便性向上、地域交通へのICT活用による地域の足確保、スマホを活用した保健指導など、新たなICTを積極的に政策に取り入れ、市民生活の向上のために活用します。そしてDX（デジタルトランスフォーメーション）の担当部署を創設するとともに、DXの取り組みを強かに推進します。</p>	<p>(5年度) ○コミュニティバス「あいばす」等について、地域の実情に合わせた持続可能な交通手段となるよう調査検討に必要な事項を協議するため、学識経験者等で構成する会議を設置・開催 ○あいばす（谷山地域）の運行ルート周辺におけるA I オンデマンド交通の実証実験を実施（5年11月20日～6年1月31日予定） ○バスロケーションシステムから得られるデータ等を用いた利用状況の可視化・地域別の移動特性の分析を行い、地域の実情に応じた最適な交通手段等を検討するための基礎的な調査の実施</p>	<p>(再) 公共交通不便地における持続可能な交通手段調査検討事業</p>	○
	<p>(5年度) ○県バス協会が実施するデジタルサイネージ設置（天文館バス停）に対し、補助金を交付</p>	<p>(再) 都市交通システム整備事業補助金</p>	
	<p>(4年度) ○地域住民の日常生活における交通手段を確保するため運行を行っているコミュニティバス「あいばす」に、運行状況がリアルタイムでわかるバスロケーションシステムを導入（4年12月）</p>	<p>公共交通不便地対策事業</p>	
	<p>(4年度) ○さらなる利便性・回遊性の向上を図るため、スマートフォンアプリを利用した新たな「かごりん」の導入に向けた取組を実施 (5年度) ○4月24日供用開始</p>	<p>シェアサイクル運営事業</p>	
	<p>(4年度～) ○検診結果をマイナポータルから閲覧可能（4年6月～） (5年度) ○がん検診をパソコンやスマホから予約ができるシステムを導入（5年10月～）</p>	<p>(再) 元気いきいき検診事業</p>	
	<p>(4年度～) ○市とクラブ間の情報交換の迅速化ならびにクラブ職員及び市職員の事務負担の軽減を図るため、児童クラブへのインターネット環境の整備等を実施</p>	<p>(再) 児童クラブICT化推進事業</p>	
	<p>(5年度) ○子育て世帯からの支援関連情報の問い合わせに迅速かつ的確に対応するとともに、利便性の向上を図るため、A I の活用により問い合わせ内容に応じた回答を適切に行うA I チャットボットを導入（6年1月予定）</p>	<p>(再) 子育て情報A I チャットボット活用事業</p>	
	<p>(4年度～) ○令和5年4月利用開始希望申込における選考において、利用選考支援システムを導入し、A I によるマッチングを実施</p>	<p>利用選考支援システム運用事業</p>	
	<p>(5年度) ○保育所等の利用申込を行い、利用保留となっている保護者全員に対し、月初に市ホームページに掲載している各保育所等の利用可能枠一覧の掲載後、同ページのURLを記載したSMSを一斉送信するもの</p>	<p>(再) SMSを活用した保育所等情報発信事業</p>	
	<p>(5年度) ○インキュベーションマネージャーによるオンライン相談体制の整備</p>	<p>(再) ソーホーかごしま管理運営事業</p>	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>37 新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。 (DXの推進)</p> <p>電子手続の整備による利便性向上、地域交通へのICT活用による地域の足確保、スマホを活用した保健指導など、新たなICTを積極的に政策に取り入れ、市民生活の向上のために活用します。そしてDX(デジタルトランスフォーメーション)の担当部署を創設するとともに、DXの取り組みを強かに推進します。</p>	<p>(3年度) ○観光DX推進の一環として、観光CRMアプリを活用した地域マーケティングの実証実験を実施 (4年度～) ○観光CRMアプリを活用した地域マーケティングに新たに取り組む鹿児島観光コンベンション協会に対して助成を実施</p>	観光CRMアプリ推進補助金	○
	<p>(5年度) ○旧市町で個々に管理されている道路台帳を統合し、一元管理するための基準書を策定</p>	(再)道路台帳デジタル化事業	
	<p>(5年度) ○本市LINEアカウントを利用して、従来の電話通報より簡単に道路異常の通報が可能となるシステムを構築する</p>	道路通報システム導入事業	
	<p>(5年度) ○医療の早期介入や映像情報の共有化を図るため、災害現場の映像をドクターカーや通信指令センター等に中継するシステムの構築 ○現場中継システムの運用開始(5年10月～)</p>	現場中継システム整備事業	
	<p>(5年度) ○迅速・的確な災害対応や応急手当につなげるため、通報者がスマートフォン等で撮影した災害現場の映像を通信指令センターに伝送できるシステムの構築 ○119番映像通報システムの運用開始(5年10月～)</p>	119番映像通報システム整備事業	
	<p>(5年度) ○児童に見守り端末(ICタグ)を無償で配布し、児童が携帯する端末が出す電波が街中にある見守りスポットを通過した際に、位置情報や通過時刻が記載され、迷子や行方不明などの緊急時に迅速な対応が行えるサービスを、市内3小学校区において試験的に導入</p>	ICT活用による子ども見守り事業	
	<p>(3年度～) ○インターネットを通じた電子書籍の検索・貸出等が可能な電子図書館サービスを実施 (運用開始:4年2月～)</p>	電子図書館サービス事業	
	<p>(4年度) ○タブレット端末(18台)を導入 ○農地利用状況調査での利用に向けて、操作研修を実施 (5年度) ○タブレット端末を利用し、農地利用状況調査等を実施</p>	(再)農地情報収集等業務効率化事業	
	<p>(4年度) ○DX推進の具体的方策の検討、先行事例の調査 (5年度) ○医療DXビジョンの策定(予定) ○RPAの導入(予定) ○ペーパーレス実証実験(予定)</p>	スマートホスピタル推進事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>37 新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。 (DXの推進)</p> <p>電子手続の整備による利便性向上、地域交通へのICT活用による地域の足確保、スマホを活用した保健指導など、新たなICTを積極的に政策に取り入れ、市民生活の向上のために活用します。そしてDX（デジタルトランスフォーメーション）の担当部署を創設するとともに、DXの取り組みを強かに推進します。</p>	<p>(4年度～)</p> <p>○インバウンド需要を見据え、市電の普通運賃に関するクレジットカードタッチ決済を運用するとともに、利用可能なカードブランドを拡充するほか、新たに市バスにも導入</p> <p>4年11月 市電25両での実証実験を開始</p> <p>5年3月 市電全車両(55両)へ導入を拡大、対象ブランド拡大</p> <p>5年9月以降 対象ブランド拡大(予定)</p> <p>6年1月 市バス全車両への導入(予定)</p>	運賃クレジットカードタッチ決済導入事業	○
	<p>(5年度)</p> <p>○雨水ポンプ場全20箇所に遠隔集中監視システムを整備</p>	雨水ポンプ場遠隔集中監視システム整備事業	
	<p>○LINEを活用し、市民一人一人のニーズに合わせた市政情報や市電・市バスの運行等の市民生活に役立つタイムリーな情報や災害情報などを配信</p>	LINEでつながる市政情報配信事業	
	<p>○情報セキュリティ対策の強化を図るため、関連するシステムや機器の運用、情報セキュリティ監査や職員研修を実施</p>	情報セキュリティ対策事業	
	<p>(4年度～)</p> <p>○デジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進するため、地域活性化起業人制度により、民間企業から専門的知識を持つ人材2人を受け入れ、業務経験・ノウハウ等の活用を図る(4年9月委嘱)</p>	DX推進サポート事業	
	<p>(4年度～)</p> <p>○地域公民館や地域福祉館などでスマートフォン操作講習会やアプリ開発講座を開催</p>	市民ICT利活用事業	
	<p>○第二次鹿児島市公共交通ビジョン(4年3月策定)の推進</p>	(再)公共交通ビジョン推進事業	
	<p>(3年度～)</p> <p>○災害対策本部の機能強化を図るため、オンライン会議機器等を整備</p>	災害対策本部機能強化事業	
	<p>(4年度～)</p> <p>○ICTの活用により、障害者の利便性向上や心理的負担軽減のほか、確認作業の迅速化のため、障害者手帳アプリ「ミライロID」を利用した市の公共施設等における本人確認の運用を令和4年10月より開始</p>	障害者手帳アプリ(ミライロID)の導入	
	<p>(4年度～)</p> <p>○生活習慣病の予防、介護予防等について、タブレット端末等を活用した保健指導を実施</p>	ICTを活用した保健指導事業	
<p>(3年度)</p> <p>○妊娠・出産・子育て期の記録管理や予防接種などのデジタル管理、地域子育ての情報の受信などができる母子健康手帳アプリ「まぐまっこアプリ」を導入(運用開始:3年9月1日～)</p>	母子健康手帳アプリ運用事業		
<p>(3年度～)</p> <p>○妊娠期から子育て期までの支援を行うため、子育て世代包括支援センターを中心に、タブレット端末でのオンライン保健指導を活用するほか、産後ケア事業の対象を3か月以内から1年未満に拡充</p>	(再)妊娠・出産包括支援事業		

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>37 新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。 (DXの推進)</p> <p>電子手続の整備による利便性向上、地域交通へのICT活用による地域の足確保、スマホを活用した保健指導など、新たなICTを積極的に政策に取り入れ、市民生活の向上のために活用します。そしてDX（デジタルトランスフォーメーション）の担当部署を創設するとともに、DXの取り組みを強力に推進します。</p>	<p>(5年度) ○5年4月から一部の町内会を対象に町内会費の口座引き落とし等によるオンライン集金の実証実験を開始(実績：4団体)</p>	町内会費のオンライン集金の実証実験	○
	<p>(3年度～) ○ICTを活用した保健指導の周知及び実施 (4年度) ○電子教材媒体（保健指導アプリ：どこでもケア）導入 (5年度) ○特定保健指導の申し込みについて、電子申請を開始（7月～）</p>	(再) 健診受診者保健指導事業	
	<p>○換地処分が終了した土地区画整理事業区域内（15地区）の土地の寸法を示す確定面積平面図等をインターネットでも閲覧できるHP（確定面積平面図等閲覧システム）を公開中</p>	確定面積平面図等閲覧システム運用事業	
	<p>(4年度～) ○病院のネットワークシステム更新にあたって、WIFI6などの技術を活用した、高速で安定性・堅牢性を兼ね備えたネットワークを構築（5年6月）</p>	市立病院内ネットワークシステム拡充事業	
	<p>○券面記載の当日に限り市電・市バス・シティビューが乗り放題となる「スマホ1日乗車券」を導入 (3年度) ○利用開始時刻から24時間市電・市バス・シティビューが乗り放題となる「24時間乗車券」を導入 (4年度) ○17:00以降最終便まで市電・市バス・シティビューが乗り放題となる「ナイトパス」を導入 (5年度) ○累計実績 ※令和5年8月末時点 (スマホ1日乗車券：12,767件、24時間乗車券：2,634件、ナイトパス：685件)</p>	モバイルパスの運用	
	<p>(4年度) ○天文館（センテラス前）バス停にバスの接近情報等を提供するデジタルサイネージを1基設置（5年5月本稼働） ○実施主体である鹿児島県バス協会の事業に共同事業者として負担金を支出 (5年度) ○同バス停に2基目を設置及び負担金支出（予定）</p>	バス停デジタルサイネージ導入費負担事業	
	<p>○市電・市バス利用者の利便性向上を図るため、スマートフォンなどで市電・市営バスの路線、時刻表、車両位置情報などを検索できるシステムの運用</p>	ロケーションシステム等運用事業	
	<p>(3年度) ○各種情報化施策を計画的及び効率的に推進することで、市民生活の利便性向上と地域の活性化を図ることを目的とした「鹿児島市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」を、4年3月に策定</p>	次期地域情報化計画策定事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>37 <u>新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。</u> (DXの推進)</p> <p>電子手続の整備による利便性向上、地域交通へのICT活用による地域の足確保、スマホを活用した保健指導など、新たなICTを積極的に政策に取り入れ、市民生活の向上のために活用します。そしてDX(デジタルトランスフォーメーション)の担当部署を創設するとともに、DXの取り組みを強力に推進します。</p>	<p>(4年度) ○コロナ収束後の技能実習生や留学生等の増加を見据えて、アジアなどからの外国人住民の日常生活に必要な情報を提供するスマートフォン向けアプリケーションを開発 (5年度) 多文化共生推進事業内で生活情報ポータルアプリ「KagoTips」として運用</p>	<p>(再) “For Asians”暮らし便利アプリ開発事業</p>	○
	<p>(4年度) ○病児・病後児保育施設の空き状況をオンライン上で確認できる受付予約システム「あずかるこちゃん」を導入(運用開始:4年10月~)</p>	<p>(再) 病児・病後児保育受付システム導入事業</p>	
	<p>(4年度) ○コロナ収束後の観光需要回復に向けた稼ぐ力を強化するため、観光CRMアプリを活用したイベント開催等による地域マーケティングを実施</p>	<p>観光CRMアプリ利活用事業</p>	
	<p>(3年度) ○患者に寄り添った新たな医療システム(AI問診システム、初診紹介患者WEB予約システム、遠隔画像参照システム)を導入(運用開始:3年12月~)</p>	<p>AI問診システム等の新たな医療システムの導入</p>	
<p>38 <u>行政手続のデジタル化を進めます。</u></p> <p>さまざまな手続にICTを活用し、市民の利便性を向上させるとともに、行政運営の効率化を進めます。</p>	<p>(5年度) ○オンラインで簡単な質問に答えていくことで、事前に必要な手続きや持ち物、申請窓口が確認できるサービスの運用を開始予定(5年11月予定)</p>	<p>くらしの手続きナビ導入事業</p>	○
	<p>(5年度) ○スマートフォン等で口座振替の申込み手続を完了できるWeb口座振替受付サービスや、市窓口で簡単に口座振替の申込み手続ができるペイジー口座振替受付サービスを導入(運用開始:6年1月予定)</p>	<p>口座振替Web等受付サービス導入事業</p>	
	<p>(5年度) ○ICTで住みよいまち推進基盤の構築(開始時期:6年3月末予定)</p>	<p>(再) ICTで住みよいまち推進基盤構築事業</p>	
	<p>(3年度~) ○キャッシュレス決済の導入 ・証明書発行等手数料の支払い分(3年7月) 本庁資産税課、各支所税務課、本庁市民課、各支所市民課・総務市民課及び各市民サービスステーションで運用開始 ・観光施設等利用料の支払い分(4年10月) いおワールドかごしま水族館、平川動物公園、維新ふるさと館、美術館で運用開始 ・科学館他5施設等利用料の支払い分(5年12月予定) 科学館、近代文学館メルヘン館、観光農業公園、鴨池海づり公園、桜島海づり公園、マークメイザンで運用開始 ○新型コロナウイルス感染症対策や対面規制の見直しとして、相談等業務のオンライン化を実施 保健支援課:3年7月~、市民相談センター、消費生活センター:3年8月~ 国民健康保険課:3年9月末~、すこやか子育て交流館(りぼんかん):3年12月~ 結婚相談所:4年8月~</p>	<p>(再) 行政デジタル化推進事業</p>	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>行政手続のデジタル化を進めます。</p> <p>38 さまざまな手続にICTを活用し、市民の利便性を向上させるとともに、行政運営の効率化を進めます。</p>	<p>○県電子申請システム及びマイナポータル（ぴったりサービス）を活用した行政手続のオンライン化を推進（4年度）</p> <p>○市民の利便性向上並びに新型コロナウイルス感染症対策として窓口の混雑を緩和できるよう、オンライン申請からクレジットカード支払のキャッシュレス決済までを一連の流れで完結させる仕組みを導入（導入時期：4年10月～）</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象手続：住民票の写し、戸籍全部事項証明、所得額証明書など26種類（手続にはマイナンバーカードが必要） <p>○マイナポータル（ぴったりサービス）でオンライン申請できる手続を開始</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象手続：転出届、転入・転居届の来庁予定連絡（開始時期：5年2月～） 不在者投票用紙の請求（開始時期：5年3月～） <p>（5年度）</p> <p>○マイナポータル（ぴったりサービス）でオンライン申請できる手続を拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て、介護、障がい者支援関連の30手続（開始時期：5年4月～） 	窓口手続オンライン化推進事業	○
	<p>（4年度）</p> <p>○市民の利便性のさらなる向上を図るため、市施設の予約から利用料金の支払いまでをオンライン対応できるシステムを導入（運用開始：5年4月～）</p> <p>（5年度）</p> <p>○公共施設予約システムの対象を新たに6施設追加予定（運用開始：6年4月～（予定））</p>	公共施設予約システム運営事業	
	<p>（5年度）</p> <p>○更なる市民サービスの向上を図るため、住民異動手続き等において、申請書等を記入する必要のない「書かない窓口」を実現（6年2月予定）</p>	住民異動手続きにおける「書かない窓口」事業	
	<p>（4年度～）</p> <p>○マイナンバーカードの普及促進を図るため、コンビニ交付における証明交付手数料を1件あたり100円減額し、コンビニ交付の利用を促進（4年12月～）</p> <p>○コンビニ交付の利用体験をしていただくことで、次回からのコンビニ交付の利用を促すため、キオスク端末を本庁に2台、谷山支所に1台設置し、操作支援員を各1名配置（5年2月～）</p>	コンビニ交付による証明発行事業	
	<p>（5年度）</p> <p>○介護保険事業者台帳等管理システムを改修し、オンライン申請システムを導入（予定）</p>	介護保険事業者台帳システム改修事業	
	<p>（5年度）</p> <p>○施設と市双方の業務負担の軽減と事務の効率化を図るために、教育・保育施設の給付費等の申請、算定等の業務について、クラウド上でデータを共有し、一括管理するシステムを導入するもの</p>	（再）給付費等申請クラウドシステム導入事業	
	<p>（5年度）</p> <p>○環境整備の実施（回線工事、端末リース）（予定）</p> <p>○生産者団体等への研修会の実施等による周知（予定）</p>	農林水産省共通申請サービス（eMAFF）活用事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>行政手続のデジタル化を進めます。</p> <p>38 さまざまな手続にICTを活用し、市民の利便性を向上させるとともに、行政運営の効率化を進めます。</p> <p>テレワークを行う企業の誘致に取り組みます。</p> <p>39 テレワークに取り組む企業を鹿児島市に誘致できるよう、積極的に環境整備と誘致活動を行います。</p>	<p>(5年度)</p> <p>○紙媒体で保管されている境界確定調書等について、鹿児島大学と共同研究契約を締結し、デジタル化のための簡便な手法の開発等を行う</p>	境界確定調書デジタル化事業	
	<p>(4年度～)</p> <p>○写しの交付事務の効率化を図るため、開発登録簿の電子化を実施（運用開始：6年4月～（予定））</p>	開発登録簿電子化事業	○
	<p>(3年度～)</p> <p>○インターネットを通じた電子書籍の検索・貸出等が可能な電子図書館サービスを実施（運用開始：4年2月～）</p>	(再) 電子図書館サービス事業	
	<p>(4年度～)</p> <p>○展示会への出展、プレスリリース配信サービスや新聞広告等を用いた企業立地に関するPR活動等を実施</p>	(再) 企業立地PR事業	○
	<p>○企業訪問活動の実施（3年1月以降の立地協定：22件） (4年度～)</p> <p>○新たにテレワークに要する経費を補助の対象に拡充</p>	(再) 企業立地推進事業	
	<p>Ⅲ 全ての人に、希望とチャンス。安心して生活できる鹿児島をつくる。</p>		
<p>5 安心できる子育て環境をつくる。</p>			
<p>待機児童ゼロを実現します。</p> <p>40 現在全国1700以上の自治体中ワースト6位である、保育所待機児童数ゼロを早期に実現します。また放課後児童クラブの待機児童解消に向け取り組みます。</p>	<p>(4年度～)</p> <p>○市とクラブ間の情報交換の迅速化ならびにクラブ職員及び市職員の事務負担の軽減を図るため、児童クラブへのインターネット環境の整備等を実施</p>	児童クラブICT化推進事業	
	<p>○各校区の児童クラブ運営委員会等に委託料を支出し、市設置児童クラブを運営 (3年度～)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く児童クラブ職員の報酬単価（時間給）を3%程度引き上げ</p>	放課後児童健全育成事業	
	<p>○待機児童の解消に向けて、児童クラブを整備 待機児童数（5年5月1日時点） 3年度：42人、4年度：34人、5年度：64人 市設置児童クラブ数 3年度：176、4年度：180、5年度：180</p>	児童クラブ施設整備事業	○
	<p>○民間設置児童クラブに補助 民間設置児童クラブ数 3年度：27、4年度：28、5年度：35</p>	放課後児童健全育成補助金	
	<p>(5年度)</p> <p>○保育所等の利用申込を行い、利用保留となっている保護者全員に対し、月初に市ホームページに掲載している各保育所等の利用可能枠一覧の掲載後、同ページのURLを記載したSMSを一斉送信するもの</p>	SMSを活用した保育所等情報発信事業	
	<p>(5年度)</p> <p>○賃貸物件を活用して保育所等や小規模保育事業所を設置する際に必要な改修費等の一部を補助</p>	保育所等設置支援補助金	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>40 待機児童ゼロを実現します。</p> <p>現在全国1700以上の自治体中ワースト6位である、保育所等待機児童数ゼロを早期に実現します。また放課後児童クラブの待機児童解消に向け取り組みます。</p>	<p>(5年度) ○既存の認可保育所や認定こども園の改修等に対し補助することにより、2・3号定員の増員を促進</p>	<p>利用定員拡大促進補助金</p>	<p>○</p>
	<p>(4年度～) ○令和5年4月利用開始希望申込における選考において、利用選考支援システムを導入し、AIによるマッチングを実施</p>	<p>(再) 利用選考支援システム運用事業</p>	
	<p>(5年度) ○施設と市双方の業務負担の軽減と事務の効率化を図るために、教育・保育施設の給付費等の申請、算定等の業務について、クラウド上でデータを共有し、一括管理するシステムを導入</p>	<p>給付費等申請クラウドシステム導入事業</p>	
	<p>(5年度) ○保育所等における使用済み紙おむつに係る保護者の持ち帰りの負担や保育士等の業務の負担軽減を図るため、処理等に要する経費を補助</p>	<p>保育所等紙おむつ処理支援補助金</p>	
	<p>(5年度) ○市立保育所(11園)の使用済み紙おむつを処理することにより、保育士や保護者の負担軽減を図る</p>	<p>市立保育所紙おむつ処理事業</p>	
	<p>(5年度) ○市立保育所において、官民連携による紙おむつ等の定額利用サービスを試行導入</p>	<p>官民連携による紙おむつの定額利用サービスの試行</p>	
	<p>(5年度) ○市立保育所(1園:中山保育園)の屋内遊戯室を保育室として改修等を行い、定員増(15人)を図る(5年9月～6年3月予定)</p>	<p>市立保育所改修事業</p>	
	<p>(5年度) ○市立保育所(11園)に保育に関する計画・記録や子どもの登降園管理等の業務のICT化に必要なシステムを導入</p>	<p>市立保育所ICT化推進事業</p>	
	<p>(5年度) ○保育に関する計画・記録や保護者との連絡、子どもの登降園管理等の業務のICT化に必要なシステムの導入費用を補助</p>	<p>保育所等業務効率化推進事業</p>	
	<p>(4年度～) ○施設等利用給付費等事業のうち、認可外保育施設保育料補助の限度額引き上げを実施</p>	<p>施設等利用給付費等事業</p>	
	<p>(4年度～) ○本市の保育所等に保育士等として就職した潜在保育士に奨励金を給付 ○県外から転入し、本市の保育所等に保育士等として就職したものに対し、奨励金を給付 ○保育士求人サイトに本市特集ページを掲載するとともに、保育士就職フェアに参加し、本市の支援内容等の情報発信を実施</p>	<p>保育士確保対策事業</p>	
	<p>(4年度～) ○利用待機児童の多い3歳未満児(0歳児～2歳児)の受入れを拡大する保育所等に対し、人件費等を補助</p>	<p>3歳未満児受入促進補助金</p>	
<p>(5年度) ○市内の保育所等(私立保育所・認定こども園)に勤務する保育士等(保育士・保育教諭・幼稚園教諭)の処遇を改善することで、保育士等の確保や職場定着及び離職防止を図る(6月)</p>	<p>(再) 民間保育士等処遇改善補助金</p>		

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>40 <u>待機児童ゼロを実現します。</u></p> <p>現在全国1700以上の自治体中ワースト6位である、保育所等待機児童数ゼロを早期に実現します。また放課後児童クラブの待機児童解消に向け取り組みます。</p>	<p>(3年度～)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く職員の報酬を3%程度引き上げた児童クラブを運営する民間事業者に対し、必要な費用を補助</p>	放課後児童支援員等処遇改善補助金	○
	<p>(4年度)</p> <p>○待機児童対策を推進するため、こども未来局に「待機児童緊急対策室」を設置(10月)</p>	待機児童緊急対策室の設置	
	<p>(4年度～)</p> <p>○奨学金を利用して保育士資格等を取得し、市内の認可保育所等に就職した人の奨学金返済金額の一部を補助</p> <p>(5年度)</p> <p>○認可保育所等における保育士等の離職防止及び職場定着を目的とした処遇改善を図るため、対象者を拡充(6月)</p>	(再)保育士等奨学金返済補助金	
	<p>(3年度～)</p> <p>○認定こども園に配置される保育教諭の確保</p> <p>○保育所等に勤務する保育士資格を有していない者の資格取得を支援</p>	保育士資格取得支援補助金	
	<p>○学生向けに保育士等の仕事の魅力や情報を発信するため、関係団体及び保育士養成施設との意見交換会、イベント、リーフレットの作成・配付を実施</p>	関係機関等と連携した保育士確保事業	
	<p>○保育士の就業継続及び離職防止を図り、保育士が働きやすい環境を整備するために、保育士の宿舎を借り上げるための費用の一部を補助</p>	保育士宿舎借り上げ支援事業(私立保育所等補助金)	
	<p>○入所児童の安全確保、保育環境の改善、保育提供量の維持を目的に、園舎の耐震化又は老朽改築整備を行う法人に対し、整備に要する費用の一部を補助</p>	児童福祉施設整備費等補助事業	
<p>41 <u>保育士の確保策を講じます。</u></p> <p>潜在保育士の復職支援策を講じるとともに、鹿児島市内で働く保育士の育成に向け、市独自の奨学金を検討します。</p>	<p>(5年度)</p> <p>○市内の保育所等(私立保育所・認定こども園)に勤務する保育士等(保育士・保育教諭・幼稚園教諭)の処遇を改善することで、保育士等の確保や職場定着及び離職防止を図る(6月)</p>	民間保育士等処遇改善補助金	○
	<p>○保育士の専門性と質の高い人材を安定的に確保するという観点から、保育士・保育所支援センターの設置及び運営に要する費用の一部を補助</p> <p>(4年度)</p> <p>○保育士・保育所支援センター登録者・来訪者数増に対応するための体制強化及び専門家による相談体制の整備を実施(1月)</p>	保育士・保育所支援センター運営事業	
	<p>(4年度～)</p> <p>○本市の保育所等に保育士等として就職した潜在保育士に奨励金を給付</p> <p>○県外から転入し、本市の保育所等に保育士等として就職したものに対し、奨励金を給付</p> <p>○保育士求人サイトに本市特集ページを掲載するとともに、保育士就職フェアに参加し、本市の支援内容等の情報発信を実施</p>	(再)保育士確保対策事業	
	<p>(4年度～)</p> <p>○奨学金を利用して保育士資格等を取得し、市内の認可保育所等に就職した人の奨学金返済金額の一部を補助</p> <p>(5年度)</p> <p>○認可保育所等における保育士等の離職防止及び職場定着を目的とした処遇改善を図るため、対象者を拡充(6月)</p>	保育士等奨学金返済補助金	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p><u>保育士の確保策を講じます。</u></p> <p>41 潜在保育士の復職支援策を講じるとともに、鹿児島市内で働く保育士の育成に向け、市独自の奨学金を検討します。</p>	<p>(3年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認定こども園に配置される保育教諭の確保 ○保育所等に勤務する保育士資格を有していない者の資格取得を支援 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○学生向けに保育士等の仕事の魅力や情報を発信するため、関係団体及び保育士養成施設との意見交換会、イベント、リーフレットの作成・配付を実施 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○保育士の就業継続及び離職防止を図り、保育士が働きやすい環境を整備するために、保育士の宿舎を借り上げるための費用の一部を補助 <hr/> <p>(3～4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く保育士・幼稚園教諭等の収入を3%程度引き上げるための補助事業を4年9月まで実施(10月以降は処遇改善加算Ⅲとして毎月の委託費等に同程度の金額を組み込む) 	<p>(再) 保育士資格取得支援補助金</p> <hr/> <p>(再) 関係機関等と連携した保育士確保事業</p> <hr/> <p>(再) 保育士宿舎借り上げ支援事業(私立保育所等補助金)</p> <hr/> <p>保育士等処遇改善補助金</p>	○
<p><u>地域子育て支援センターの充実強化</u></p> <p>42 身近な子育て支援体制を整備するため、地域子育て支援センター等の充実強化を図ります。</p>	<p>(4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援拠点施設が設置されていない地域を含め、子育て世帯のニーズに対応できるよう、地域子育て支援センターの公募等、再配置に向けた準備を実施 ※13地域(未設置の5地域含む)について実施事業者を公募 <p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○8地域に事業実施者を再配置(うち1地域新規設置) ※未設置等の5地域について、実施事業者を公募 	地域子育て支援センター事業	○
<p><u>病児保育体制の整備</u></p> <p>43 利用実態を踏まえながら、より使いやすい病児保育の仕組みをつくりまします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者の子育てと就労等との両立を支援するため、児童等が病気の回復期にあり集団保育等が困難である期間において、一時的に児童を預かる病児・病後児保育を実施 <hr/> <p>(4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病児・病後児保育施設の空き状況をオンライン上で確認できる受付予約システム「あずかるこちゃん」を導入(運用開始:4年10月～) 	<p>病児・病後児保育事業</p> <hr/> <p>病児・病後児保育受付システム導入事業</p>	○
<p><u>児童相談所の早期整備と機能充実</u></p> <p>44 児童相談所を早期に整備するとともに、相談機能などの子育て支援機能の充実を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童相談所の設置に向けた人材育成等の取組 ○関連機能(りぼんかん、中央保健センター)との複合化の検討 <p>(3年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有識者等の意見を聴取するため、児童相談所等複合施設検討委員会を設置し、会議を開催(6月～12月にかけて計3回) <p>(4年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童虐待防止に向けた総合的な取り組みを進めるため、新たに「こども家庭支援センター」を設置し、大幅な体制強化や支援の充実を実施 <p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県農業試験場跡地を候補地として追加し、設置に向けた検討を実施 	児童相談所設置検討事業	○
<p><u>こども医療費の負担軽減</u></p> <p>45 こども医療費助成制度について、自己負担ゼロの年齢引き上げや、自己負担額の引き下げなど、負担軽減に向けて検討を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○こどもの健康と健やかな育成を図るため、こどもの保護者に対して医療費の一部を助成 <p>(3年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市町村民税非課税世帯について、助成対象を18歳までに拡充し医療機関等での窓口負担をなくす制度を導入(3年4月～) 	こども医療費助成事業	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>子どもを産み・育てる親に寄り添う取り組みを進めます。</p> <p>46 産後ケアの充実、相談体制の充実、乳幼児と出かけやすい環境の整備など、子育て中の親に寄り添う取り組みを進めます。</p>	<p>(5年度)</p> <p>○子育て支援施設の改修を年次計画的に行う ※城南児童センター北側の駐車場整備</p>	子育て支援施設整備事業	○
	<p>(5年度)</p> <p>○子育て世帯からの支援関連情報の問い合わせに迅速かつ的確に対応するとともに、利便性の向上を図るため、AIの活用により問い合わせ内容に応じた回答を適切に行うAIチャットボットを導入(6年1月予定)</p>	子育て情報AIチャットボット活用事業	
	<p>(4年度～)</p> <p>○すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、伴走型相談支援と経済的支援(出産子育て応援金給付)を一体的に実施</p>	出産・子育て応援事業	
	<p>(5年度)</p> <p>○経済的負担の軽減を図るため、不妊治療に要する費用の一部について助成</p>	不妊治療費助成事業	
	<p>(5年度)</p> <p>○家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐために、家事・育児等に対して不安・負担を抱えた家庭への家事支援、育児支援を実施</p>	子育て世帯訪問支援事業	
	<p>○すこやか子育て交流館の管理運営</p>	すこやか子育て交流館管理運営等事業	
	<p>○市内4か所の親子つどいの広場(東部、南部、西部、北部)を運営</p>	親子つどいの広場運営事業	
	<p>○子育て支援拠点施設職員のスキルアップを図る研修を実施し、子育て支援拠点施設間の連携を図り情報交換等を行う会議を実施</p>	子育て支援施設職員スキルアップ研修事業	
	<p>○保育を必要としている世帯の相談に応じ、それぞれのニーズに合ったサービスの情報を提供するため、よりきめ細やかな対応を行う保育コーディネーターを配置</p>	保育コーディネーター配置事業	
	<p>(4年度～)</p> <p>○多胎妊産婦を対象に、委託事業者からサポーターを派遣し、育児援助などの支援を実施</p>	多胎妊産婦サポーター事業	
<p>(4年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の対策として、感染した妊産婦等へ電話や訪問等による相談や分娩前のPCR検査の費用助成など、不安を抱える妊産婦への支援を実施</p> <p>(5年度)</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の対策として、分娩前のPCR検査の費用助成を実施(令和5年9月30日の検査まで対象)</p>	(再)妊産婦寄り添い支援事業		
<p>(3年度)</p> <p>○妊娠・出産・子育て期の記録管理や予防接種などのデジタル管理、地域子育ての情報の受信などができる母子健康手帳アプリ「まぐまっこアプリ」を導入(運用開始:3年9月1日～)</p>	母子健康手帳アプリ運用事業		
<p>(3年度～)</p> <p>○妊娠期から子育て期までの支援を行うため、子育て世代包括支援センターを中心に、タブレット端末でのオンライン保健指導を活用するほか、産後ケア事業の対象を3か月以内から1年未満に拡充</p>	妊娠・出産包括支援事業		

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>子どもを産み・育てる親に寄り添う取り組みを進めます。</p> <p>46 産後ケアの充実、相談体制の充実、乳幼児と出かけやすい環境の整備など、子育て中の親に寄り添う取り組みを進めます。</p>	<p>○新生児・妊産婦へ訪問による保健指導を実施 ○産後の母親に必要な情報を掲載したパンフレットを作成し、産後入院中の母親に配付（3年度） ○衛生用品等の購入で感染症対策を図りながら、新生児・妊産婦への訪問による保健指導等を実施</p>	<p>新生児・妊産婦訪問指導事業</p>	○
	<p>○妊娠・出産の安全性の確保及び健康診査にかかる経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査を公費負担で実施（5年度） ○多胎妊婦が通常見込まれる回数を超えて受診する健康診査に係る費用や市町村民税非課税世帯等の妊婦に対する産科受診の初回費用を助成</p>	<p>妊婦健康診査・健康相談事業</p>	
	<p>○子ども達が健やかにのびのび育つための環境づくりを進めるため、身近な地域での育児相談や自主グループの育成、母子保健推進活動を実施</p>	<p>育児支援事業</p>	
	<p>○子どもの発達障害の早期発見、支援のため、関係機関の連携のもと、子どもの発達障害に応じた相談等を実施</p>	<p>（再）子どもすこやか安心ねっと事業</p>	
	<p>○乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては、関係部署と連携し、適切なサービスを提供</p>	<p>こんにちは赤ちゃん事業</p>	
	<p>○慢性的な疾病で療養中の児童及びその家族からの相談に応じ、必要な情報提供や助言等を行うとともに、自立に向けた各種支援策の計画策定等を実施</p>	<p>小児慢性特定疾病児童等自立支援事業</p>	
	<p>○HTLV-1の母子感染を予防するほか、妊産婦の健康の保持増進と乳児の健全な発育・発達の促進を図るため、妊産婦・乳児用ミルクを支給</p>	<p>未来を守るミルク支給事業</p>	
	<p>○不妊専門相談センターにおいて、不妊や不育症について悩む夫婦等を支援</p>	<p>不妊専門相談センター事業</p>	
	<p>○産婦を継続してサポートするため、小児科医等が産後2か月頃の母親の心の状態や育児の状況を確認</p>	<p>産婦支援小児科連携事業</p>	
	<p>○ひとりで仕事や子育てに追われているひとり親家庭等に必要な情報を一覧にした冊子を作成、ひとり親家庭などや関係者へ配布を実施</p>	<p>ひとり親家庭等ガイドブック作成事業</p>	
	<p>○女性の身上や生活の相談・助言 ○夫等からの暴力に関する相談対応、女性の保護 ○母子生活支援施設に入所中または退所後の女性の自立を支援</p>	<p>婦人相談員設置事業</p>	
	<p>○母子・父子家庭の生活の安定、児童の福祉の増進を図るため、母子・父子自立支援員がひとり親家庭等の相談に応じ、その自立に必要な情報提供および助言、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を実施</p>	<p>母子・父子自立支援員設置事業</p>	
	<p>○家庭における適正な児童養育、その他家庭児童の福祉の向上を図るための相談、指導を行うため、家庭児童相談員を配置</p>	<p>家庭児童相談員設置事業</p>	
<p>○ひとり親家庭等が抱える様々な課題をまとめて相談できるよう、8月の児童扶養手当現況届の受付に合わせ、養育費・家計・就労・子育てや生活といった相談ブースを設置し相談会（一週間程度）を実施</p>	<p>ひとり親家庭等総合相談会事業</p>		
<p>（4年度～） ○子どもと家庭への総合的な支援を行う「こども家庭支援センター」に、継続的に支援が必要な子どもへの見守り等を行う相談支援員を配置</p>	<p>子ども家庭見守り相談支援員設置事業</p>		

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>子どもを産み・育てる親に寄り添う取り組みを進めます。</p> <p>46 産後ケアの充実、相談体制の充実、乳幼児と出かけやすい環境の整備など、子育て中の親に寄り添う取り組みを進めます。</p>	<p>○児童の養育について支援が必要でありながら積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に過重な負担がかかる前の段階において、訪問による支援を実施（4年度）</p> <p>○要保護児童地域対策協議会の支援対象となっている家庭で、養育環境の改善のために特に家事援助の必要性がある家庭への家事援助支援を実施（5年度）</p> <p>○子育てに対して、不安やストレスを抱えている家庭に助産師等が訪問し、育児相談など専門的相談支援を実施</p>	育児支援家庭訪問事業	○
<p>「貧困の連鎖」を防ぐために取り組みます。</p> <p>47 経済的に恵まれない家庭の子どもたちに対する学習支援の充実を行います。</p>	<p>（3年度）</p> <p>○子どもの貧困対策を推進するため、子どもの未来応援プランの冊子を作成するとともに、子どもの居場所づくりの活動をサポート（4年度）</p> <p>○子どもの貧困対策を推進するための職員研修を開催（5年度）</p> <p>○地域から子どもへの支援をつなげることを目的に、こどもの居場所となる活動や、子どもの生活を支援する活動を行う団体同士でネットワークを形成し、情報発信等を行う</p> <p>○家庭の事情により、家庭での学習が困難な小学5、6年生及び中学生を対象とした学習会を実施</p> <p>○経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、学校給食費及び修学旅行費などを援助（新1年生へ新入学学用品費を支給）</p>	<p>かごしまこども応援ネットワーク推進事業</p> <p>子ども学習サポート事業</p> <p>就学援助事業（小・中）</p>	○
<p>発達障害の療育支援を行います。</p> <p>48 発達障害の早期発見・療育に向けた取り組みを進めます。</p>	<p>○在宅療育その他障害者福祉に関する相談に応じるとともに、各種福祉サービスの提供に係る支援、啓発活動等を実施</p> <p>○障害児通所支援等の提供 延べ利用者数：92,934人（4年度）、33,041人（5年度（6月末現在））</p> <p>○子どもの発達障害の早期発見、支援のため、関係機関の連携のもと、子どもの発達障害に応じた相談等を実施</p> <p>（3年度～）</p> <p>○妊娠期から子育て期までの支援を行うため、子育て世代包括支援センターを中心に、タブレット端末でのオンライン保健指導を活用するほか、産後ケア事業の対象を3か月以内から1年未満に拡充</p>	<p>障害児地域療育等支援事業</p> <p>障害児通所等支援事業</p> <p>子どもすこやか安心ねっと事業</p> <p>（再）妊娠・出産包括支援事業</p>	○
<p>スクールロイヤーの導入を図ります。</p> <p>49 子どもたちの安全を守り、充実した教育環境をつくるために、学校現場での法的紛争の未然防止や解決に専門家が適切に関与・助言できる仕組みを作ります。</p>	<p>（4年度～）</p> <p>○諸問題（いじめ問題等を除く）に対して迅速かつ適切な対応を図るため、学校へスクールロイヤーによる法的観点からの助言等を実施（導入時期：4年6月）</p> <p>（4年度～）</p> <p>○いじめ問題等に対して適切な対応を図るため、学校へスクールロイヤーによる法的観点から助言等または保護者への対応を実施（導入時期：4年6月）</p>	<p>スクールロイヤー活用事業</p> <p>いじめ問題等に係るスクールロイヤー活用事業</p>	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>50 通学路の安全確保</p> <p>歩道の確保・整備など、通学路の安全を確保します。また、特別支援学校等への通学路についても、点字ブロックの設置など、特に必要な対応を行い安全を確保します。</p>	<p>○交通安全を確保するため、歩道整備やゾーン30プラス等の整備を実施 (3年度)川上上通線の歩道整備、大竜地区ほか1地区のゾーン30整備 (4年度)下門仲組線の歩道整備、帯迫鼓川線の測量設計、郡元3丁目地区ほか1地区のゾーン30測量設計 (5年度)下門仲組線ほか2線の歩道整備、武25号線ほか3線の用地取得(予定)、郡元3丁目地区ほか1地区のゾーン30プラス整備、荒田1丁目ほか2地区のゾーン30測量設計</p>	交通安全施設整備事業	○
	<p>(5年度) 児童に見守り端末(ICタグ)を無償で配布し、児童が携帯する端末が出す電波が街中にある見守りスポットを通過した際に、位置情報や通過時刻が記載され、迷子や行方不明などの緊急時に迅速な対応が行えるサービスを、市内3小学校区において試験的に導入</p>	(再)ICT活用による子ども見守り事業	
	<p>○交通機能の円滑化及び交通安全の確保のため、市道の拡幅改良を実施 (3年度)下門仲組線の用地取得 (4年度)田上一本桜線の測量設計 (5年度)田上一本桜線の建物調査</p>	幹線道路整備事業	
	<p>○安全で快適な通行空間の確保や道路の防災性の向上を図るため、市道における無電柱化を推進 (3年度)城南線の測量設計 (4年度)城南線の地中化工事、唐湊線1期の測量設計 (5年度)城南線の地中化工事、唐湊線1期の測量設計及び地中化工事(予定)、唐湊線2期の測量設計</p>	無電柱化推進計画事業	
	<p>○生活環境の改善及び交通安全の確保のため、舗装改良を実施 (3年度～)武岡団地中央線の舗装改良</p>	舗装新設改良事業	
	<p>○地域のボランティアを活用した登下校の安全指導 延べ活動人数:26,409人(4年度)、10,333人(5年度(8月末現在))</p>	学校支援ボランティア事業	
	<p>○15人のスクールガード・リーダーによる登下校時の巡回指導と各学校への安全指導(週1回、月4回を目安)</p>	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	
6 稼げる力。「たくましい鹿児島の子」をつくる。			
<p>51 キャリア教育の充実を図ります。</p> <p>インターンシップの実施、地域の様々な職業の方々から話を聞く場を設けるなど、子どもたちが「将来何になりたい」→「だからこの勉強をする必要がある」→「そのためにこの学校・進路を選ぶ」というキャリアプランの設定を主体的にできるような取り組みを進めます。</p>	<p>(5年度) ○中学生が社会の多様な課題の解決に向け、地元企業と連携・協働しながら地域の力を生かし、総合的な学習に取り組む(5年度:4校)</p>	未来探究プログラム推進事業	○
	<p>○若者の市外流出抑制に向け、中学生をはじめとする若い世代に地元企業への理解促進等を図る就職応援フェアを労働局・県と連携して開催(3年12月、4年12月、5年12月(予定))</p>	若者就職応援フェア「みらいワーク“かごしま”」開催事業	
	<p>(4年度～) ○地域の人材や外部講師等を授業に活用する報償費やものづくり体験授業に係る材料費として需用費等を支給</p>	個性あふれる学校づくり推進事業	
	<p>○「かごしま創志塾」「ジュニア創志塾」において、異年齢による交流活動、多彩な講師による講話、宿泊体験を実施し、これらの学びの成果として、夢や希望、職業などを決意し、発表する「夢プログラム発表」「体験活動発表」を開催</p>	次世代を切り拓く青少年育成事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p><u>IT関連教育を推進します。</u></p> <p>52 希望する地域・学校がプログラミング教育などIT関連教育を行えるよう、教育内容や講師等の環境整備を行い、支援を行います。</p>	<p>○GIGAスクール構想に必要なICT機器の整備 (3年度)市立小・中・高等学校学習者用タブレット端末を購入 (4年度)市立小・中・高等学校指導者並びに市立高等学校学習者用タブレット端末を購入するとともに、モバイル無線LANルータ及びSIMカードの拡充整備</p> <p>○教育用PC、校務用PCの整備 (4年度)</p> <p>○小・中学校の全児童生徒が活用できるAI型デジタルドリルを導入</p>	<p>(再)ICT環境整備事業</p>	○
<p><u>教育に、IT・インターネットを積極的に活用します。</u></p> <p>53 教育に、PCやタブレット端末の活用や、インターネット経由での教材配信など、IT・インターネットを積極的に活用し、ひとりひとりに合った、より質の高い教育を目指します。</p>	<p>(5年度) ○市立3高の生徒30人が起業家精神や多様性など様々なテーマについて、スタンフォード大学専任講師とオンラインでディスカッションやプレゼンテーションを実施</p> <p>(5年度) ○ICTを活用したAI人材の育成や情報活用能力向上を支援するための教育環境を作る(導入時期:9月)</p> <p>○GIGAスクール構想に必要なICT機器の整備 (3年度)市立小・中・高等学校学習者用タブレット端末を購入 (4年度)市立小・中・高等学校指導者並びに市立高等学校学習者用タブレット端末を購入するとともに、モバイル無線LANルータ及びSIMカードの拡充整備</p> <p>○教育用PC、校務用PCの整備 (4年度)</p> <p>○小・中学校の全児童生徒が活用できるAI型デジタルドリルを導入</p>	<p>ワールドステップeラーニング事業</p> <p>デジタル教材整備事業</p> <p>ICT環境整備事業</p>	○
<p><u>青少年の海外派遣、留学支援を広く行います。</u></p> <p>54 今後の鹿児島を担う青少年(学生、青年経営層など)の国際感覚を養い、海外との人的ネットワークを構築するため、海外派遣、留学支援を行います。また実施に当たっては、特に経済的事情で自費で行くことが困難な青少年が参加する機会を十分に持てるよう、募集や選定において考慮します。</p>	<p>(3年度~) ○モバイル無線LANルータに使用するSIMカードを購入 ○ICTを活用した教育を推進する「授業目的公衆送信補償金制度」へ参加</p> <p>(5年度) ○海外の高校に、原則1年間留学する高校生に対し、留学支援金を交付</p> <p>○青少年を姉妹友好都市等に派遣し、ホームステイや学校交流などを通して、本市の国際化の促進に寄与する人材育成を図る(7月:パース市、マレーシア、10月予定:長沙市、11月予定:ストラスブール市、ナポリ市、12月予定:マイアミ市) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、2年度~4年度は休止</p> <p>(5年度) ○「青少年の翼事業」、「青少年東南アジア派遣事業」における学生の自己負担分の経費を助成</p> <p>(4年度) ○コロナ禍においても青少年の国際的視野を広げる機会を創出するため、姉妹友好都市等とのオンライン交流を実施(8月:パース市、11月:ナポリ市、長沙市、マイアミ市、12月:ストラスブール市)</p>	<p>高校生海外留学支援事業</p> <p>青少年の翼事業、青少年東南アジア派遣事業</p> <p>中高生国際交流派遣支援補助金</p> <p>青少年国際交流オンライン体験事業</p>	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>55 「外国人の友達を作ろう！」</p> <p>本県在住の外国人、留学生、研修生などと子どもたちとの交流を促進し、子どもたちが「外国人の友達を作る」ことを通じて国際交流を肌で感じ、またその必要性に気付く機会を広げます。</p>	<p>○第16回かごしまアジア青少年芸術祭を開催予定（11月25日、26日）</p> <p>○国際交流センターにおいて外国人住民との交流イベント等を実施</p>	<p>アジア青少年芸術祭開催事業</p> <p>（再）国際交流センター管理運営事業</p>	○
<p>56 <u>市立高校の振興と環境整備を図ります。</u></p> <p>市立高校（鹿児島玉龍高校、鹿児島商業高校、鹿児島女子高校）について、それぞれ時代に合った独自性と専門性を高める方策を検討するため、同窓会も交えた検討組織をつくります。またより充実した教育環境の整備を図るため、ふるさと納税の用途について「各高校の教育環境整備」を指定できるようにします。</p>	<p>（5年度）</p> <p>○母校応援ふるさと寄附金を活用し、鹿児島商業高等学校の教育環境の向上に向けた学校の備品、全国レベルでの活躍が期待される部活動に対する支援等を行う</p> <p>（3年度）</p> <p>○「スクール・ミッションの再定義」及び「特色ある学校づくり」について検討</p> <p>○3年9月に市立高等学校教育振興施策検討委員会を開催し、検討組織の立ち上げ等について研究</p> <p>（4年度）</p> <p>○7月に「第1回市立高等学校活性化委員会」を開催し、外部委員、市関係職員が市立高等学校の状況と課題を共通理解し、各学校の特色を生かした学校づくり等、学校の活性化について協議</p> <p>○9月に第2回、11月に第3回を開催し、5年度に向けた活性化の対策について協議</p> <p>（5年度）</p> <p>○5月に「第5回市立高等学校活性化委員会」を開催し、鹿児島商業高等学校の学科再編や男女共学について協議</p> <p>○6月に第6回を開催し、三校のスクールミッションや鹿児島商業高等学校の今後の方向性について協議</p> <p>○鹿児島商業高等学校の学科編成及び男女共学について、7月の教育委員会定例会で議決</p> <p>（5年度）</p> <p>○市立3高の生徒30人が多文化共生やキャリア教育など様々なテーマについて、スタンフォード大学専任講師とオンラインでディスカッションやプレゼンテーションを実施</p> <p>（3年度～）</p> <p>○市立3高等学校（鹿児島玉龍、鹿児島商業、鹿児島女子）を対象に学校を指定した寄附募集を実施</p> <p>○学校毎の寄附金については、毎年度基金へ積立てを行い、各学校の特色ある取組の事業費に相当する寄附金額が集まった段階で事業を予算化し、その財源として寄附金を活用予定</p>	<p>母校応援ふるさと寄附金活用事業</p> <p>市立高等学校活性化事業</p> <p>（再）ワールドステップeラーニング事業</p> <p>母校応援ふるさと寄附金事業</p>	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
7 人生100年時代。「持続可能な」生きがいにあふれる福祉。			
<p>57 高齢者の方々がいつまでも元気に活躍して頂ける社会を実現するため、疾病予防・介護予防に関する施策にインセンティブを導入するなど強気に推進します。</p> <p>疾病予防・介護予防の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○国保被保険者で、40～74歳を対象とした特定健康診査（通年実施）を無料、また、30歳代を対象とした若年者健診（10月～3月実施）を500円で実施 ○健診受診者に対して、登録事業所において割引等の特典を受けられるトク得クーポンを交付。また、受診率向上のため、未受診者勧奨通知を外部委託で実施（4年度～） ○当該年度40・45・50・55・60歳に達する特定健診受診者へ、本市公衆浴場の入浴券2回分交付1,109件（4年度）、282件（5年度（8月末現在）） ○公式LINEアカウント等を活用した健診受診の普及啓発 ○トク得クーポン登録事業所の拡大（5年度） ○SMSの活用に向けた携帯電話番号の取得 ○薬局と連携した特定健康診査の受診勧奨体制の構築 ○健診未受診者へのアンケート実施（10月～） 	(再) 特定健康診査事業	○
	<ul style="list-style-type: none"> （3年度～） ○糖尿病性腎症重症化予防の病診連携体系及び、かかりつけ医等と連携した保健指導の協議 ○糖尿病性腎症重症化予防プログラムノートの作成（4年度～） ○糖尿病性腎症重症化予防の病診連携体系の周知及び実施（5年度） ○糖尿病性腎症重症化予防のかかりつけ医等との連携した保健指導体系の周知及び実施（10月～） ○かかりつけ医向け情報交流会の開催（6年1月予定） 	糖尿病性腎症重症化予防プログラム推進事業	
	<ul style="list-style-type: none"> （4年度） ○要支援者等の自立支援及び重度化防止を目的とする短期集中運動型サービスの検討のため、現行の運動型通所サービスの分析 ○短期集中運動型サービスモデル事業の設計等（5年度） ○短期集中運動型サービスモデル事業の実施 	短期集中運動型サービス検討事業	
	<ul style="list-style-type: none"> （5年度） ○胃がん検診について、特定年齢を対象に胃内視鏡検査を新たに実施（5年10月～） 	(再) 元気いきいき検診事業	
	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診および若年者健診の健診結果に基づき、生活習慣病の発症予防・重症化予防のために保健師、看護師、管理栄養士による訪問等の保健指導を実施（通年実施）（3年度～） ○ICTを活用した保健指導の周知及び実施（4年度） ○電子教材媒体（保健指導アプリ：どこでもケア）導入（5年度） ○特定保健指導の申し込みについて、電子申請を開始（7月～） 	健診受診者保健指導事業	
	<ul style="list-style-type: none"> ○長寿健康診査の実施 ○後期高齢者保健事業としてはり・きゅう施設利用補助、人間ドック、脳ドック利用補助の実施 	(再) 後期高齢者長寿健診事業 後期高齢者保健事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>57 <u>疾病予防・介護予防の促進</u></p> <p>高齢者の方々がいつまでも元気に活躍して頂ける社会を実現するため、疾病予防・介護予防に関する施策にインセンティブを導入するなど強力的に推進します</p>	<p>(3年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、医療・介護・健診データ分析により、地域の健康課題の把握及び支援対象者を抽出 ○事業全体の企画・調整を実施 	<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業</p>	○
	<ul style="list-style-type: none"> ○閉じこもり等の何らかの支援を要する高齢者を早期に把握するためのアンケート調査や、介護予防の必要性等を普及啓発するリーフレットの送付を行い、介護予防活動への参加を促進 	<p>介護予防把握事業</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の生きがいづくりや介護予防を推進するため、高齢者が行う市社会福祉協議会が募集、管理するボランティア活動等や健康診査の受診に対し、換金等が可能なポイントを付与 	<p>高齢者いきいきポイント推進事業</p>	
	<p>(3年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療・介護・健診データ分析に基づき抽出された高齢者への個別的支援、地域の健康課題に応じた通いの場等への積極的な支援等を実施 	<p>すこやか長寿健康支援事業</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の中で健康づくりを推進するために市民との連絡会や交流会を実施 ○「健康づくり月間」(11月)を中心とした各種イベント等を実施(予定) ○地域全体の健康のレベルアップを図るために、地域組織や関係機関と連携を図る ○よかよか元気クラブの中で、一定の条件を満たした団体の活動に対し、換金可能なグループポイントを付与(県補助金。1ポイント=1,000円、年間上限60,000円)(予定) 	<p>地域保健活動事業</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ○理学療法士等のリハビリテーション専門職が、住民主体の通いの場等における集団及び個別指導を実施するなど、介護予防の取組を総合的に支援 	<p>地域リハビリテーション活動支援事業</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが参加できる介護予防活動の地域展開を目指し、鹿児島よかよか体操やらくらく体操を中心とした活動を推進 ○地域の身近な公民館等で地域ボランティア等の協力を得て、体操や健康講座、創作活動、認知症予防等の介護予防活動を行う 	<p>よかよか元気クラブ活動支援事業 お達者クラブ運営支援事業</p>	
<p>58 <u>健康診断受診率を向上させます。</u></p> <p>特定健診やがん検診などの健康診断受診率を向上させるため、普及啓発、受けやすい場所で実施する、受診者に対するインセンティブ(特典)を用意するなど、様々な対策を講じます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○国保被保険者で、40～74歳を対象とした特定健康診査(通年実施)を無料、また、30歳代を対象とした若年者健診(10月～3月実施)を500円で実施 ○健診受診者に対して、登録事業所において割引等の特典を受けられるトク得クーポンを交付。また、受診率向上のため、未受診者勧奨通知を外部委託で実施 (4年度～) ○当該年度40・45・50・55・60歳に達する特定健診受診者へ、本市公衆浴場の入浴券2回分交付1,109件(4年度)、282件(5年度(8月末現在)) ○公式LINEアカウント等を活用した健診受診の普及啓発 ○トク得クーポン登録事業所の拡大 (5年度) ○SMSの活用に向けた携帯電話番号の取得 ○薬局と連携した特定健康診査の受診勧奨体制の構築 ○健診未受診者へのアンケート実施(10月～) 	<p>特定健康診査事業</p>	○
	<ul style="list-style-type: none"> ○1歳、2歳、2歳6か月、就学前児を対象に歯科健診及びフッ素塗布を実施 (5年度) ○就学前児の未受診者への受診勧奨を実施 	<p>乳幼児歯の健康づくり事業</p>	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>健康診断受診率を向上させます。</p> <p>58 特定健診やがん検診などの健康診断受診率を向上させるため、普及啓発、受けやすい場所で実施する、受診者に対するインセンティブ（特典）を用意するなど、様々な対策を講じます。</p>	<p>○小学一年生を対象に歯科健診及びフッ素塗布を実施（5年度）</p> <p>○未受診者への受診勧奨を実施</p>	<p>子ども達の歯と口の健康を守るための歯科健診事業</p>	○
	<p>○年間を通じての各種がん検診等を実施</p> <p>○土日、夕方検診の実施（3年度～）</p> <p>○半日がん検診対象年齢拡大（5年度）</p> <p>○がん検診をパソコンやスマホから予約ができるシステムを導入（5年10月～）</p> <p>○胃がん検診について、特定年齢を対象に胃内視鏡検査を新たに実施（5年10月～）</p> <p>○未受診者への受診勧奨を実施（大腸がん検診・子宮がん検診・歯周病検診の未受診者）</p>	<p>元気いきいき検診事業</p>	
	<p>（3年度～）</p> <p>○長寿健康診査未受診者を対象に受診勧奨ハガキを送付 3年度：11月・12月、4年度：11月・12月、5年度：11月以降（予定）</p> <p>○訪問指導で配布する受診勧奨ちらしを作成 3年度：9月、4年度：6月、5年度：4月</p>	<p>後期高齢者長寿健診事業</p>	
	<p>○高齢者の生きがいがづくりや介護予防を推進するため、高齢者が行う市社会福祉協議会が募集、管理するボランティア活動等や健康診査の受診に対し、換金等が可能なポイントを付与</p>	<p>（再）高齢者いきいきポイント推進事業</p>	
	<p>○定期の健康診断を実施</p> <p>○80歳以上の結核健診について個別健診を実施</p>	<p>胸部エックス線撮影健康診断事業</p>	
<p>認知症を早期発見・早期治療できる仕組みを整備します。</p> <p>59 認知症の早期発見・早期治療を行うために、市民に向けて認知症のさらなる普及啓発を図り、専門治療機関の拡充を図ります。また一人暮らしの高齢者向けに、民間事業者等とも連携し、早期発見・早期治療できる仕組みを整備します。そして家族をサポートできる仕組みづくりを進めます。</p>	<p>（5年度）</p> <p>○認知症の人やその家族、サポーター等が一体となって地域での交流や見守り支援などを行うボランティア団体を「チームオレンジ」として認定し、設置・運営を支援。市内全17圏域への各1チーム設置に向け、年次的に認定 5年度：3チーム</p>	<p>チームオレンジ設置運営支援事業</p>	○
	<p>（3年度～）</p> <p>○認知症やその疑いにより行方不明となった高齢者等の早期発見のため、市LINE公式アカウントを活用して情報を配信</p>	<p>認知症あんしんサポート事業</p>	
	<p>（3年度～）</p> <p>○認知症の普及啓発イベントとして「認知症あんしんセミナー」を実施（3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、パネル展示のみ）</p> <p>○認知症に関する普及啓発資料（ケアパス、リーフレット）の配布</p>	<p>認知症施策推進事業</p>	
	<p>○認知症初期集中支援チームが、定例・随時でチーム員会議を実施するなど支援を実施</p>	<p>認知症初期集中支援推進事業</p>	
	<p>○認知症サポーター養成講座や認知症等見守りメイト養成講座、認知症介護教室を実施</p> <p>○市職員向け（市長部局）の認知症サポーター養成講座を実施</p>	<p>認知症オレンジサポーター養成事業</p>	
	<p>○在宅の認知症高齢者やその疑いがある人が行方不明になるのを防ぐために、位置情報サービス等を利用する家族等に対して加入経費の一部を助成</p>	<p>高齢者見守り支援事業</p>	
	<p>（4年度～）</p> <p>○県において鹿児島大学病院を認知症疾患医療センター（基幹型）として指定（R4年9月～）</p> <p>※市内では他に谷山病院、パールランド病院が認知症疾患医療センターとして指定</p>	<p>認知症疾患医療センター（県）との連携</p>	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
60 <u>重度心身障害者等医療費制度の手続を簡素化します。</u> 県と連携し、重度心身障害者等医療費制度の手続を、自動償還払い方式の導入など簡素化できるよう取り組みます。	○県市長会を通じて県に制度見直しを要望（4年度） ○県において、制度変更に向けた関係者会議を開催（7月、9月に各1回）（5年度） ○自動償還払い方式への変更に向けたシステム改修を実施	重度心身障害者等医療費助成事業	○
61 <u>障害者就労施設等への発注</u> 障害者の働く場・機会を増やすため、障害者就労施設等への優先発注や調達を進めます。	○毎年度、鹿児島市障害者就労施設等からの物品等の調達推進方針を策定（3年度）目標額：37,000千円 調達実績額：37,364千円 （4年度）目標額：39,000千円 調達実績額：37,363千円 （5年度）目標額：37,000千円 ○障害者就労施設等を設置する法人等が共同で活動するナイスハート運営協議会へ助成（ナイスハートカフェ運営への支援等）	障害者就労施設等からの物品等の調達推進方針 鹿児島市ナイスハート支援事業	○
62 <u>手話言語条例の制定</u> 手話言語条例を制定します。	○障害者への理解促進の気運を醸成し、障害者の生活課題等の解消と、意思疎通支援の充実による共生社会の実現につなげるため、手話言語等に係る条例の制定に取り組む（4年度） 障害者への実態調査（9～10月）、職員研修会の開催（10月）、外部会議の開催（5年1月）（5年度） 外部会議の開催（6月、11月予定）、パブリックコメント（9～10月） 6年第1回定例会で条例議案を提案予定	手話言語及び情報・コミュニケーション条例（仮称）制定事業	○
63 <u>バリアフリー化の推進</u> 市立施設のバリアフリー化を推進します。	○大規模改造工事や長寿命化改良工事に合わせて施設のバリアフリー化を実施 ○昇降口の段差解消やバリアフリースイールの設置等（3年度） 向陽小、清和小の屋内運動場の大規模改造工事を実施（4年度） 城南小、小山田小の屋内運動場の大規模改造工事を実施、松元中の校舎増築工事の着工（5年度） 松元中の校舎増築工事（継続）、吉野小の校舎増築工事の着工 ○松原小、八幡小の校舎建替えにおいて、バリアフリー基準を満たす設計を実施 ○EVやバリアフリースイールの設置等（3年度） 松原小の校舎新築工事の着工（4年度） 松原小の校舎完成、八幡小の校舎新築工事の着工（5年度） 八幡小の校舎新築工事（継続） ○第三次交通バリアフリー基本構想（4年3月策定）の推進 ○県の福祉のまちづくり条例に基づき、障害者等が安全かつ快適に利用できるように施設の新築等の内容について届出を受理	校舎・屋体等整備事業 校舎建替事業 （再）交通バリアフリー基本構想推進事業 県福祉のまちづくり条例関係事務	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>63 <u>バリアフリー化の推進</u> 市立施設のバリアフリー化を推進します。</p>	<p>○市営住宅建替時におけるバリアフリー化の推進 (3年度) 西伊敷住宅32号棟(4年2月)、大明丘住宅16号棟(4年3月)完成 (4年度) 玉里団地住宅27号棟(5年2月)完成 (5年度) 西伊敷住宅45号棟(5年9月)着手</p> <p>○市営住宅の個別改善によるバリアフリー化の推進 (4年度) 桜ヶ丘住宅13・14号棟(4年12月)着手</p> <p>○市道のバリアフリー化を実施 (3年度) 与次郎ヶ浜2号線など7線の段差解消 (4年度) 帯迫菖蒲谷線など5線の段差解消 第3期市道バリアフリー推進計画を策定 (5年度) ナポリ通線など4線の休憩施設(ベンチ)設置(予定)</p> <p>○老朽化したプールの改築及び実施設計等 ○年1~2校で実施 (3年度) 八幡小・玉江小プールの改築、吉野小プールの設計等を実施 (4年度) 吉野小プール改築 ※プールの改築に際しては、バリアフリーに配慮した整備を実施(入口スロープ等)</p> <p>○地域公民館の大規模改修時にエレベーターの設置などバリアフリー化を図る ○スロープや階段への手すり設置など、バリアフリーに配慮した施設整備を実施(校区公民館)</p>	<p>市営住宅建設事業</p> <p>市営住宅ストック総合改善事業</p> <p>市道バリアフリー推進事業</p> <p>小学校プール施設整備事業</p> <p>地域公民館整備事業 校区公民館・地区コミュニティセンター設備等整備事業</p>	○
<p>64 <u>高齢者の生きがい就労</u> 高齢者の知恵や技能、経験を發揮して頂き、活躍の場ならびに生きがいとしての就労の場を拡充するため、マッチングの場などの環境整備を行います。</p>	<p>○シルバー人材センターに対し、同センターが行う各種事業や運営に要する経費を助成</p>	<p>高齢者就業機会確保等事業</p>	○
<p>IV 人口減少時代に生き残る鹿児島をつくる。</p>			
<p>8 「持続可能」なまちづくり。「持続可能」なくみづくり。</p>			
<p>65 <u>「持続可能性」を重視しSDGsの取り組みを進めます。</u> 市の施策・事業をSDGs(Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標)の考え方にに基づき整理するとともに、特に「持続可能性」を重視しSDGsの取り組みを進めます。</p>	<p>○市民のひろばや市ホームページを活用したSDGsの普及・啓発を実施 ○かごしまSDGs推進パートナーの募集・登録を実施(2年10月～、241社登録(5年8月末現在)) ○かごしまSDGsパートナーシップ推進会議を開催(3年度～) (3年度) ○SDGsガイドブック(普及啓発用パンフレット)の作成 (4年度) ○ステッカー、子ども向け普及・啓発ツールの作成 (5年度) ○SDGs若者会議の開催(5年12月(予定)) ○My SDGs宣言キャンペーンの実施(5年12月(予定))</p>	<p>SDGs推進事業</p>	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>「持続可能性」を重視しSDGsの取り組みを進めます。</p> <p>65 市の施策・事業をSDGs (Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標) の考え方にに基づき整理するとともに、特に「持続可能性」を重視しSDGsの取り組みを進めます。</p>	<p>(5年度)</p> <p>○修学旅行におけるSDGsプログラムに関する研修を実施し、研修後にプログラム造成に取り組む意欲のある観光施設等に対し支援を行う</p>	修学旅行誘致事業	○
	<p>(3年度)</p> <p>○第六次総合計画(3年度策定)において、SDGsと本市施策等との関連を整理</p>	第六次総合計画策定事業	
<p>環境と調和した再生可能エネルギーの開発・活用を進めます。</p> <p>66 再生可能エネルギーの導入を、周辺環境と調和した持続可能な形で進めます。</p>	<p>(5年度)</p> <p>○市有施設における太陽光発電システム等のさらなる導入のための可能性調査を実施</p>	市有施設への太陽光発電システム導入調査・検討事業	○
	<p>○本庁舎で使用する電力のゼロカーボン化を実施</p>	本庁舎ゼロカーボン電力切替事業	
	<p>(3年度)</p> <p>○「ゼロカーボンシティかごしま」の実現に向けて、環境施策の基本的方向性を示す第三次環境基本計画及びゼロカーボンシティかごしま推進計画を策定(4年3月)</p> <p>(4年度～)</p> <p>○「自然と共生し ゼロカーボンを進めるまち かごしま」の実現に向けて、第三次環境基本計画やゼロカーボンシティかごしま推進計画に基づく各種施策を推進</p>	第三次環境基本計画等推進事業	
	<p>(3年度)</p> <p>○北部・南部清掃工場等で発電したCO₂の排出係数ゼロの電力を他の市有施設に供給する仕組み(ゼロカーボン電力供給システム)の効果を調査</p> <p>(4年度)</p> <p>○調査結果を基にゼロカーボン電力供給システム構築のための課題検証等を実施</p> <p>(5年度)</p> <p>○ゼロカーボン電力供給システム構築に向けた情報収集</p>	ゼロカーボン市役所推進事業	
	<p>(3年度～)</p> <p>○市役所本庁舎で使用する電力のゼロカーボン化の取組を事例に、再生可能エネルギーの利用拡大に向けた意識啓発を実施</p>	ゼロカーボン電力切替事業	
	<p>○新南部清掃工場の稼働に向け、建設工事を実施</p> <p>○3年12月末記念式典実施</p> <p>○4年1月からバイオガス施設と高効率発電施設の運営を開始</p>	南部清掃工場運営事業	
	<p>(3年度)</p> <p>○再生可能エネルギーの普及促進のため、再生可能エネルギー活用計画を策定(4年3月)</p>	第二次鹿児島市再生可能エネルギー導入促進行動計画策定事業	
<p>避難所等における再生可能エネルギーの活用</p> <p>67 災害時に電源の必要性が高い避難所等において、再生可能エネルギーや蓄電池を積極的に導入するとともに、通常時の活用としてEVの充電ステーション等としての活用を検討します。</p>	<p>(4年度)</p> <p>○災害時に避難所となる施設(宇宿福祉館・西伊敷福祉館)への太陽光発電システムや蓄電池の導入に向けた実施設計等を実施</p> <p>(5年度)</p> <p>○災害時に避難所となる施設(宇宿福祉館・西伊敷福祉館)への太陽光発電システムや蓄電池を導入(予定)</p>	太陽光を利用した避難所機能強化事業	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>68 <u>リサイクルの促進</u> ごみの減量ならびにリサイクル率の向上に向けた取り組みを行います。</p>	<p>(5年度) ○プラスチックの資源循環を推進するため、もやせるごみとして分別しているプラスチック製品の資源化を試験的に実施(予定)</p>	プラスチック資源循環推進事業	○
	<p>(5年度) ○食品ロス削減の取組を推進するため、計画策定委員会を設置し、食品ロス削減推進計画を策定(予定)</p>	食品ロス削減推進計画策定事業	
	<p>○家庭ごみの減量目標達成に向け、減量化・資源化を促進するため、テレビCMやインターネット広告等を活用し、効果的な情報発信を実施 (4年度) ○家庭ごみ減量ガイドブックを作成し、子育て世代等に配布することにより、家庭における生ごみ減量等の実践促進を図った (5年度) ○家庭ごみ減量ガイドブックを増刷し、大学を通じた配布等により、若年層への啓発を図る</p>	みんなで取り組むごみ減量PR事業	
	<p>○3Rの意識啓発と実践活動の推進を図るため、分別説明会の開催や、ごみ分別アプリの配信を実施 ○ごみ出しカレンダーの配布(毎年、12月に配布) (5年度) ○簡易版外国語版ごみ出しカレンダーの多言語化拡充(予定)</p>	リデュース・リユース・リサイクル(3R)推進事業	
	<p>○年次計画に基づき、経年劣化した機器等の改修工事・修繕を実施 (4年度) ○資源物ストックヤード増設に向けた実施設計を実施 (5年度) ○北部清掃工場の資源物のストックヤードを増設(予定)</p>	リサイクルプラザ施設整備事業	
	<p>(4年度～) ○北部清掃工場に搬入された粗大ごみに含まれる羽毛布団を資源化 リサイクル実績:2,600枚(4年度)1,318枚(5年度8月末)</p>	羽毛循環リサイクル事業	
	<p>(3年度～) ○使い捨てプラスチック削減の重要性等について意識啓発を図るため、ワークショップ等を開催</p>	脱プラスチック生活チャレンジ事業	
	<p>○家庭のごみの減量化・資源化を図るため、古紙類、電球・蛍光灯、乾電池、スプレー缶類、金属類の分別収集を実施</p>	資源化推進事業	
	<p>○使用済小型電子機器の資源化を促進するため、公共施設等に回収ボックスを設置し、拠点回収を実施</p>	小型家電リサイクル事業	
	<p>○ごみの減量化・資源化意識の向上を図るため、生ごみ処理機器の購入に対し助成するとともに、小学生を対象に「生ごみのリサイクル授業」を実施 生ごみ処理機器補助件数:378基(3年度)、333基(4年度)、179基(5年度8月末)</p>	ホームフードリサイクルグリーン事業	
<p>○もやせるごみに多く含まれる生ごみの減量のため、ダンボールコンポストや生ごみの水切りなどに親子で取り組んでもらい、計量記録やごみ減量のアイデアを集めて市民に広報を実施</p>	親子で取り組む「もやせるごみ」減量実践モニター事業		

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>68 <u>リサイクルの促進</u> ごみの減量ならびにリサイクル率の向上に向けた取り組みを行います。</p>	<p>○古紙類などの資源化を図るため、資源物回収活動を行う市民団体に対して、補助金を交付 実施団体：408団体（3年度）、401団体（4年度）、340団体（5年度8月末）</p>	資源物回収活動の活性化推進事業	○
	<p>○剪定枝の資源化を図るため、戸別収集を行うとともに、粉碎機の無料貸出や購入費に対する助成を実施 戸別収集量：482 t（3年度）、433 t（4年度）、166 t（5年度8月末） 粉碎機購入費補助件数：96基（3年度）、47基（4年度）、26基（5年度8月末）</p>	剪定枝資源化事業	
	<p>○事業活動に伴って排出される廃棄物の減量化・資源化を図るため、産業廃棄物を多量に排出する事業所から廃棄物処理計画書の徴取や、排出事業者から一般廃棄物の減量に関する計画書等の徴取を実施</p>	廃棄物適正処理指導事業	
	<p>○廃棄物の適正処理を推進し、廃棄物の減量化・資源化を図るため、監視指導員による産業廃棄物処理施設及び自動車リサイクル法関係事業所への立入り・指導を実施</p>	廃棄物監視指導員設置事業	
	<p>○事業所から排出される事業系ごみの減量化・資源化を図るため、清掃工場に搬入されるごみの搬入検査を実施</p>	事業系ごみ減量推進事業	
	<p>○缶、びん、ペットボトル、プラスチック容器類の適正処理を実施</p>	リサイクルプラザ維持管理等事業	
	<p>○新南部清掃工場の稼働に向け、建設工事を実施 ○3年12月末記念式典実施 ○4年1月からバイオガス施設と高効率発電施設の運営を開始 (3年度) ○プラスチック資源循環への対応など、循環型社会の実現に向けて、第四次一般廃棄物処理基本計画を策定(4年3月)</p>	(再) 南部清掃工場運営事業 一般廃棄物処理基本計画策定事業	
<p>69 <u>公共交通機関の利便性向上</u> 市電やバスなど交通の結節点の整備や、停留所の環境整備を進め、より使いやすい公共交通を目指します。またEVバスの導入など、環境にやさしい交通網の整備にも努めます。</p>	<p>(5年度) ○コミュニティバス「あいばす」等について、地域の実情に合わせた持続可能な交通手段となるよう調査検討に必要な事項を協議するため学識経験者等で構成する会議の設置・開催 ○あいばす(谷山地域)の運行ルート周辺におけるA I オンデマンド交通の実証実験を実施(5年11月20日～6年1月31日予定) ○バスロケーションシステムから得られるデータ等を用いた利用状況の可視化・地域別の移動特性の分析を行い、地域の実情に応じた最適な交通手段等を検討するための基礎的な調査の実施</p>	公共交通不便地における持続可能な交通手段調査検討事業	○
	<p>(5年度) ○バス7両更新(2両：EV(電気)車、5両：ディーゼル車) ※いずれも低公害・低床バス</p>	乗合バス更新事業	
	<p>(5年度) ○県バス協会が実施するデジタルサイネージ設置(天文館バス停)に対し、補助金を交付</p>	都市交通システム整備事業補助金	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>公共交通機関の利便性向上</p> <p>69 市電やバスなど交通の結節点の整備や、停留所の環境整備を進め、より使いやすい公共交通を目指します。またEVバスの導入など、環境にやさしい交通網の整備にも努めます。</p>	<p>○公共交通不便地における日常生活の交通手段を確保するため、あいばすや乗合タクシー等について、改善を図りながら運行 (4年度) ○あいばす車両の更新(3両) ○あいばすへのバスロケーションシステム導入</p>	公共交通不便地対策事業	○
	○第二次鹿児島市公共交通ビジョン(4年3月策定)の推進	公共交通ビジョン推進事業	
	○第三次交通バリアフリー基本構想(4年3月策定)の推進	交通バリアフリー基本構想推進事業	
	<p>○長寿命化並びに利用者へのサービス向上を図るため、停留場上屋を改修 (4年度) ○宇宿一丁目停留場(上り) (5年度) ○脇田停留場(上り)</p>	専用軌道停留場上屋改修事業	
	<p>(3年度～) ○谷山のシーサス分岐器を更换 (4年度) ○脇田の渡り線分岐器の測量設計業務(～5年度) (5年度) ○南鹿児島駅前の渡り線分岐器の測量設計業務(予定) ○鹿児島駅前のシーサス分岐器ほかの測量設計業務(予定)</p>	渡り線その他分岐器更换事業	
	<p>○待合環境改善のため、バス停上屋を設置、補修 (3年度) 補修6棟(単独) (4年度) 補修3棟(単独) (5年度) 補修1棟(単独)(予定)</p>	バス停留所上屋整備事業	
	<p>(3年度) 1両を更新(2111号) (4年度) 3両を更新(2112号、2113号、2121号) (5年度) 3両を更新(2122号、2131号、2132号)(予定)</p>	VVVF制御装置更新事業	
	<p>○センターポール照明を水銀灯からLEDへ交換 (3年度) 照明のLED化88灯(高見馬場交差点～中洲通停留場間、高見馬場交差点～甲東中学校前停留場間) (4年度) 照明のLED化100灯(中洲通停留場～中郡停留場間) (5年度) 照明のLED化102灯(中郡停留場～涙橋停留場間、郡元停留場～みずほ通り交差点間)</p>	センターポール照明LED化事業	
	<p>(3年度) ○谷山線の電車線柱7本を建替(笹貫～谷山停留場間) (4年度) ○谷山線の電車線柱5本を建替(宇宿一丁目～脇田停留場間) (5年度) ○谷山線の電車線柱5本を建替(南鹿児島駅前～上塩屋停留場間)</p>	谷山線電車線柱建替え及び電車線改良事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>公共交通機関の利便性向上</p> <p>69 市電やバスなど交通の結節点の整備や、停留所の環境整備を進め、より使いやすい公共交通を目指します。またEVバスの導入など、環境にやさしい交通網の整備にも努めます。</p>	<p>○上本町磯線にてバス乗降場や一般車降車場等を備えた交通広場を整備完了（3年11月）、鹿児島駅前にてバス乗降場や待機場、自動車整理場等を備えた駅前広場を整備完了（4年3月）</p>	鹿児島駅前周辺都市拠点総合整備事業	○
	<p>（3年度） ○高所作業車1台を更新</p>	高所作業車更新事業	
	<p>○鹿児島駅前周辺都市拠点総合整備事業に合わせて、鹿児島駅前停留場をバリアフリーに対応した停留場として整備（3年3月27日供用開始）</p>	鹿児島駅前停留場整備事業	
<p>在来線の利用促進を図ります。</p> <p>70 地域の重要な交通手段である在来線について、観光客を含めた利用促進を図るため、鉄道を利用した周遊ルートの整備や、バス等への乗り換えの利便性向上など利用環境向上に向け、必要な取り組みを行います。</p>	<p>○本市が参画する協議会において、在来線の利用促進策を検討・実施</p>	在来線の利用促進（鹿児島県鉄道整備促進協議会負担金、指宿枕崎線輸送強化促進期成会負担金）	○
<p>空き家の有効活用を進めます。</p> <p>71 空き家・中古住宅等の再生支援に取り組みます。また空き家になった最初の段階で利用価値を高め、廃屋に至ってしまわないよう取り組みを行います。</p>	<p>○令和5年8月から鹿児島市空き家バンクの運用を開始</p>	空き家等対策事業	○
	<p>（3年度） ○町内会長等への聞き取り調査：419件、現地調査：509件 ○所有者調査：170件、所有者（管理者）の意向調査：119件 ○使用可能な空き家のリスト化：11件 （4年度） ○使用可能な空き家のリストを用いた相談対応 リスト掲載件数：15件 相談件数：21件（うちマッチング件数：2件） （5年度） ○使用可能な空き家のリストを用いた相談対応 リスト掲載件数：17件 累計相談件数：24件（うちマッチング件数：2件） ○意向調査未提出者への再度の調査（予定） ○空き家改修、家財処分に関する支援の検討 ○建設局における「空き家バンク」と本事業との連携</p>	桜島の未来を拓く空き家マッチング事業	
	<p>○専門的な知識を有する宅地建物取引士や建築士をアドバイザーとして派遣 派遣件数：5件（3年度）、6件（4年度）、1件（5年度（8月末現在））</p>	空家活用アドバイザー派遣事業	
	<p>○空家をリフォームする経費の一部を補助 補助件数：10件（3年度）、11件（4年度）、3件（5年度（8月末現在））</p>	安全安心住宅ストック支援事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>既存集落の過疎化対策に取り組みます。</p> <p>72 主に市街化調整区域など人口減少、過疎化が進行する既存集落において、交流人口の増大など集落の維持に向けた取り組みを行います。</p>	<p>(4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各地域において、地域の資源や特性などを生かした個性豊かな地域づくりに向けた計画「地域と共に創るまちづくりプラン」を策定(5年3月策定) ○計画策定に向けた地域団体等の意見聴取の場として、各地域に地域懇話会を設置 ○計画策定や5年度以降の事業実施を支援するため、地域づくり推進課に地域活性化アドバイザーを設置(民間企業からの派遣。6月委嘱) <p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プランに基づく事業の実施 ○プランの進捗管理や事業実施に対する意見聴取の場として、各地域に地域懇話会を設置 ○地域活性化アドバイザーの増員(6月委嘱) 	(再)地域の魅力・活力共創事業	○
	<ul style="list-style-type: none"> ○地球科学的価値を持つジオサイト等を活用したツアー等を実施 	(再)桜島・錦江湾ジオパーク推進事業	
	<ul style="list-style-type: none"> ○各校区の地域コミュニティ協議会のプラン策定や活動等に対し助成するとともに、地域連携コーディネーターによる支援を実施 	地域コミュニティ協議会の活動支援	
	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民のふれあいと地域社会の活性化を促進し、地域の振興を図るため、地域まつりへの助成を行う <p>(3年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○郡山：春まつりは規模を縮小して実施。夏まつりは中止し、「Web版夏まつり」をSNS上に動画配信 ○吉田、喜入、松元：新型コロナウイルス感染症のまん延状況により主催者が中止を決定 <p>(4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○郡山：春まつりを開催(6月5日(日)・来場者数 約130人) <li style="padding-left: 20px;">夏まつりを開催(8月6日(土)・来場者数 約3,500人) ○松元：夏まつりを開催(8月6日(土)・来場者数 約4,900人) ○喜入：花火の打ち上げを全6校区で実施(8月13日から15日までの3日間、2校区ずつ) ○吉田：夏まつりを開催(8月20日(土)・来場者数 約4,500人) <p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○吉田：夏まつりを開催(8月11日(金)・来場者数 約7,000人) ○桜島：地域まつりを開催(令和6年2月17日(土)) (予定) ○喜入：夏まつりを開催(7月30日(日)・来場者数 約8,000人) ○松元：夏まつりを開催(8月5日(土)・来場者数 約7,000人) ○郡山：春まつりを開催(5月14日(日)・来場者数 約130人) <li style="padding-left: 20px;">夏まつりを開催(8月5日(土)・来場者数 約3,700人) 	地域まつり支援事業	
	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を活用したブランド力の向上、特産品のPR ○魅力情報の発信 ○その他桜島地域の活性化及び活力の維持強化 	さくらじま地域おこし協力隊活動事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>既存集落の過疎化対策に取り組みます。</p> <p>72 主に市街化調整区域など人口減少、過疎化が進行する既存集落において、交流人口の増大など集落の維持に向けた取り組みを行います。</p>	<p>(4年度)</p> <p>○地域コミュニティ等が実施するイベント等に鹿児島ユナイテッドFCの参加を呼びかけ、交流を図る(焼酎用サツマイモの栽培、選手をPR大使に任命)</p> <p>○同クラブのホームゲーム(6月5日、11月13日)で、喜入地域PRブース出店(地域コミュニティ活動パネル展示、地域PRチラシの配布、喜入産スイートコーンの販売、中名小学校6年生児童が栽培したレタスの販売、観光農業公園開園10周年イベントPR)</p> <p>(5年度)</p> <p>○地域コミュニティ等が実施するイベント等に鹿児島ユナイテッドFCの参加を呼びかけ、交流を図る(焼酎用サツマイモの栽培、ウミガメ保護活動)</p> <p>○同クラブのホームゲーム(6月10日)で、喜入地域PRブース出店(喜入産スイートコーン及びオクラの販売)</p>	つながる“喜び入るまち”活性化事業	○
	○自然豊かな各地域(吉田、桜島、喜入、松元、郡山)において、「地域農業まつり」を持ち回りで開催(予定)	地域農業まつり	
	○都市農業センターの施設、市民農園、四季の花園などを管理運営	都市農業センター管理運営費	
	○都市と農村の交流促進を図るため、農作業体験や漁業体験などのイベントを実施	(再)グリーン・ツーリズム推進事業	
	○「かごしま近代化産業遺産協働行動計画」に基づき、当該地域の活性化を図るため、町内会や市民団体等と世界文化遺産を活用したイベント等を実施	世界遺産推進事業	
	○農産物直売所の運営団体と連携し、施設の利用促進を図り、吉田地域の活性化を図るため、輝楽里よしだ館を運営	グリーン・ツーリズム施設管理事業(輝楽里よしだ館)	
	○農産物直売所及びレストランの運営団体と連携し、施設の利用促進を図り、桜島地域の活性化を図るため、火の島めぐみ館を運営	グリーン・ツーリズム施設管理事業(火の島めぐみ館)	
	○農産物直売所及びレストランの運営団体と連携し、施設の利用促進を図り、郡山地域の活性化を図るため、八重の里を運営	グリーン・ツーリズム施設管理事業(八重の里)	
	○都市と農村の交流及び、喜入地域の観光振興を図るため、観光農業公園を管理運営(3年度) ○喜入地域の活性化を図るため、観光農業公園に地域おこし協力隊員を配置し、地域と連携したイベント企画等を実施	(再)観光農業公園管理運営事業	
	○松元地域の活性化を図るため、都市農村交流センターお茶の里において、地域の関係団体等と連携し、季節に応じたイベントを実施	都市農村交流センターお茶の里管理運営事業	
	○動物の知識を広め親しみを深めることにより、自然環境への意識高揚を図るとともに、市民の健全な余暇の活用に供し、あわせて本市の観光の振興を図るため、平川動物公園を管理運営	平川動物公園管理運営事業	
	○指定管理者と連携し、本市の観光振興に取り組むため、指定管理者と協定を締結し、国民宿舎レインボー桜島を運営	国民宿舎レインボー桜島管理運営事業	
	○本市の観光振興に取り組むため、観光施設の維持管理を実施	観光施設維持管理事業	
○伊敷地域はもとよりその周辺地域にある温泉施設などの様々な施設の利用促進に相乗効果をもたらす、地域の活性化を図るため、パークゴルフ場を管理運営	パークゴルフ場管理運営事業		

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>既存集落の過疎化対策に取り組みます。</p> <p>72 主に市街化調整区域など人口減少、過疎化が進行する既存集落において、交流人口の増大など集落の維持に向けた取り組みを行います。</p>	○市民の健康の増進及び交流の促進を図るため、マリリンピア喜入を管理運営	マリリンピア喜入管理運営事業	○
	○企業版ふるさと納税を活用して、喜入地域の新たな拠点施設となる鹿児島ユナイテッドF C Tレーニング施設の整備を支援 ・グラウンド部分が完成、利用開始（3年10月）	（再）鹿児島ユナイテッドF C Tレーニング施設整備等支援事業	
	○無償で用地貸付を行い、喜入地域の新たな拠点施設となる鹿児島ユナイテッドF C Tレーニング施設の整備を支援	（再）鹿児島ユナイテッドF C Tレーニング施設用地貸付	
	○市民の健康の増進及び交流の促進を図るため、スパランド裸・楽・良を管理運営	スパランド裸・楽・良管理運営事業	
	○指定管理者と連携を図り、市民の方々が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しみながら交流することができるように努め、地域の活性化を図るため、ふれあいスポーツランドを運営	ふれあいスポーツランドの運営	
	○指定管理者と連携を図り、市民の方々が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しみながら交流することができるように努め、地域の活性化を図るため、かごしま健康の森公園を運営	かごしま健康の森公園の運営	
	○委託業者と連携を図り、市民の方々が恵まれた自然環境の中で、レクリエーションなどを楽しみながら交流することができるように努め、地域の活性化を図るため、八重山公園を運営	八重山公園の運営	
	<p>（3年度）</p> <p>○市街化調整区域の集落核では、県が災害レッドゾーンを一部設定し、分譲住宅の開発行為等が原則禁止となったため対応策を検討</p> <p>（4年度）</p> <p>○市街化調整区域の集落核では、生活利便施設の誘導策について検討</p> <p>（5年度）</p> <p>○市街化調整区域の集落核において、生活利便施設の立地基準を緩和する見直し（予定）</p>	コンパクトな市街地形成促進事業	
	○定期的な講座の開設やイベントの開催により、市民の学習機会や交流の場を提供 ○秋まつりイベントを実施（3年11月、4年11月、5年11月（予定））	かごしま文化工芸村の運営	
	○鹿児島市内で出土した埋蔵文化財の展示 ○特別企画展を含め年4回の企画展を開催 ○土器づくり、勾玉づくりなど古代体験学習 ○ビデオ上映会 など	ふるさと考古歴史館管理運営事業	
	（4年度） ○火の島めぐみ館の利用促進を図り、アフターコロナを見据えた施設環境を整えるため、W i - F i を整備	火の島めぐみ館公衆無線L A N 整備事業	
	（4年度） ○桜島溶岩なぎさ公園周辺の雄大な桜島と錦江湾を同時に望めるロケーションの良さを生かしたにぎわいを創出するため、実証実験を実施	桜島溶岩なぎさ公園周辺にぎわい創出実証実験事業	
	○観光客の誘致及び滞在型観光の振興を図るため、世界有数の活火山「桜島」で行うという特性を生かし、観光鹿児島を県内外へ発信するイベントを開催 （3年度）新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止 （4年度）7月30日開催を10月1日に延期して開催	桜島火の島祭り開催事業	
	○松元平野岡体育館の特定天井の改修工事を実施（3年11月から4年2月末まで）	松元平野岡体育館運営事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>73 計画的なインフラ補修</p> <p>道路、橋りょう、トンネルなどインフラの補修に今後かかる費用の正確な試算を行うとともに、長寿命化などの対応を計画的に行い、市民生活の基幹となるインフラが保てるよう努めます。</p>	<p>(5年度)</p> <p>○道路照明灯の全数調査を行い、道路照明灯のデータベースを構築する(6年3月予定)</p> <p>○LED化に向けた基礎資料の作成</p>	道路照明灯LED化事業	○
	<p>○調整池等の能力・健全度を調査し、劣化状況等に応じた改良を実施</p>	調整池等整備事業	
	<p>○新たな施設の整備や既存施設の改修を行い、公園の機能性・利便性・安全性の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小野公園ほか5公園の施設の整備や改修工事を実施(4年度) ・甲突川右岸緑地ほか2公園の施設の整備や改修工事を実施(5年度) 	都市公園施設改修事業	
	<p>(5年度)</p> <p>○南鹿児島駅前付近の測量調査業務(予定)</p>	専用軌道土留擁壁等改良事業	
	<p>○ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した雨水管きよの改築を実施</p> <p>○雨水管きよ及び雨水ポンプ場の修繕・改築計画を策定(予定)</p>	雨水施設ストックマネジメント事業	
	<p>○牟礼岡団地地域下水道ポンプ施設、松陽台地域下水道汚水処理施設の適正な維持管理により、生活排水を衛生的に処理し、生活環境の保全を実施</p>	鹿児島市地域下水道事業	
	<p>○生産基盤施設や生活環境施設の総合的な整備の実施</p>	(再)土地改良事業(農業生産基盤の整備)	
	<p>○公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かに座公園ほか14公園(3年度)、折尾公園ほか8公園(4年度)、清滝公園ほか8公園(5年度)の遊具等改築工事を実施 ・鹿児島ふれあいスポーツランドの園路改修工事を実施(3年度～) <p>○公園施設のバリアフリー化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皇徳寺しいの木公園(3年度)、射場前公園ほか1公園(4年度)、武岡ハイランド第五公園(5年度)のトイレの建替え工事を実施 ・甲突川右岸緑地の園路改修工事を実施(4年度) 	都市公園安心安全対策推進事業	
	<p>○公園施設(橋梁)長寿命化計画に基づく公園内橋梁の補修工事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1号歩道橋(皇徳寺西公園)の調査・補修設計(3年度)及び補修工事(4年度)を実施 ・6号歩道橋ほか10橋の定期点検を実施(4年度) ・6号歩道橋(皇徳寺ブルーベリー公園)の調査・補修設計(5年度)を実施 	公園施設(橋梁)長寿命化事業	
	<p>(3年度)</p> <p>○長寿命化計画に基づき、対策が必要となった施設について、施設の修繕等の設計を実施(3年度～)</p> <p>○設計に基づき修繕工事を実施中</p>	急傾斜地崩壊対策事業	
<p>(3年度～)</p> <p>○港湾施設の長寿命化計画更新を実施中</p> <p>(4年度～)</p> <p>○長寿命化計画に基づき、対策が必要となった施設について、補修工事を実施中</p>	港湾の施設維持費		

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>73 計画的なインフラ補修</p> <p>道路、橋りょう、トンネルなどインフラの補修に今後かかる費用の正確な試算を行うとともに、長寿命化などの対応を計画的に行い、市民生活の基幹となるインフラが保てるよう努めます。</p>	<p>(3年度～)</p> <p>○磯海岸の保全のため、浜砂の補充を実施</p> <p>(4年度)</p> <p>○磯地区海岸保全施設の長寿命化計画を策定</p> <p>(5年度)</p> <p>○長寿命化計画に基づき、対策が必要となった施設について、補修工事を実施中</p>	磯海岸管理経費	○
	<p>(3年度～)</p> <p>○準用河川の改修工事等を実施中</p> <p>(4年度～)</p> <p>○準用河川の長寿命化計画を策定中</p>	準用河川改修事業	
	<p>(3年度～)</p> <p>○普通河川等の改良工事等を実施中</p>	水路等新設改良事業	
	<p>○道路ストック（トンネル、横断歩道橋、門型標識、道路舗装）の長寿命化修繕計画、維持管理計画及び、定期点検（5年に1回）結果に基づき修繕を実施</p> <p>○4年3月に舗装維持管理計画を変更</p>	道路ストック修繕事業	
	<p>○橋りょう長寿命化修繕計画及び、定期点検（5年に1回）結果に基づき修繕を実施</p> <p>○2年3月に橋りょう長寿命化修繕計画を変更</p>	橋りょう長寿命化事業	
	<p>(4年度)</p> <p>○補助金採択協議、道路管理者協議</p> <p>(5年度)</p> <p>○騎射場交差点の測量調査設計業務（予定）</p>	併用軌道交差点改良事業	
	<p>○併用軌道の横断歩道の舗装改修</p> <p>(4年度)</p> <p>○いづろ交差点、いづろ中央交差点（～5年度）</p> <p>(5年度)</p> <p>○市役所前交差点、朝日通り交差点（予定）</p>	併用軌道横断歩道舗装改修事業	
	<p>(4年度)</p> <p>○河頭浄水場の甲系統の浄水施設を更新するため、用地購入等を実施</p> <p>(5年度)</p> <p>○PPP/PFI導入可能性調査等</p>	河頭浄水場（甲系統の浄水施設）更新事業	
	<p>○河頭浄水場等の老朽化した機械電気設備の更新を実施</p>	水道施設更新事業	
	<p>○水道管路更新計画に基づき、老朽化した配水管の布設替えを実施</p>	水道管路更新事業	
	<p>(3年度)</p> <p>○ICTを活用した新システムを整備するための実施設計</p> <p>(4～7年度)</p> <p>○ICTを活用した監視制御設備の整備</p>	場外系監視制御設備整備事業	
	<p>(4年度)</p> <p>○野頭配水池ほか3施設の改良を実施</p> <p>(5年度)</p> <p>○影原水源地ほか5施設の改良を実施</p>	水道施設長寿命化事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>73 計画的なインフラ補修</p> <p>道路、橋りょう、トンネルなどインフラの補修に今後かかる費用の正確な試算を行うとともに、長寿命化などの対応を計画的に行い、市民生活の基幹となるインフラが保てるよう努めます。</p>	○ストックマネジメント計画に基づき、南部処理場ほか処理施設の老朽化した機械電気設備の改築を実施	処理施設ストックマネジメント事業	○
	○南部処理場ほか処理施設の老朽化した機械電気設備等の改築を実施	処理施設改良事業	
	○ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した污水管路施設の改築を実施	污水管路施設ストックマネジメント事業	
	○老朽化した污水管路施設の改築等を実施	污水管路施設改良事業	
	○施設の長寿命化とライフサイクルコストの縮減・平準化を図るため、予防保全型の維持管理を徹底し、計画的な整備・更新を実施	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業	
9 現在そして将来の課題に今から対応できる鹿児島をつくる。			
<p>74 動物殺処分ゼロを目指します。</p> <p>殺処分ゼロの実現に向けて、飼い主への終生飼養の啓発など、まず収容数の減少に向けた取り組みを進めます。</p>	<p>○収容数及び自然死を除く殺処分数実績 収容数：犬75頭、猫618頭（3年度） 犬72頭、猫378頭（4年度） 犬25頭、猫189頭（5年度（8月末現在）） 自然死を除く殺処分数：犬0頭、猫0頭（3年度） 犬0頭、猫0頭（4年度） 犬0頭、猫0頭（5年度（8月末現在））</p> <p>○犬猫の飼養者等に対する適正飼養の啓発</p> <p>○地域猫活動等における不妊去勢手術費用の助成及び活動団体に対する補助 実施頭数：地域猫256頭、観光地猫245頭（3年度） 地域猫264頭、観光地猫257頭（4年度） 地域猫 73頭、観光地猫 93頭（5年度（8月末現在））</p> <p>○（公財）どうぶつ基金のさくらねこ無料不妊手術事業を活用した不妊去勢手術の実施（3～4年度）</p> <p>○ミルクボランティアへ幼齢猫を譲渡 登録ボランティア数：10件（3年度）、15件（4年度） 譲渡数：73頭（3年度）、68頭（4年度）</p> <p>○飼養資材の提供（提供数は譲渡数と同じ）（5年度）</p> <p>○動物愛護サポーター登録制度の導入 登録状況：犬猫の一時預かり21名、TNR 8名、運搬 2名（5年度（8月末現在）） 活動実績：犬猫の一時預かり48頭、TNR62頭、運搬25頭（5年度（8月末現在））</p>	犬猫等の飼養者啓発事業	○
	<p>75 同性パートナーシップ</p> <p>速やかに同性パートナーシップ宣誓制度を導入するとともに、生活上必要な効果が得られるよう、市の制度改正に加え民間事業者等へも啓発や協力要請を行います。</p>	<p>（3年度～）</p> <p>○性の多様性理解促進のためのパンフレット作成、配布（4年度）</p> <p>○性の多様性理解促進のための企業向け講演会</p>	性の多様性啓発支援事業
○鹿児島市パートナーシップ宣誓制度を導入（運用開始：4年1月～） 制度利用者：（3年度）10組、（4年度）8組、（5年度）2組（8月末現在）		パートナーシップ宣誓制度の運用	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>76 <u>合併地域の均衡ある発展に向けた取り組み</u></p> <p>吉田・桜島・喜入・松元・郡山の各地域について、地域の発展に資する事業を行うため、各支所で使い道を定められる事業予算枠（地域振興事業・仮称）を創設します。</p>	<p>（4年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各地域において、地域の資源や特性などを生かした個性豊かな地域づくりに向けた計画「地域と共に創るまちづくりプラン」を策定（5年3月策定） ○計画策定に向けた地域団体等の意見聴取の場として、各地域に地域懇話会を設置 ○計画策定や5年度以降の事業実施を支援するため、地域づくり推進課に地域活性化アドバイザーを設置（民間企業からの派遣。6月委嘱） <p>（5年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プランに基づく事業の実施 ○プランの進捗管理や事業実施に対する意見聴取の場として、各地域に地域懇話会を設置 ○地域活性化アドバイザーの増員（6月委嘱） 	地域の魅力・活力共創事業	○
<p>77 <u>様々な状況に合わせた、避難所の質の確保</u></p> <p>災害時の避難所について、高齢者や障害者、乳幼児等の要支援者やペット同行避難など、避難者それぞれの状況に合わせた質の確保・向上に取り組めます。</p>	<p>（5年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定避難所となっている地域福祉館にWi-Fi整備を実施 <p>○物資の安全性確保を図るため、備蓄物資の数量点検や目視確認などを行うほか、使用期限のある物資については入替を実施</p> <p>○大規模災害時のし尿処理対策の一環として、マンホールトイレを2年度から桜島爆発避難場所12箇所を対象に整備実施 整備対象箇所：長田中など5箇所の避難所（3年度末） 甲東中など3箇所の避難所（4年度） 玉龍高など4箇所の避難所（5年度（予定））</p> <p>（毎年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難所運営マニュアルを防災訓練や市政出前トーク等で周知 <p>（3年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難所開設時の小中学校等における空調利用について、各関係機関と調整済 <p>（4年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鹿児島県助産師会と災害時における福祉避難所等の人的支援に関する協力協定を締結 ○新たに災害時食糧等物資として特定原材料28品目不使用の非常用携行食（アレルギー対応米粉クッキー）を備蓄 <p>（5年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新たに災害時食糧等物資として液体ミルク、アレルギー対応ミルクを備蓄 ○新たに災害時食糧等物資として特定原材料28品目不使用のアレルギー対応保存用パンを備蓄 <p>○保全計画に基づくなど、老朽化や破損の著しい施設設備の改修等を実施</p> <p>○様々な状況に合わせた地域公民館の多用途性の充実を図るため、老朽化した施設の改修等を実施</p> <p>（5年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定避難所となっている地域公民館にWi-Fi整備を実施 	<p>地域福祉館Wi-Fi設置事業</p> <p>防災資機材等備蓄事業</p> <p>マンホールトイレ整備事業</p> <p>災害救助に要する経費 災害時食糧等物資備蓄事業</p> <p>地域福祉館施設整備事業 地域福祉館保全整備事業</p> <p>（再）地域公民館整備事業</p>	○
<p>78 <u>学校のトイレ洋式化</u></p> <p>児童・生徒の利便性向上や避難所開設時の機能向上のため、市立学校のトイレ洋式化を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽化が進行しているトイレの改修工事を実施 ○市立学校の洋式化率：58.2%（3年度末）、65.2%（4年度末）、71.5%（5年度末（予定）） 	学校トイレ洋式化事業	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>79 <u>新たな総合体育館に関する連携・協力</u></p> <p>県が予定している新たな総合体育館については、県と緊密な連携をとりながら、都市計画・地区計画の改定や周辺道路の整備など、必要な環境整備・協力を行います。</p>	<p>(3年度) ○2年11月に県が設置した基本構想策定委員会において、3年度内の基本構想策定に向け、施設の機能や規模、構成等について検討が行われ、検討状況等について県と情報共有</p> <p>(4年度) ○4年1月に設置された県市連絡会を通じて、県と意見交換・情報共有 ○3年度末に県が策定したスポーツ・コンベンションセンター基本構想を受け、県に対し、スタジアムとの一体的整備の可能性について検討を依頼</p> <p>(5年度) ○県市連絡会を通じて、県と意見交換・情報共有 ○スタジアム候補地の整理</p>	<p>スポーツ・コンベンションセンターに関する連携・協力</p>	<p>□</p>
<p>80 <u>地籍調査を強力に推進します。</u></p> <p>災害復旧・防止など必要な公共事業を円滑に実施する等のため、地籍調査を強力に推進します。</p>	<p>○国土調査法に基づき、一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界の測量と面積の測定を行い、地籍図・地籍簿を作成 ○4年度は紫原団地を、5年度は紫原団地及び桜ヶ丘団地の地籍調査を実施 ○進捗率：49.3% (3年度末)、49.5% (4年度末)、49.6% (5年度末 (予定))</p>	<p>地籍調査事業</p>	<p>○</p>
<p>81 <u>団地再生を推進します。</u></p> <p>高齢者の生活に必要な施設の誘導・整備や、若年層への住み替えの促進、地域交通の確保など、今後居住者の高齢化が予想される団地において、暮らしやすい環境を保てるよう、団地再生を推進します。</p>	<p>○第二次鹿児島市公共交通ビジョン（4年3月策定）の推進</p> <p>○中心市街地、団地核の活性化を図るため、本市主催の創業セミナー等の修了者が空き店舗を活用して新規開業する場合の店舗整備に対し助成（4年度～） ○対象エリアに、都市機能誘導区域の団地核を追加 助成件数：1件（4年度）、3件（5年度（8月末現在））</p> <p>○3年3月にかごしま団地みらい創造プランを策定（3年度～） ○プランの周知や意識啓発を図るため、対象団地の地域住民等との意見交換を実施 ○まちづくり活動を促進するため、まちづくり活動に取り組む住民グループの打合せ等に職員や専門家が適宜参加して助言等を実施 ○新たな人材発掘・育成を図るため、実践セミナーを開催（4年度）3月（5年度）3月（予定） ○希望する地域に対してワークショップの運営支援を実施</p>	<p>（再）公共交通ビジョン推進事業</p> <p>創業者テナントマッチング事業</p>	<p>○</p> <p>○</p>
<p>82 <u>洪水ハザードマップの整備</u></p> <p>県とも連携し、洪水ハザードマップの整備を進めます。</p>	<p>(3年度) ○新たに土砂災害特別警戒区域等が指定されたことなどを踏まえ、避難所周辺ハザードマップや河川ハザードマップ等を更新</p> <p>(4年度～) ○新たに洪水浸水想定区域が指定されたことなどを踏まえ、防災リーフレットの全戸配布やハザードマップ等を更新（6月）</p> <p>○想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、土砂災害特別警戒区域等や避難情報のポイントなどを掲載した防災ガイドマップを作成し全戸配布を実施（3年6月）</p>	<p>災害時避難行動力向上事業</p> <p>鹿児島市防災ガイドマップ作成・配布事業</p>	<p>○</p>

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p><u>公文書管理条例を制定します。</u></p> <p>83 公文書管理条例を制定し、公文書の適正な管理を行うとともに、政策過程を後から検証できる仕組みを整備します。</p>	<p>○3年7月から8月にパブリックコメントを実施 ○3年第4回定例会へ議案提出 ○3年12月に条例公布、4年4月1日に施行</p>	公文書管理事業	○
<p><u>男女共同参画を推進します。</u></p> <p>84 女性職員の登用拡大に向けて、積極的な育成や相談体制など必要な環境の整備に取り組みます。また審議会等の女性委員比率も高める取り組みを行います。</p>	<p>○男女共同参画センター運営委員会の開催 （3年度）8月、3月 （4年度）7月、2月 （5年度）7月、2月（予定） ○男女共同参画に関する講座・イベントの開催（通年）</p>	男女共同参画センター運営事業	○
	<p>○経営者・管理職の意識改革プログラムを実施 （3年度）10月 （4年度）10月 （5年度）11月（予定） ○働く女性のための応援プログラムを実施 （3年度）11月 （4年度）11月 ○働く女性のための活躍推進プログラムを実施 （5年度）9月（5年度） ○働く女性等を対象としたセミナーを再編し、対象者を拡大して開催</p>	女性活躍推進事業	
	<p>○「女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」に基づき、取組の実施状況、数値目標の達成状況の点検、評価を実施 ○女性職員を対象とする研修や女性先輩職員の体験談の紹介を実施 （3年度）9月、11月 （4年度）9月、11月 （5年度）9月、11月（予定）</p>	女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画 職員研修事業	
	<p>○男女共同参画審議会の実施 （3年度）7月、11月、2月 （4年度）8月 （5年度）8月 ○関係機関相談員研修会の開催 （3年度）5月 （4年度）5月 （5年度）5月 ○第3次鹿児島市男女共同参画計画の策定（4年3月）</p>	男女共同参画計画推進事業	
	<p>○DV防止対策委員会の開催 （3年度）6月、11月、2月 （4年度）5月、11月、2月 （5年度）5月、11月（予定）、2月（予定） ○DV防止庁内連絡会議の開催 （3年度）5月、1月 （4年度）5月、1月 （5年度）5月、1月（予定） ○デートDV講演会の実施 （3年度）7～2月 （4年度）6～2月 （5年度）6～3月（予定）</p>	DV対策基本計画推進事業	
	<p>○職業生活における女性の活躍を推進するため女性活躍アドバイザーを配置し、市長等との意見交換や企業等での研修講師として派遣 ・市長等との意見交換 （3年度）8月 （4年度）7月、8月 （5年度）7月、8月 ・男女共同参画審議会での意見交換 （3年度）7月 （4年度）8月 （5年度）8月 ・企業等での研修講師としての派遣 （3年度）3回 （4年度）9回 （5年度）0回（8月末現在）</p>	女性活躍アドバイザー配置事業	
	<p>○男女共同参画誌「すてっぷ」の発行 （3年度）秋号：9月、春号：2月 （4年度）秋号：9月、春号：2月 （5年度）秋号：9月、春号：2月（予定）</p>	男女共同参画情報誌の発行	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>85 <u>防災会議の機能をより高め、市民の生命と財産を守ります。</u> 火山防災、原子力防災を含め、想定される様々な災害に対応するため、防災会議に各分野の専門家を積極的に招聘します。また避難訓練等で得られた知見をたえず活用し、より市民の生命と財産を守ることのできる体制づくりを進めます。</p>	<p>(5年度) ○平成5年の8・6豪雨災害から30年を迎えるに当たり、その教訓を後世に伝えるとともに、市民の防災意識の高揚を図るため、シンポジウムの開催等を行う</p>	8・6豪雨災害30年関連事業	○
	<p>(5年度) ○桜島の火山防災対策の実効性をさらに高めるため、広域避難を中心とした先進事例の調査等により、本市として優先して検討すべき課題を明らかにし、必要な対応等について整理する</p>	桜島火山防災対策調査事業	
	<p>(3年度～) ○大規模噴火時における市街地側の大量軽石火山灰対策の周知を図るためのリーフレットを作成・活用し、市政出前トーク等にて引き続き周知 ○火山災害に備えるため、島外・島内避難計画の修正内容を踏まえ桜島火山ハザードマップを改訂、配布(4年3月)</p>	桜島大規模噴火対策事業	
	<p>(5年度) ○火山災害に備えるため、避難港名称変更等の修正内容を踏まえ桜島火山ハザードマップを改訂、配布(5年7月)</p>		
	<p>○本市の防災に関する重要事項を審議する防災会議の機能をより高めるため、委員に各分野の専門家を委嘱(3年6月)</p>	防災会議運営事業	
	<p>○火山防災トップシティの推進を図るため、火山防災アドバイザーによる助言に基づく取組を行うほか、火山防災に関する会議に参加</p>	火山防災トップシティ推進事業	
	<p>○防災専門アドバイザーを設置し、土砂災害、洪水、地震、津波及び原子力災害に係る防災対応に関する専門的視点からの意見を聴取 (3年度) ○防災専門アドバイザーによる指定緊急避難場所見直しに係る図面確認・現地調査、啓発資料の内容確認、がけ地の現地確認等を実施</p>	防災専門アドバイザー事業	
	<p>○災害対応能力の向上を図り、災害応急対策が迅速・的確に行われるよう、各機関の役割の確認、連携強化などの図上訓練を実施 ○地域防災計画に基づき、訓練や研修等を実施</p>	各対策部向け図上訓練実施事業 原子力災害対策事業	
<p>86 <u>土地区画整理事業の推進</u> 田上地区での実施に向けて検討を進めます。また現在進行中の事業を着実に進めます。</p>	<p>○関係機関(県道管理者及び河川管理者など)との協議を実施 (3年1月・8月、4年1月・5月・10月、5年3月・6月)</p>		○
	<p>(3～4年度) ○田上小学校周辺の土地区画整理事業に係る調査・検討を行い、地域の課題等の整理に取り組んだ (5年度) ○基本構想の作成など、面的整備の可能性を探るまちづくり基本調査に取り組んでいる</p>	田上小学校周辺面的整備調査検討事業	
	<p>○国・県の各種制度を積極的に活用することにより、優良な財源の確保に努め、事業の早期完了に向けて取り組んでいる ○谷山第二地区土地区画整理事業の換地処分公告(3年10月)</p>	土地区画整理事業の推進	
	<p>○吉野第二地区土地区画整理事業に伴う稲荷川雨水貯留施設整備工事を実施</p>	雨水貯留施設整備事業	

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p><u>多文化共生社会の構築</u></p> <p>87 今後さらなる国際化が進み、外国人人材の活躍する新たな時代が到来します。多文化共生社会の構築に向けて取り組めます。</p>	<p>(4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鹿児島市多文化共生推進庁内連絡会を設置(4月) ○国際交流センターに外国人相談デスクを開設(7月1日) ※テレビ電話通訳システムを活用した多言語対応(16言語) ○多文化共生職員研修会を実施(8月) ○多文化共生推進指針を策定(5年3月) ○市ホームページの自動翻訳を運用(英語、中国語(簡・繁)、韓国語、ベトナム語) <p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多文化共生講演会を実施(12月予定) ○多文化共生職員研修会を実施(12月予定) ○生活情報ポータルアプリ「KagoTips」の運用 	多文化共生推進事業	○
	<ul style="list-style-type: none"> ○国際交流アドバイザーを出前トーク等に派遣し、国際交流や多文化共生に関する講座を実施 	国際交流アドバイザー配置事業	
	<ul style="list-style-type: none"> ○国際交流センターにおいて異文化体験講座や日本語支援教室等の各種事業を実施 	国際交流センター管理運営事業	
	<p>(4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ収束後の技能実習生や留学生等の増加を見据えて、アジアなどからの外国人住民の日常生活に必要な情報を提供するスマートフォン向けアプリケーションを開発 <p>(5年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 多文化共生推進事業内で生活情報ポータルアプリ「KagoTips」として運用 	“For Asians”暮らし便利アプリ開発事業	
<p><u>投票率向上に取り組めます</u></p> <p>88 若年層向けの効果的なPRや、共通投票所、利用しやすい投票所の拡充などの環境整備を行うなど、投票率向上に向け取り組めます。</p>	<p>(3年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市ホームページに自動翻訳を導入(英語、中国語(簡・繁)、韓国語、ベトナム語) <p>運用開始：3年6月～</p>	市ホームページ自動翻訳導入事業	
	<ul style="list-style-type: none"> ○将来の有権者への主権者教育の一環として出前授業を実施 <ul style="list-style-type: none"> (4年度) 小学校24校、中学校6校、高校2校、特別支援学校2校 (5年度) 小学校21校、中学校1校、高校1校 (9月以降に小学校3校・中学校6校・高校2校・支援学校2校で実施予定) ○若い世代の政治や選挙への関心を高めることを目的とした「選挙コンシェルジュ鹿児島」のミーティングや「若者と政治や選挙を語る会」を実施 <ul style="list-style-type: none"> (5年度) 台風の影響で「若者と政治や選挙を語る会」は中止、9月に宮崎市の選挙啓発グループと意見交換会を予定 ○共通投票所については、導入都市の状況等を調査するとともに、国の動向も踏まえながら検討を進める ○各選挙期間中、選挙コンシェルジュが若者への投票呼びかけとして、公式エックスへ定期的にメッセージや写真を投稿 <p>(4年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出前授業で使用する模擬投票演説動画の作成 	投票率向上推進事業	□

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
10 新しい時代。民間のチカラを活かし、“これから”の鹿児島市政をつくる。			
<p>89 <u>データに基づく政策立案（EBPM）を推進します</u></p> <p>今後急速に進む少子高齢化・人口減少・扶助費の増大に対応するには、データに基づき成果志向型の、根拠ある緻密な政策が求められます。市役所全体にEBPMの考えが浸透するよう取り組みます。</p>	<p>（3年度） ○EBPM研修会を開催（9月3日） ○市町村アカデミーへの派遣「事業推進のためのデータ活用」（12月6～10日） （4年度） ○EBPM推進に資する人材育成のため、政策研究大学院大学（1年間）、滋賀大学大学院（R4～R5の2年間）へ職員各1名を派遣（4月～） （5年度） ○EBPM推進に資する人材育成のため、政策研究大学院大学（1年間）、滋賀大学大学院（R4～R5の2年間）へ職員各1名を派遣（4月～）</p> <p>（4年度） ○政策推進課職員による職員研修 ○外部講師による職員研修 ○市町村アカデミーへの職員派遣 ○各課で保有している各種データのカタログ化・庁内共有 （5年度） ○外部講師による職員研修（第1回 5～8月、第2回 6年1～2月予定） ○滋賀大学大学院生による職員研修 ○市町村アカデミーへの職員派遣（6年2～3月予定）</p>	<p>・EBPM研修事業 ・赴任経費</p> <p>EBPM推進事業</p>	○
<p>90 <u>事業の見直しを進めます</u></p> <p>今後急速に進む少子高齢化・人口減少に根本的に対処するには、既存事業の見直し、効率化を常に行っていく必要があります。公平な見直しが進むよう、EBPM推進と合わせ取り組みます。</p>	<p>（3年度） ○本市の総合計画の効率的かつ計画的な推進に資するとともに、市民の視点に立った成果重視型の行財政運営の実現を図るため、行政評価へのEBPM導入について試行的に実施 （4年度） ○EBPM（ロジックモデル）を活用した行政評価を実施（対象：11事業） （5年度） ○行政評価（事業点検）を実施（対象：約800事業） ○EBPM（ロジックモデル）を活用した行政評価（外部評価）を実施（対象：3事業）</p>	<p>（再）行政評価推進事業</p>	○
<p>91 <u>政策評価を充実させます。</u></p> <p>より広い分野の施策・事業を対象とした政策評価を行います。また内容についても「いくら使ったか」「何をしたか」ではなく「市民に対しどのような効果・成果があったか」という観点から充実を図ります。</p>	<p>（3年度） ○本市の総合計画の効率的かつ計画的な推進に資するとともに、市民の視点に立った成果重視型の行財政運営の実現を図るため、行政評価へのEBPM導入について試行的に実施 （4年度） ○EBPM（ロジックモデル）を活用した行政評価を実施（対象：11事業） （5年度） ○行政評価（事業点検）を実施（対象：約800事業） ○EBPM（ロジックモデル）を活用した行政評価（外部評価）を実施（対象：3事業）</p>	<p>行政評価推進事業</p>	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p><u>公契約の適正化を進めます。</u></p> <p>92 市が発注を行う際には実際に仕事・作業に当たる方の賃金水準が確保されることに留意し、「官製ワーキングプア」が起こらないようにします。</p>	<p>○最低制限価格制度の実施 ○労働集約的業務受注業者の労働環境に係る調査票提出（契約時・履行完了時） ○建築物の清掃業務登録業者の労働保険料・社会保険料納付状況確認（4年度～） ○印刷業務の最低制限価格設定対象金額の引き下げの試行的な実施 ○業務委託契約の最低制限価格を予定価格の10分の6以上から10分の7以上へ引上げ</p>	公契約の適正化	○
<p><u>民間との公平な競争環境</u></p> <p>93 外郭団体への随意契約をなるべく見直し、行う場合には理由を公開する仕組みにします。</p>	<p>○公募しない理由（特定指定とする理由）について、3年度以降、選定を行った施設から、市ホームページで順次公開（4年1月～）</p>	指定管理者制度の効果的な運用	○
<p><u>ふるさと納税を集める取り組みを進めます。</u></p> <p>94 各地の県人会、同窓会などにも協力をお願いし、鹿児島市出身者、学校出身者、在住経験者向けに積極的に働きかけを行うとともに、用途をより具体的に指定できるようにすることで、もっとふるさと納税を集める取り組みを進めます。</p>	<p>（5年度） ○ふるさと納税を推進するため、企画部に「ふるさと納税推進室」を設置</p>	ふるさと納税推進室の設置	
	<p>○ふるさと納税の推進を図るため、ポータルサイトでのPR等を行うとともに、寄附者へ本市の魅力ある特産品等を返礼品として送付 ○返礼品のリニューアルを実施（3年7月、4年7月） （5年度） ○民間の専門的な知見を有するマーケティングプロデューサーを配置（5年10月委嘱） ○魅力的な返礼品の充実（R5.4月 約740品→R5.8月 約880品） ○民間ポータルサイトの追加（ポータルサイト数 R5.4月 4→R5.8月 9） ○企業版ふるさと納税のマッチング支援の強化</p>	ふるさと納税推進事業	
	<p>○首都圏における本市ゆかりの方や本市に関心のある方等のふるさと納税の納税者を増やすとともに、本市の魅力発信及び地域経済の活性化にもつなげるため、より効果的なPRを実施 （3年度）43件／5,952,500円（東京事務所によるPR分） （4年度）91件／6,518,000円（東京事務所によるPR分） （5年度）35件／4,331,000円（東京事務所によるPR分）（8月末時点）</p>	「首都圏における「ふるさと納税」推進事業	○
	<p>（3年度～） ○市立3高等学校（鹿児島玉龍、鹿児島商業、鹿児島女子）を対象に学校を指定した寄附募集を実施 ○学校毎の寄附金については、毎年度基金へ積立てを行い、各学校の特色ある取組の事業費に相当する寄附金額が集まった段階で事業を予算化し、その財源として寄附金を活用予定</p>	（再）母校応援ふるさと寄附金事業	
<p>（3年度） ○アフターコロナを見据えた首都圏におけるシティプロモーション関係事業の財源とするため、首都圏の市政関係者を中心に返礼品無しの寄附を募集 ・個人 45件／867,500円 ・企業 4件／1,500,000円</p>	あつまれ鹿児島ファンディング！鹿児島市ふるさと寄附金事業		

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>95 <u>ネーミングライツ等の積極的活用</u></p> <p>市立施設や公園、道路や橋などのインフラ等の適正な維持管理を図るため、施設の性質に合わせてネーミングライツやスポンサー制度を積極的に活用します。</p>	<p>○市有施設においてネーミングライツを活用（8施設で導入済み） （3年度） ○8件14施設で提案型によるネーミングライツの募集 （4年度） ○2件2施設で募集型によるネーミングライツの募集 （5年度） ○3件9施設を提案型によるネーミングライツの募集に追加</p> <p>（4年度～） ○電車停留場においてネーミングライツを活用（2電停で導入済み）</p>	<p>ネーミングライツ導入事業</p> <p>電停ネーミングライツ導入事業</p>	○
<p>96 <u>市政の情報公開を進めます。</u></p> <p>市政上の様々な施策・事業に関する情報や、市が保有する統計データ等をインターネット上で公開します。また公開期間も延長し、以前の情報も長く掲載する仕組みにします。</p>	<p>（5年度） ○市民の利便性向上のため、準用河川の位置情報を本市ホームページの「かごしま i マップ」で公表（5年4月～）</p> <p>（4年度） ○「かごしま i マップ」で市民や業者からの問い合わせが多い道路幅員に関する情報（本庁・谷山管轄分のみ）を公表（10月） （5年度） ○「かごしま i マップ」で市民や業者からの問い合わせが多い道路幅員に関する情報（吉田・郡山・松元・喜入・桜島）を公表（5年度末（予定））</p> <p>（3年度～） ○市ホームページのデータを管理するWEBサーバーを増設 ○日本語版音声読み上げ機能に「貼付ファイルの読み上げ機能」を追加したほか、職員への教育・研修を実施 ○ページ作成時のアクセシビリティチェック機能を強化するとともに、色覚障害のタイプに応じたプレビュー機能を実装</p> <p>○地図データを使って公共施設を防災等の情報をインターネット上で提供する「かごしま i マップ」を運用</p> <p>○オープンデータとして公開しているデータ項目数を拡充するとともに、市民のひろば等での周知広報を実施 公開データ数：77件（3年度）、81件（4年度）、83件（5年度（9月末現在））</p> <p>（4年度） ○トップページを、使いやすく誘導力のある構成と、本市の魅力をアピールできるデザインに変更 ○スマートフォンでも見やすいレイアウトに変更 ○高校生以下の子どもを対象に、悩み相談窓口や学習・教育に関する情報などをわかりやすく伝える子ども向けコーナーを設置</p>	<p>公共施設占用実態調査事業</p> <p>道路台帳デジタル化事業</p> <p>鹿児島市ホームページ運営事業</p> <p>統合型GIS運営事業</p> <p>オープンデータ推進事業</p> <p>市ホームページ魅力アップ事業</p>	○

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>97 <u>市民の声を聞く機会を増やします。</u></p> <p>市民の声を聞く機会を増やします。</p> <p>97 市政の施策に関するアンケート調査「まちかどコメンテーター」をもっと積極的に活用し、調査回数・項目の増加など、市民の声を聞く機会を増やします。</p>	<p>○まちかどコメンテーター (3年度) おおむね200名から300名に増員 (4年度) おおむね300名から350名に増員 (5年度) おおむね350名から400名に増員</p> <p>○アンケート回数 (3年度) 6回(13テーマ)実施 ※3回(7テーマ)程度から増やして実施 (4年度) 6回(12テーマ)実施 (5年度) 2回(4テーマ)実施、年度中にあと3回(9テーマ)実施予定</p>	<p>まちかどコメンテーター事業</p>	<p>○</p>
<p>98 <u>鹿児島市内全域で、市政報告会を開催します。</u></p> <p>市民の皆様により市政の動向をしっかりとご報告し、またご意見を伺い施策に反映させるべく、鹿児島市内全域で、校区単位のきめ細かな単位で、市政報告会を開催します。</p>	<p>○市長と語る会をおおむね中学校区ごとに各地域で開催 (3年度) 郡山(6月)、谷山(7月)、和田(10月)、伊敷台(11月)、甲南(11月)、城西(11月)、長田(12月) (4年度) 桜丘(5月)、松元(6月)、鴨池(7月)、桜島(8月)、吉野(8月)、伊敷(10月)、皇徳寺(11月)、甲東(11月)、坂元(12月)、西陵(12月) (5年度) 明和・武岡(5月)、吉野東(6月)、紫原・西紫原(7月)、喜入(8月)、谷山北(9月)、緑丘(11月予定)、福平・錫山(11月予定)、南(12月予定) ※年度中にあと1回開催(予定)</p>	<p>市長と語る会</p>	<p>○</p>
<p>99 <u>官民連携プラットフォーム</u></p> <p>鹿児島市の抱える課題のうち、民間の知見を活用した方が、市民により良いサービスを提供できることが想定できるものについて、常設の「官民連携プラットフォーム」(仮称)を設置し、広く民間の知見を募るしくみを作ります。</p>	<p>(3～4年度)</p> <p>○「民間知見活用プラットフォーム」の設置・運営 (3年度) 第1回会議(9月)、第2回会議(10月)、第3回会議(11月) (4年度) 第1回会議(7月)、第2回会議(8月)、第3回会議(9月) (4年度～)</p> <p>○民間からの提案を広く募る「官民連携プラットフォーム」を構築・運用(4年10月～) 運用状況(令和5年8月末現在) ・提示課題数: 21件 ・提案件数: 25件(うち、実施5件)</p>	<p>官民連携プラットフォーム事業</p>	<p>○</p>

マニフェストの項目	取組の概要	事業名	取組状況
<p>100 民間人材の積極的登用</p> <p>危機管理・防災担当や、デジタル化推進など、市役所の外部や民間の専門的な知見が特に必要とされる分野について、積極的に民間の専門人材の登用を進めます。</p>	<p>(3年度)</p> <p>○新たな技術を施策に積極的に取り入れ、DXの取組を推進し、市民の利便性を向上させるとともに、行政運営の効率化を進めるため、市長をCIOとして位置づけるとともに、民間の専門的な知見の活用に向け、3年10月にCIO補佐官を民間から登用</p> <p>(4年度)</p> <p>○地域活性化起業人制度を活用し、民間企業から専門的知識を持つ人材2名を受け入れ、4年9月より「DX推進サポーター」として配置</p>	(再) 行政デジタル化推進事業	○
	<p>(5年度)</p> <p>○ふるさと納税を通じた本市のブランド価値向上及び寄附額増を図るため、地域活性化起業人制度を活用し、ふるさと納税推進室にマーケティングプロデューサーを配置(5年10月委嘱)</p>	(再) ふるさと納税推進事業	
	<p>(4年度)</p> <p>○地域の資源や特性などを生かした個性豊かな地域づくりに向けた計画の策定や5年度以降の事業実施を支援するため、地域づくり推進課に企業から派遣された地域活性化アドバイザーを設置(6月委嘱)</p> <p>(5年度)</p> <p>○計画策定や5年度以降の事業実施を支援するため、地域づくり推進課に地域活性化アドバイザーを設置(民間企業からの派遣。6月委嘱)</p>	(再) 地域の魅力・活力共創事業	
	<p>○社会人経験者を対象とした採用試験を実施</p> <p>(3年度) 最終合格者数：一般事務17名、土木3名</p> <p>(4年度) 最終合格者数：一般事務23名、土木3名、電気5名、機械5名、建築2名 情報処理技術者2名</p> <p>(5年度) 採用予定者数：一般事務(15名程度)、土木、電気、機械、建築、 情報処理技術者(それぞれ若干名) ※8月末現在、採用試験実施中</p> <p>○任期付職員(弁護士)選考試験</p> <p>(5年度) 採用予定者数：1名 ※8月末現在、採用試験実施中</p>	職員採用試験経費(社会人経験者採用)	
	<p>(4年度～)</p> <p>○デジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進するため、地域活性化起業人制度により、民間企業から専門的知識を持つ人材2人を受け入れ、業務経験・ノウハウ等の活用を図る(4年9月委嘱)</p>	(再) DX推進サポート事業	
	<p>○防災専門アドバイザーを設置し、土砂災害、洪水、地震、津波及び原子力災害に係る防災対応に関する専門的視点からの意見を聴取</p>	(再) 防災専門アドバイザー事業	
	<p>○火山防災トップシティの推進を図るため、火山防災アドバイザーによる助言に基づく取組を行うほか、火山防災に関する会議に参加</p>	(再) 火山防災トップシティ推進事業	